

**裾 野 市**  
**子ども・子育て支援ニーズ調査**  
**報 告 書**

**裾 野 市**  
**平成 26 年 3 月**



# 目 次

1. 調査概要 .....	1
2. 調査結果【就学前児童】 .....	2
1. お子さんご家族の状況について .....	2
2. 子どもの育ちをめぐる環境について .....	6
3. 保護者の就労状況について .....	11
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について .....	18
5. 地域の子育て支援事業の利用状況について .....	25
6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	31
7. 病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）について.....	35
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	40
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について .....	45
10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	50
11. 子育てに関する一般的な事項について .....	57
3. 調査結果【小学生児童】 .....	58
1. お子さんご家族の状況について .....	58
2. 子どもの育ちをめぐる環境について .....	62
3. 保護者の就労状況について .....	67
4. 放課後児童室の利用状況・利用意向について .....	74
5. 病気の際の対応について .....	81
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	86
7. 子育てに関する一般的な事項について .....	91



# 1. 調査概要

## 1. 調査の目的

平成27年度より、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援制度のもと、教育・保育その他の子育て支援の充実を図るため5年間の一期とする『子ども・子育て支援事業計画』を策定し、計画的に給付・事業を実施する予定である。

本調査は、『子ども・子育て支援事業計画』で確保を図るべき教育・保育その他の子育て支援の「量の見込み」を算出するため、小学生までの児童を持つ保護者を対象に、教育・保育その他の子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握することを目的に実施した。

## 2. 調査設計

- (1) 対象地域：裾野市全域
- (2) 対象者：①就学前児童がいる世帯 2,000世帯（無作為抽出）  
②小学生がいる世帯 500世帯（無作為抽出）
- (3) 調査期間：平成25年12月5日～平成26年1月28日
- (4) 調査方法：①就学前児童 郵送配布・郵送回収（お礼兼督促状 1回送付）  
②小学校児童 学校配布・学校回収

## 3. 調査の目的

	対象者数	有効回収数	有効回収率 (%)
就学前児童	2,000人	1,215人	60.8%
小学校児童	500人	450人	90.0%

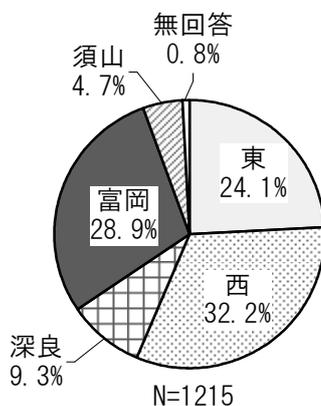
### この冊子のよみかた

- 1 結果は百分率で表示し、数表・グラフの百分率は小数第2位を四捨五入している。そのため、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。また、複数回答可の設問は、全ての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- 2 グラフ中の「N (Number of case の略)」は基数で、その質問に回答すべき人数を表している。
- 3 報告書のスペースの関係で、文言が長い選択肢については、一部省略している。

## 2. 調査結果【就学前児童】

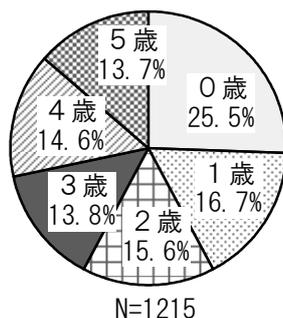
### 1. お子さんご家族の状況について

問1 あなたのお住まいの地区を教えてください。(〇は1つ)



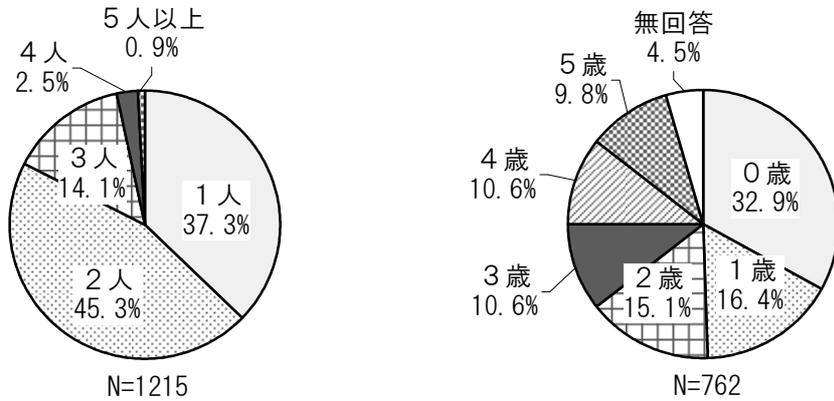
お住まいの地区は、「西」が32.2%と最も多く、次いで「富岡」が28.9%、「東」が24.1%などとなっている。

問2 封筒のあて名のお子さんの生年月月をご記入ください。(数字で記入)



お子さんの年齢は、「0歳」が25.5%と最も多く、次いで「1歳」が16.7%、「2歳」が15.6%などとなっている。

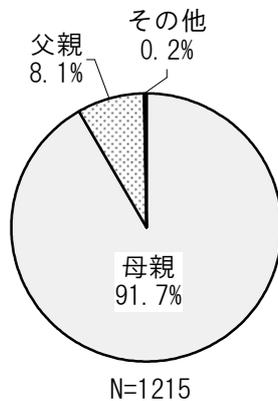
**問3 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。  
また、2人以上いる場合、末子の生年月をご記入ください。(数字で記入)**



お子さんの人数は、「2人」が45.3%と最も多く、次いで「1人」が37.3%、「3人」が14.1%などとなっている。

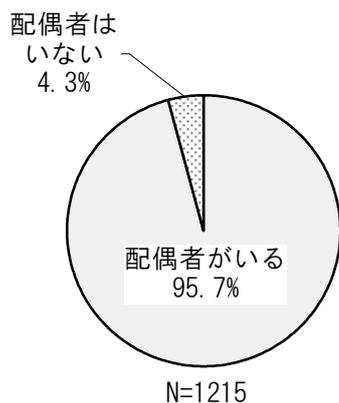
お子さんが2人以上いる場合の末子の年齢は、「0歳」が32.9%と最も多く、次いで「1歳」が16.4%、「2歳」が15.1%などとなっている。

**問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(〇は1つ)**



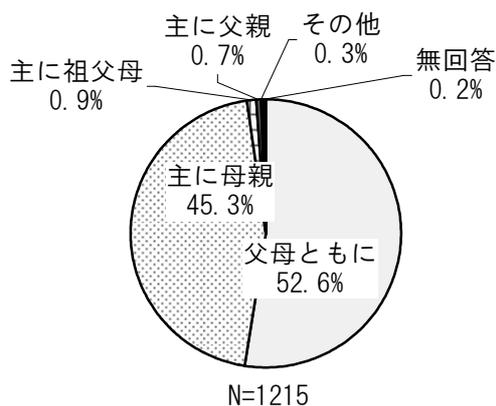
回答者は、「母親」が91.7%と最も多く、次いで「父親」が8.1%、「その他」が0.2%となっている。

**問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)**



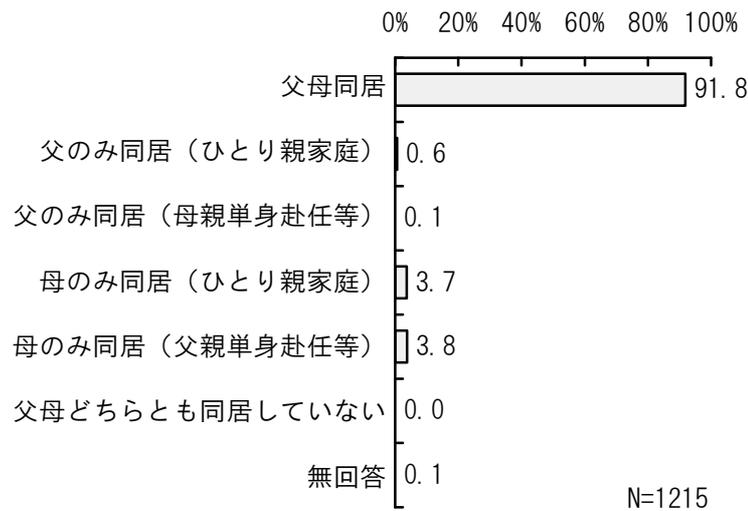
配偶関係は、「配偶者がいる」が95.7%、「配偶者がいない」が4.3%となっている。

**問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(〇は1つ)**



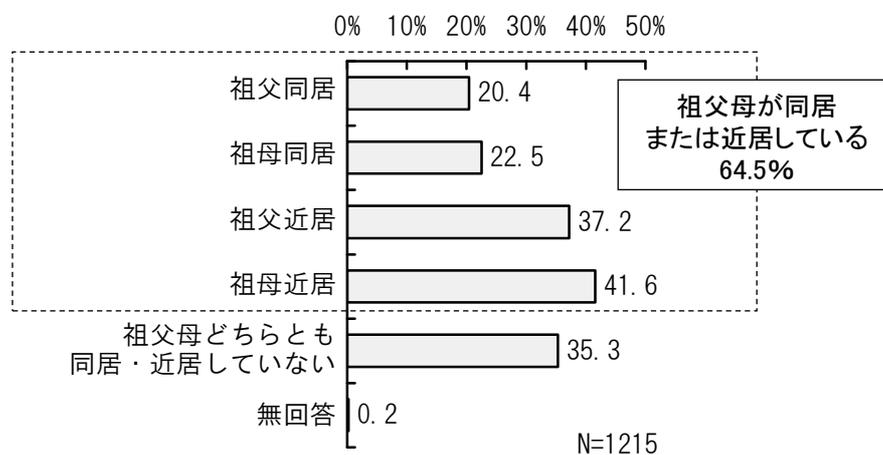
お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方は、「父母ともに」が52.6%と最も多く、次いで「主に母親」が45.3%、「主に祖父母」が0.9%などとなっている。

## 問7 あて名のお子さんの、父母との同居状況についてお答えください。(〇は1つ)



お子さんの父母との同居状況は、「父母同居」が91.8%と最も多く、次いで「母のみ同居（父親単身赴任等）」が3.8%、「母のみ同居（ひとり親家庭）」が3.7%などとなっている。

## 問8 あて名のお子さんの、祖父母との同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお答えください。(〇はあてはまるものすべて)

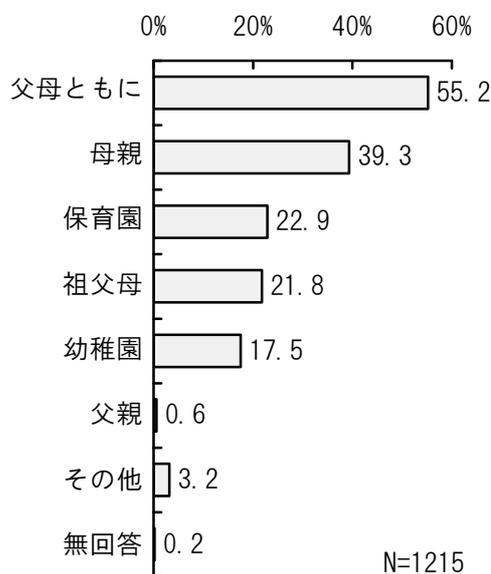


お子さんの祖父母との同居・近居状況は、「祖母近居」が41.6%と最も多く、次いで「祖父近居」が37.2%、「祖父母どちらとも同居・近居していない」が35.3%などとなっている。全体から「祖父母どちらとも同居・近居していない」と「無回答」を差し引いた『祖父母が同居または近居している』は、64.5%となっている。

## 2. 子どもの育ちをめぐる環境について

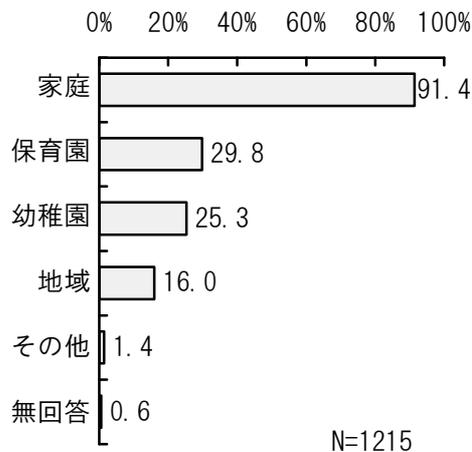
**問9** あて名のお子さんの子育て（教育・保育などを含む）に日常的に関わっている方はどなた（どの施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。

（○はあてはまるものすべて）



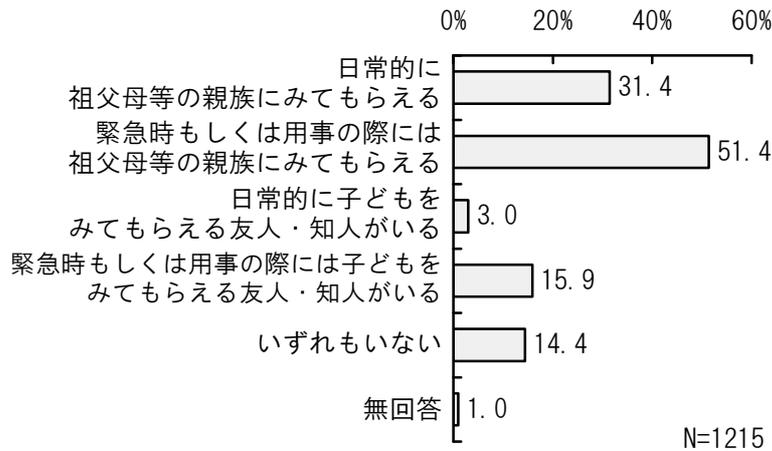
お子さんの子育て（教育・保育などを含む）に日常的に関わっている方は、「父母ともに」が 55.2% と最も多く、次いで「母親」が 39.3%、「保育園」が 22.9% などとなっている。

**問10** あて名のお子さんの子育て（教育・保育などを含む）に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。（○はあてはまるものすべて）



お子さんの子育て（教育・保育などを含む）に、もっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が 91.4% と最も多く、次いで「保育園」が 29.8%、「幼稚園」が 25.3% などとなっている。

**問 11 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(〇はあてはまるものすべて)**

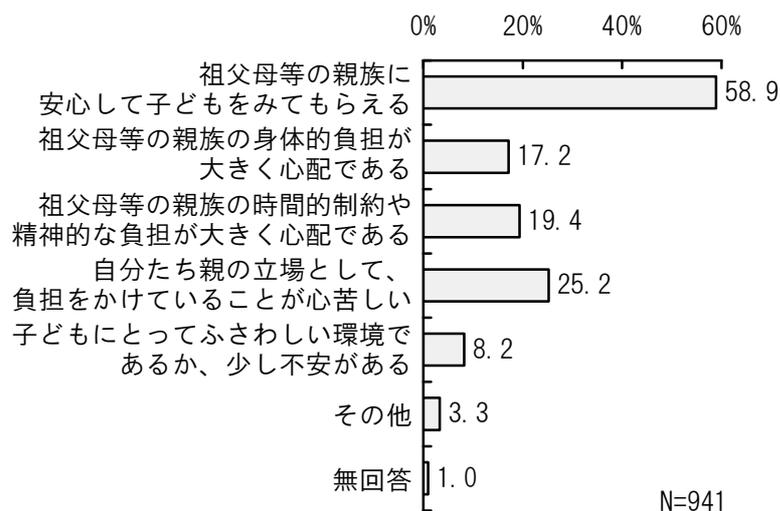


日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が51.4%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が31.4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が15.9%などとなっている。

問 11 で「1 ～2 祖父母等の親族に子どもを見てもらえる」を選ばれた方にうかがいます。

**問 11-1 祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。**

(〇はあてはまるものすべて)

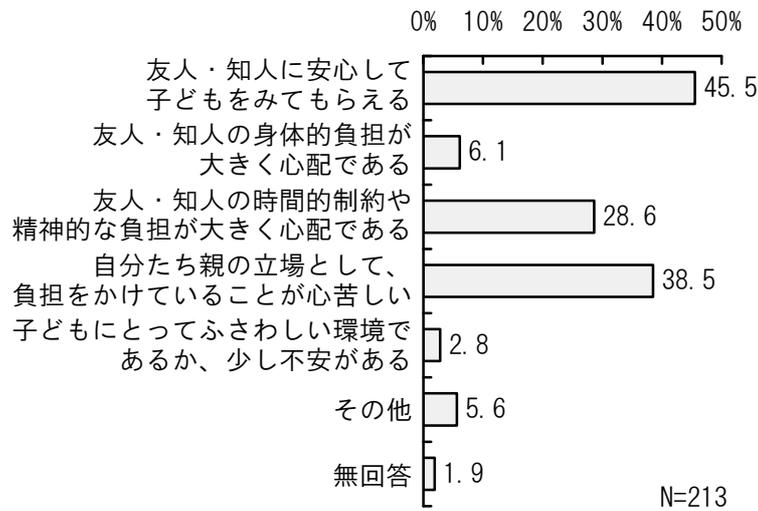


祖父母等の親戚にお子さんを見てもらっている状況については、「祖父母等の親族に安心して子どもを見てもらえる」が58.9%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が25.2%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が19.4%などとなっている。

11で「3～4 友人・知人に子どもをみてもらえる」を選ばれた方にうかがいます。

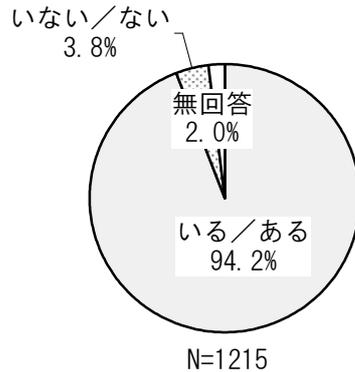
**問 11-2 友人や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。**

**(○はあてはまるものすべて)**



友人や知人にお子さんをみてもらっている状況については、「友人・知人に安心して子どもをみてもらえる」が45.5%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が38.5%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が28.6%などとなっている。

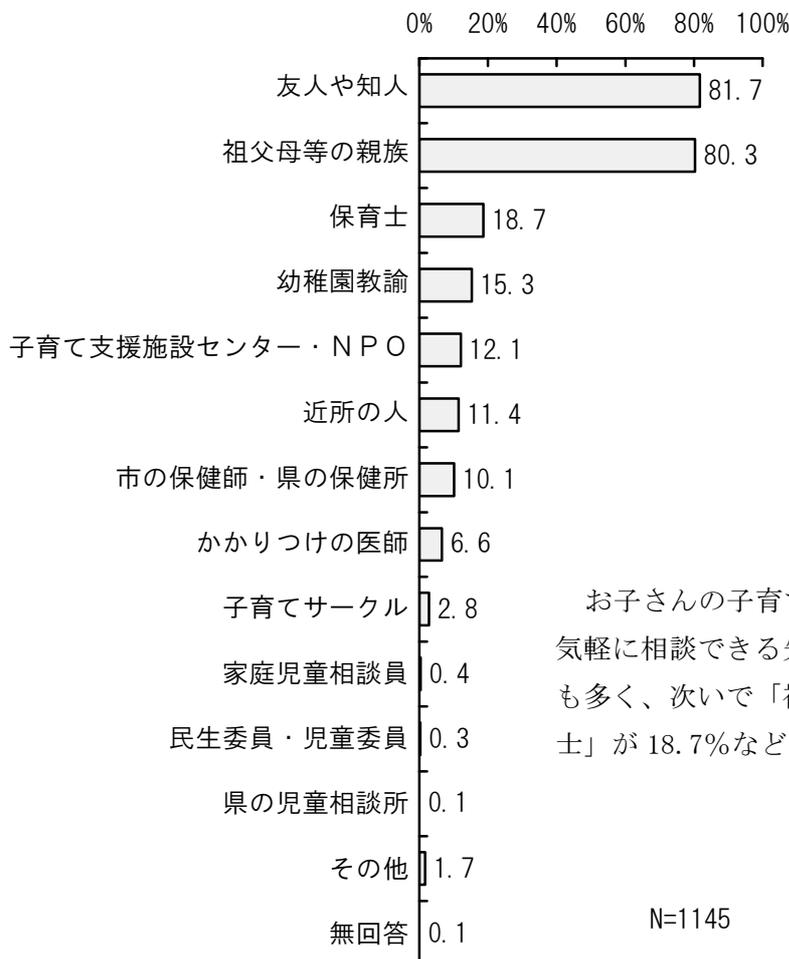
**問 12 あて名のお子さんの子育て(教育・保育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)**



お子さんの子育て(教育・保育を含む)をする上で、気軽に相談できる人・場所は、「いる/ある」が94.2%、「いない/ない」が3.8%となっている。

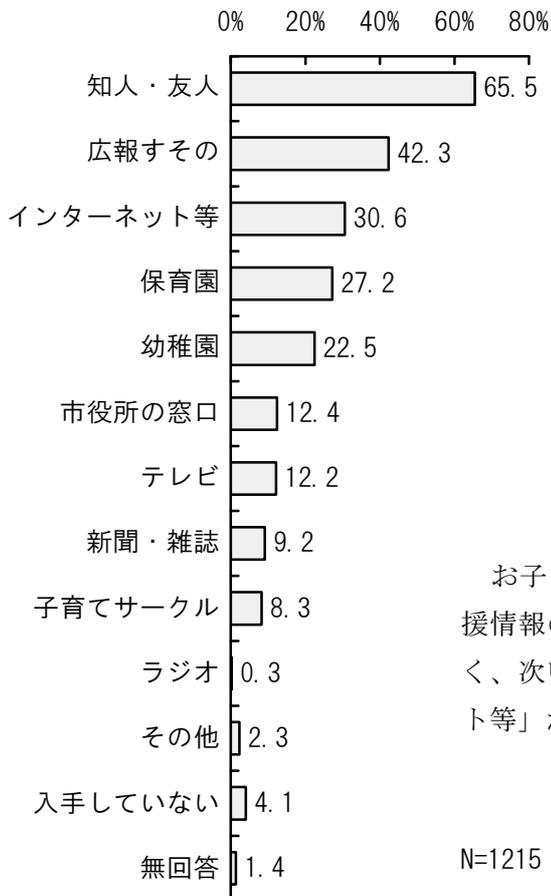
問 12で「1 いる/ある」を選ばれた方にかがいます。

**問 12—1 お子さんの子育て(教育・保育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(〇はあてはまるものすべて)**



お子さんの子育て(教育・保育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、「友人や知人」が81.7%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が80.3%、「保育士」が18.7%などとなっている。

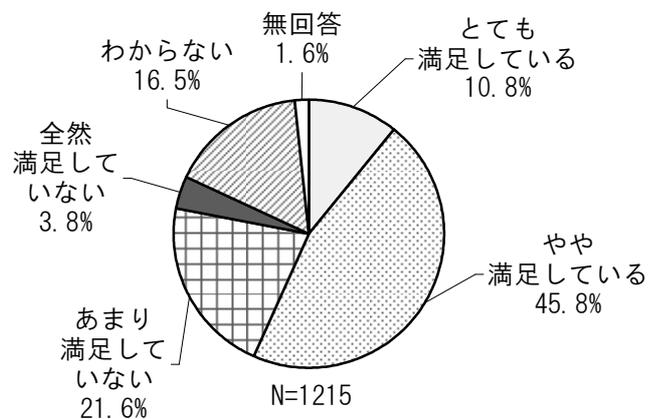
**問 13 お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報の入手先はどこですか。また、方法は何ですか。（〇はあてはまるものすべて）**



お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報の入手先は、「知人・友人」が 65.5%と最も多く、次いで「広報すその」が 42.3%、「インターネット等」が 30.6%などとなっている。

N=1215

**問 14 お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報について、現在、満足されていますか。（〇は1つ）**



N=1215

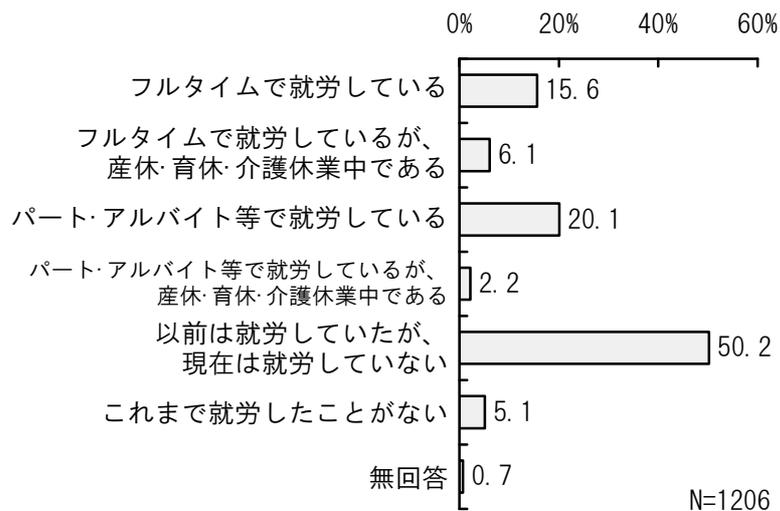
お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報についての満足状況は、「やや満足している」が 45.8%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が 21.6%、「わからない」が 16.5%などとなっている。『満足している』は 56.6%、『満足していない』は 25.4%となっている。

### 3. 保護者の就労状況について

問16 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

## 母親

問16(1) 現在の就労状況 (〇は1つ)

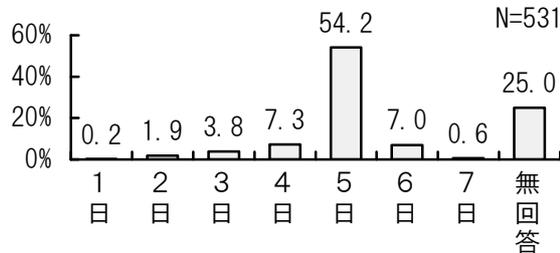


母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が50.2%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が20.1%、「フルタイムで就労している」が15.6%などとなっている。

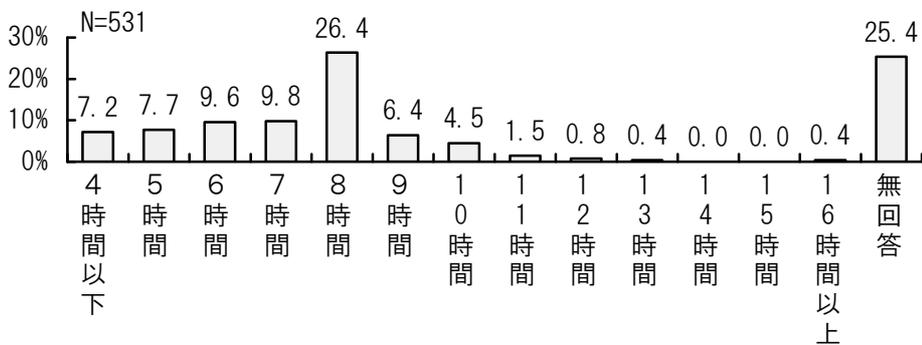
問 16 (1) で「1～4 就労している」を選ばれた方にうかがいます。

**問 16 (1) — 1 1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字で記入)**

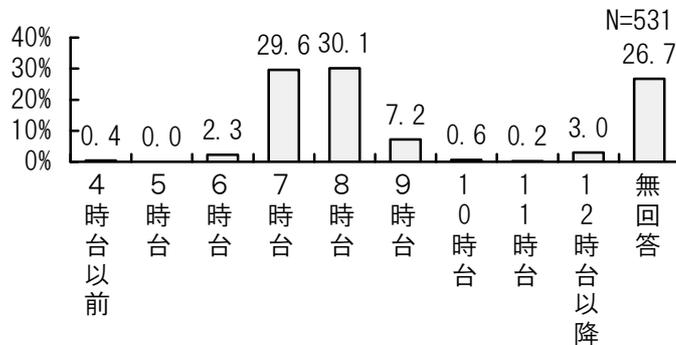
●週あたりの就労日数



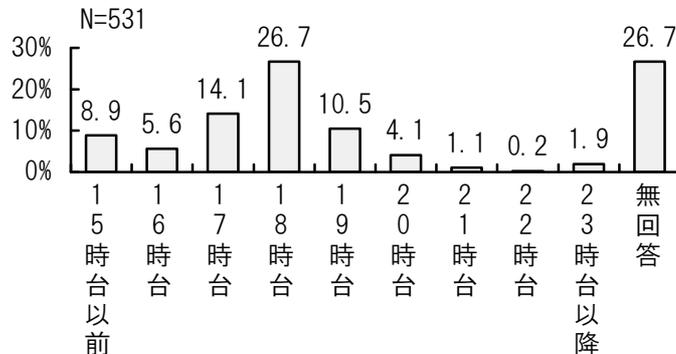
●日あたりの就労時間



●家を出る時刻



●帰宅時刻

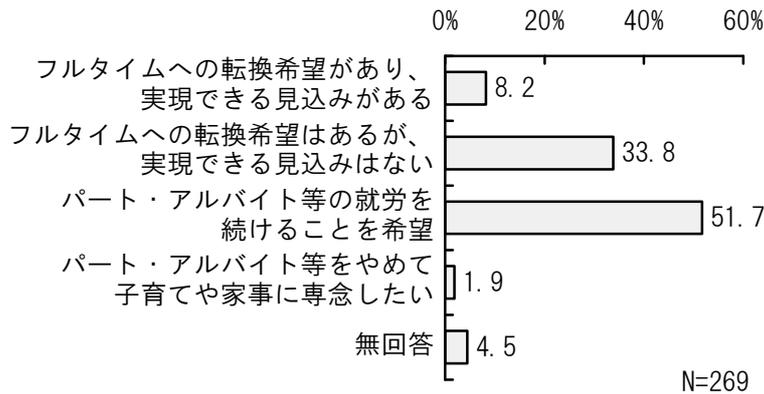


週あたり「5日」、日あたり「8時間」就労している母親が多い。

家を出る時刻は、「8時台」が30.1%と最も多く、帰宅時刻は「18時台」が26.7%と最も多くなっている。

問 16 (1) で「3～4 パート・アルバイト等で就労している」を選ばれた方にうかがいます。

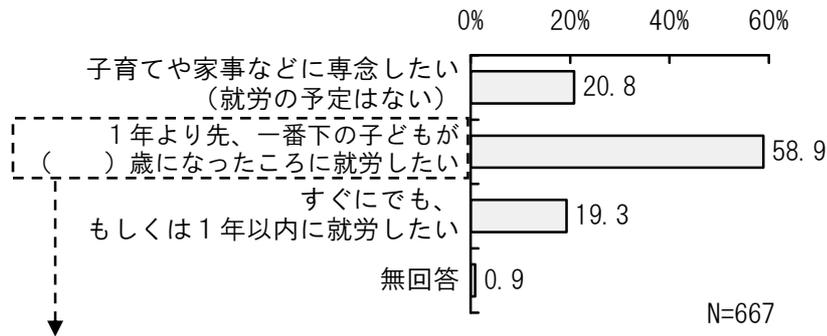
**問 16 (1) — 2 フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)**



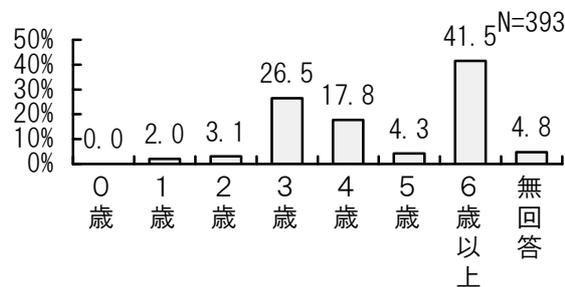
フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 51.7%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 33.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 8.2%などとなっている。

問 16 (1) で「5～6 就労していない」を選ばれた方にうかがいます。

**問 16 (1) — 3 就労したいという希望はありますか。(○は1つ)**



●就労したいと思う時期 (末子の年齢)

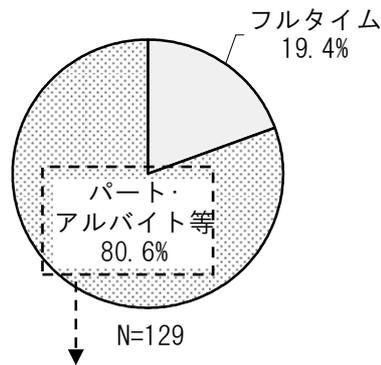


就労したいという希望は、「1年より先、一番下の子どもが ( ) 歳になったところに就労したい」が 58.9%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」が 20.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 19.3%となっている。

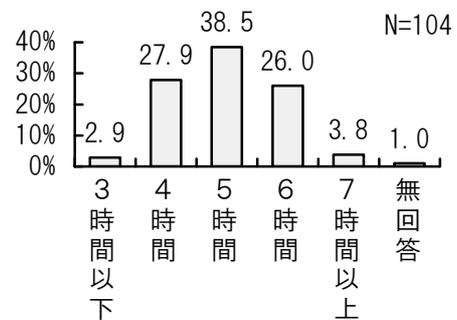
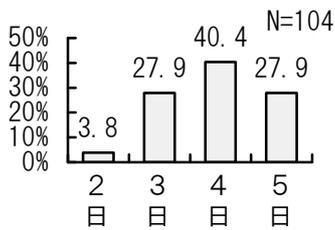
就労したいと思う時期 (末子の年齢) は、「6歳以上」が 41.5%と最も多く、次いで「3歳」が 26.5%、「4歳」が 17.8%などとなっている。

問 16(1)－3 で「3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選ばれた方にうかがいます。

**問 16(1)－4 希望する就労形態はなんですか。(○は1つ)**



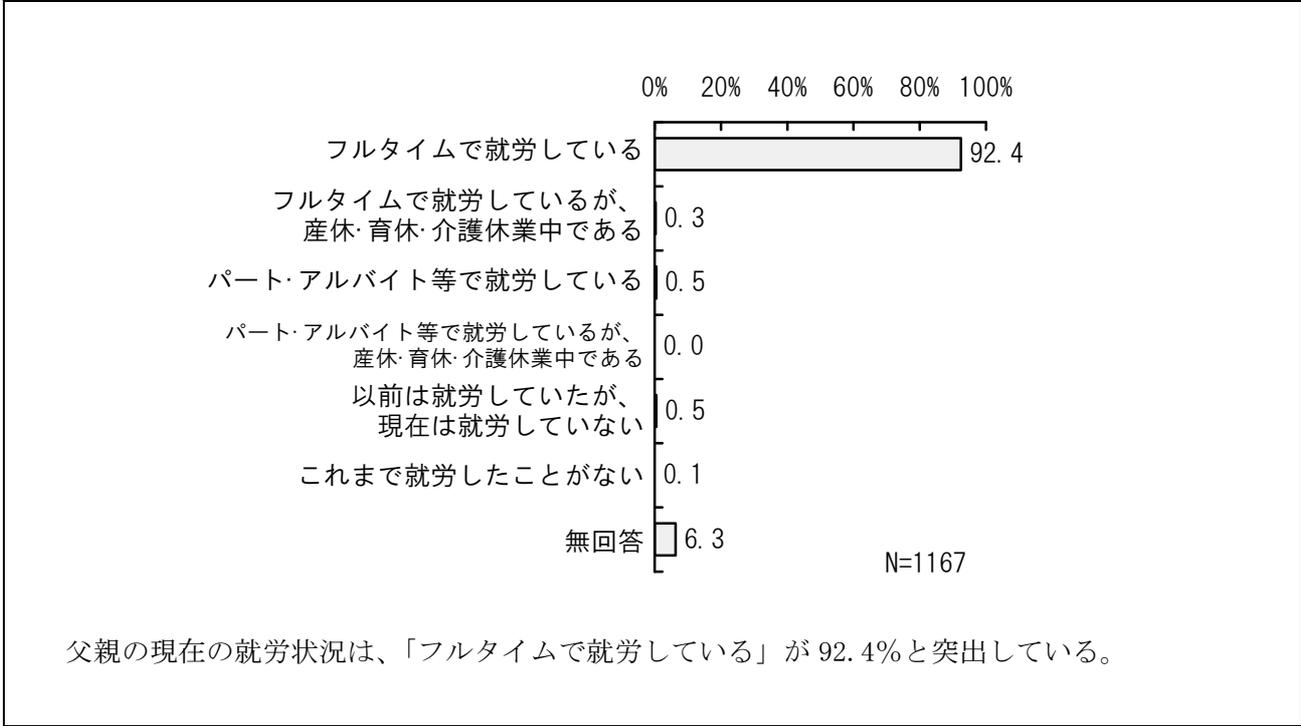
●週あたりの希望就労日数・日あたりの希望就労時間



希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が80.6%、「フルタイム」が19.4%となっている。週あたりの希望就労日数は「4日」が40.4%と最も多く、日あたりの希望就労時間は「5時間」が38.5%と最も多くなっている。

# 父 親

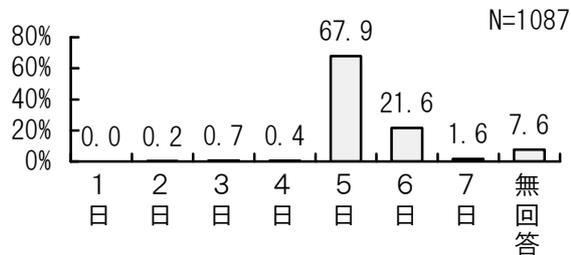
## 問 16 (2) 現在の就労状況 (○は1つ)



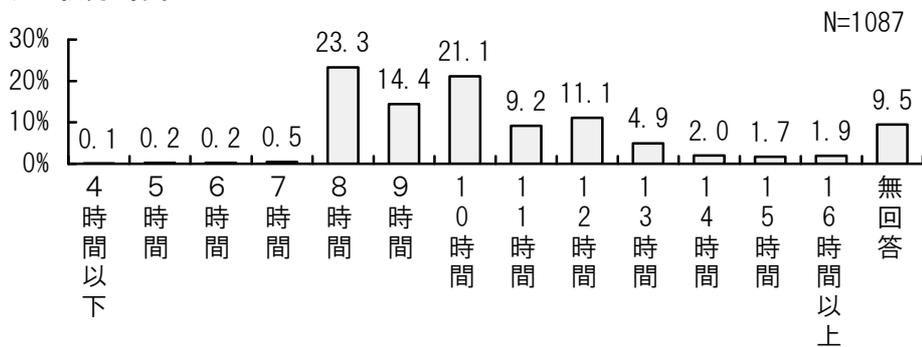
問 16 (2) で「1~4 就労している」を選ばれた方にうかがいます。

**問 16 (2) — 1 1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字で記入)**

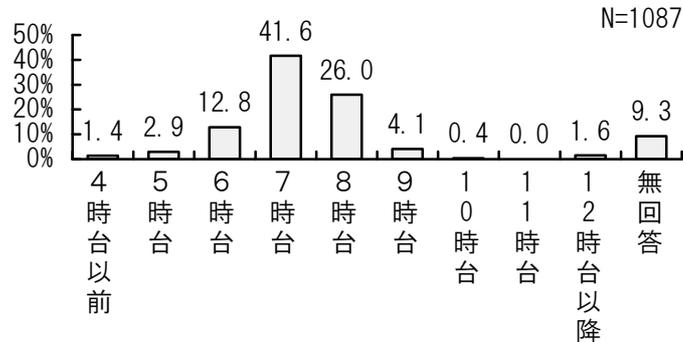
●週あたりの就労日数



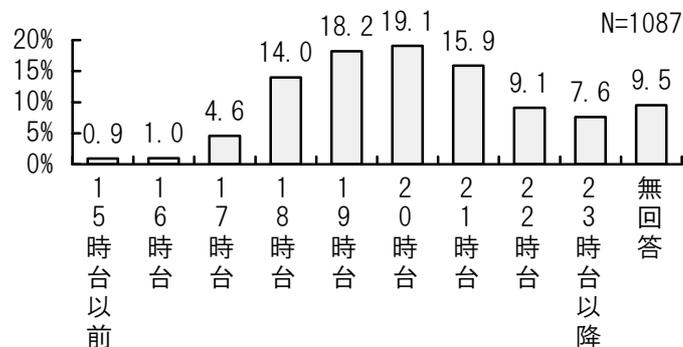
●日あたりの就労時間



●家を出る時刻



●帰宅時刻

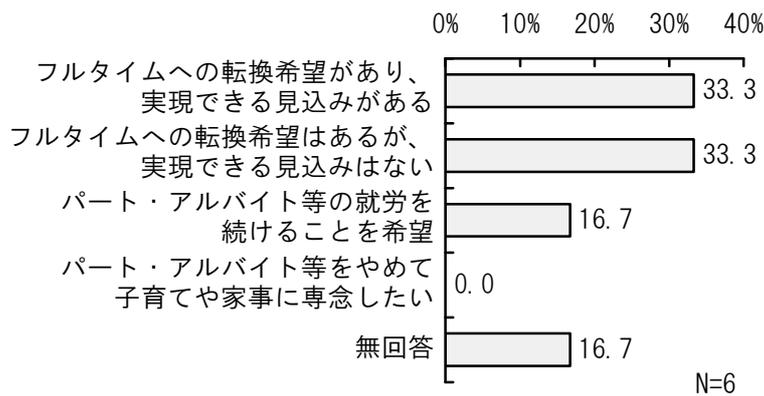


週あたり「5日」、日あたり「8時間」就労している父親が多くなっている。

家を出る時刻は「7時台」が41.6%と最も多く、帰宅時刻は「10時台」が19.1%と最も多くなっている。

問 16 (2) で「3~4 パート・アルバイト等で就労している」を選ばれた方にうかがいます。

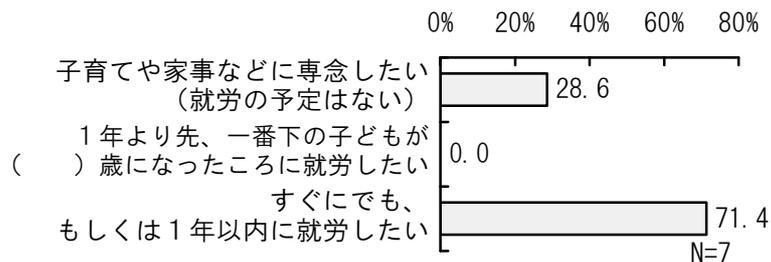
**問 16 (2) —2 フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)**



フルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ 33.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 16.7%となっている。

問 16 (2) で「5~6 就労していない」を選ばれた方にうかがいます。

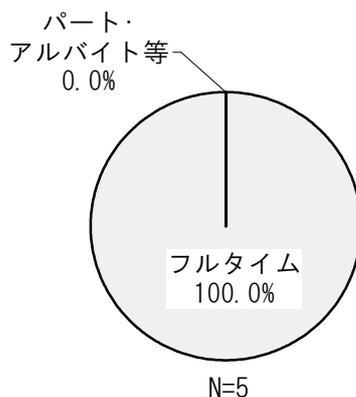
**問 16 (2) —3 就労したいという希望はありますか。(〇は1つ)**



就労したいという希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 71.4%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」が 28.6%となっている。

問 16 (2) —3 で「3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選ばれた方にうかがいます。

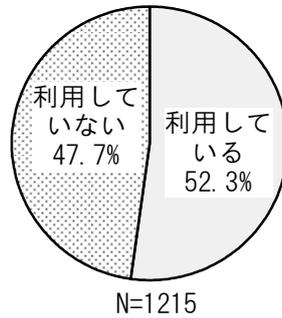
**問 16 (2) —4 希望する就労形態はなんですか。(〇は1つ)**



希望する就労形態は、「フルタイム」が 100.0%となっている。

#### 4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 17 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園等の「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(○は1つ)

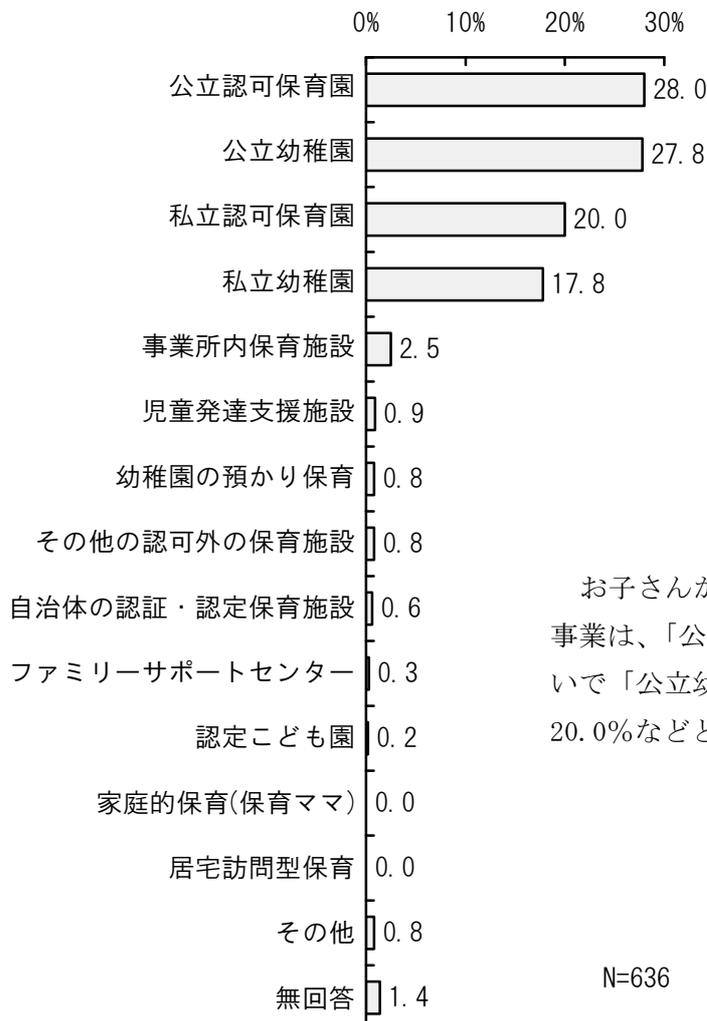


お子さんの定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」が 52.3%、「利用していない」が 47.7%となっている。

問 17で「1 利用している」を選ばれた方にかがいます。

問 17-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。

(○はあてはまるものすべて)



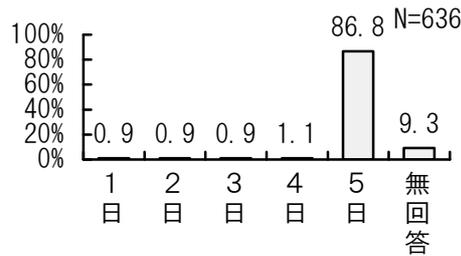
お子さんが平日定期的に利用している教育・保育の事業は、「公立認可保育園」が 28.0%と最も多く、次いで「公立幼稚園」が 27.8%、「私立認可保育園」が 20.0%などとなっている。

問 17で「1 利用している」を選ばれた方にうかがいます。

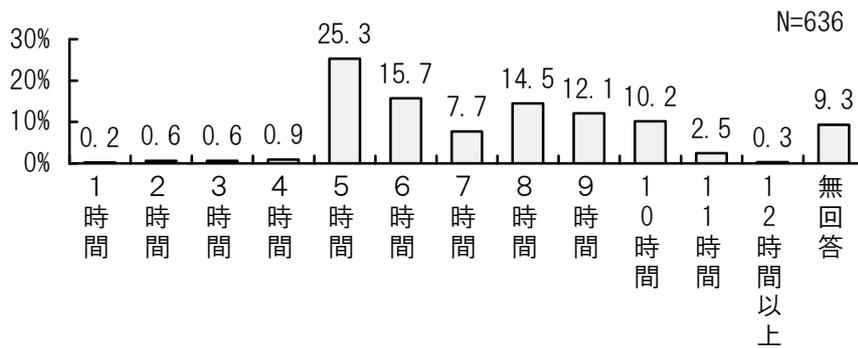
**問 17-2 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）かお答えください。（数字で記入）**

(1) 現在

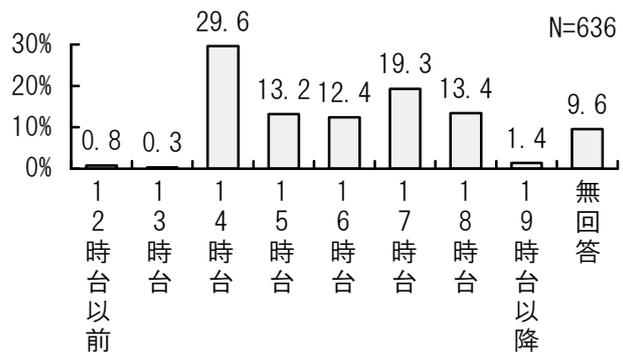
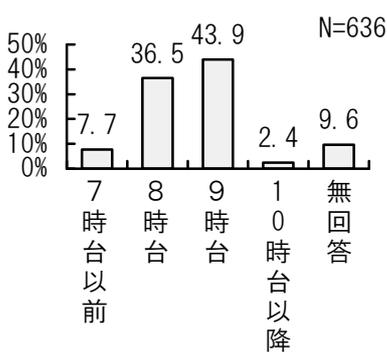
●現在の週あたりの利用日数



●現在の日あたりの利用時間



●現在の利用開始時刻・利用終了時刻

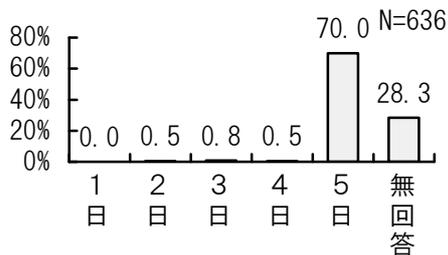


定期的にご利用している教育・保育の事業の現在の利用状況は、週あたり「5日」、日あたり「5時間」の利用が多くなっている。

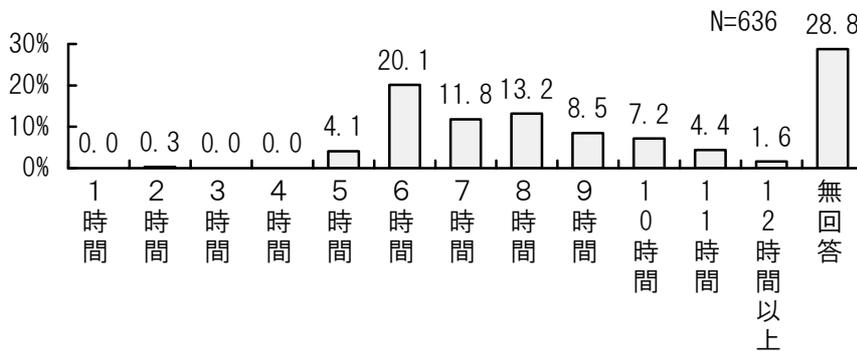
利用開始時刻は「9時台」が43.9%と最も多く、利用終了時刻は「14時台」が29.6%と最も多くなっている。

(2) 希望

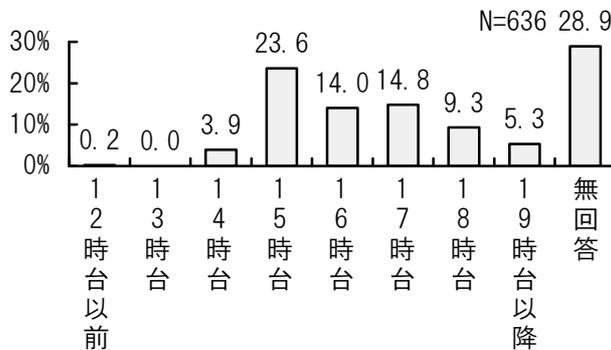
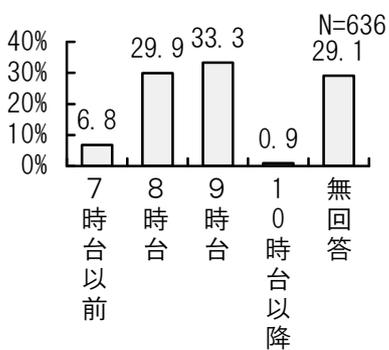
●希望する週あたりの利用日数



●希望する日あたりの利用時間



●希望する利用開始時刻・利用終了時刻

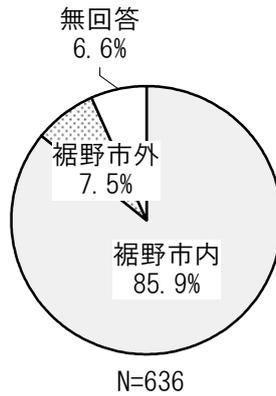


定期的にご利用している教育・保育の事業の希望する利用状況は、週あたり「5日」、日あたり「6時間」の利用が多くなっている。

利用開始時刻は「9時台」が33.3%と最も多く、利用終了時刻は「15時台」が23.6%と最も多くなっている。

問 17で「1 利用している」を選ばれた方にうかがいます。

**問 17-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(〇は1つ)**

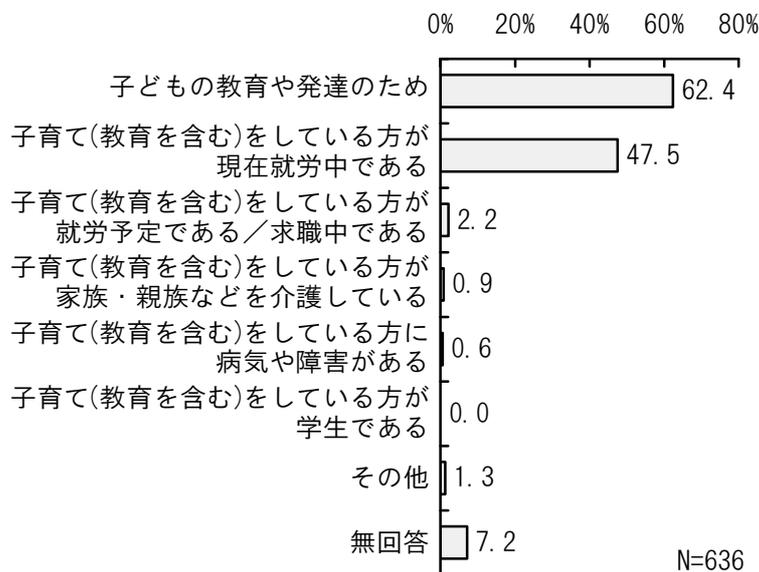


現在利用している教育・保育事業の実施場所は、「裾野市内」が 85.9%、「裾野市外」が 7.5%となっている。

問 17で「1 利用している」を選ばれた方にうかがいます。

**問 17-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は何ですか。**

(〇はあてはまるものすべて)

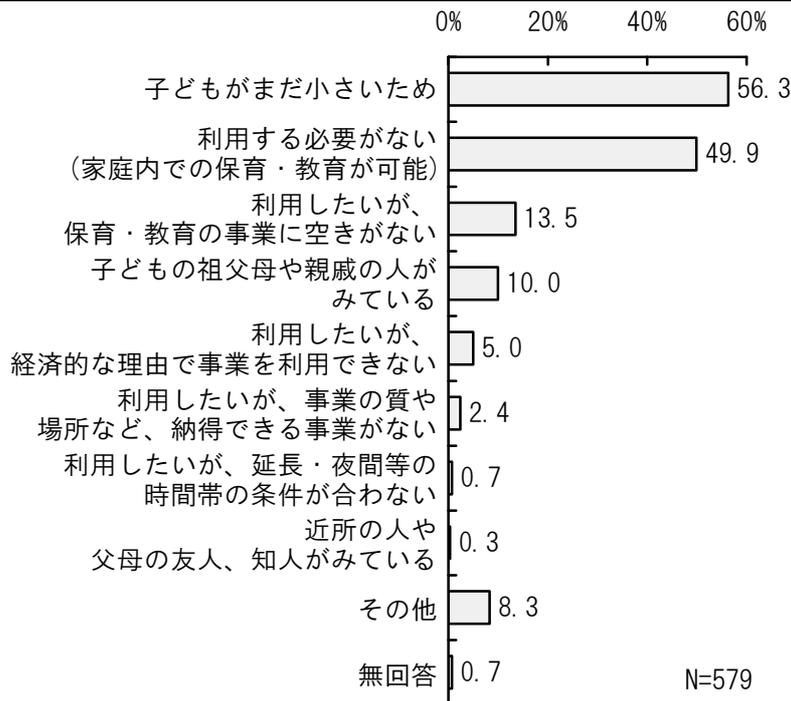


平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」が 62.4%と最も多く、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労中である」が 47.5%、「子育て（教育を含む）をしている方が就労予定である/求職中である」が 2.2%となっている。

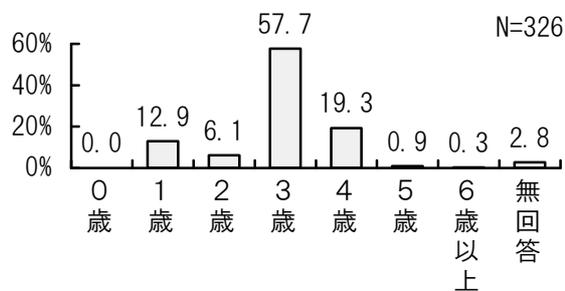
問 17で「2 利用していない」を選ばれた方にうかがいます。

**問 17-5 定期的な教育・保育事業の利用をしていない理由は何ですか。**

(〇はあてはまるものすべて)



● 定期的な教育・保育事業の利用を開始しようと思っているお子さんの年齢

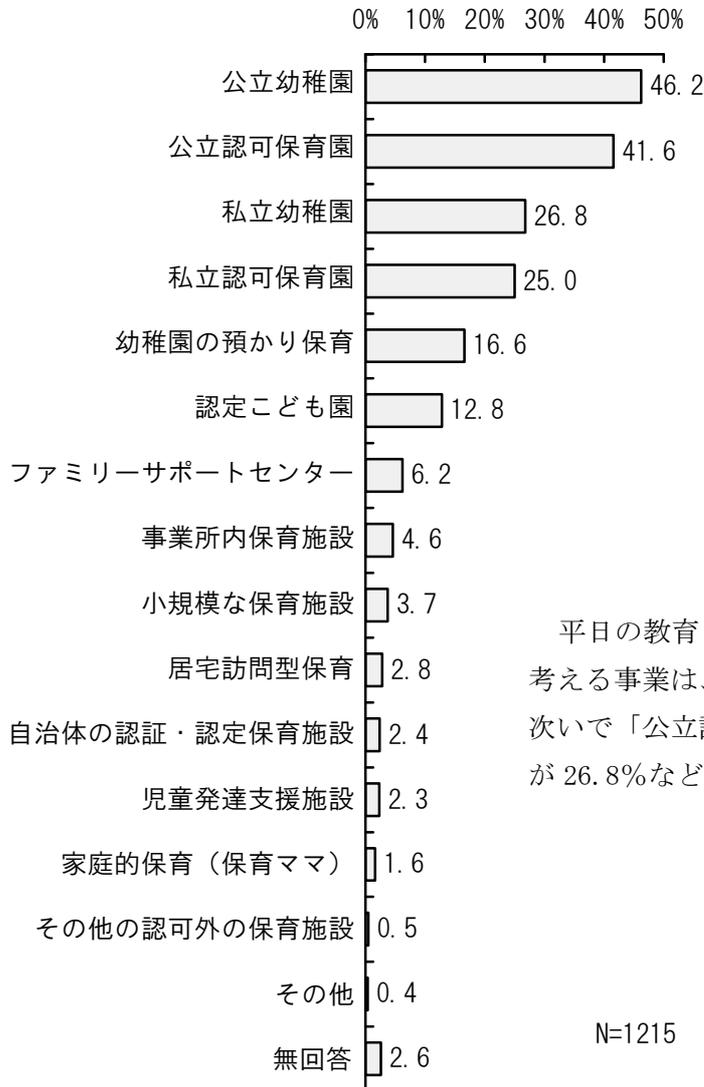


定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が 56.3%と最も多く、次いで「利用する必要がない（家庭内での保育・教育が可能）」が 49.9%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 13.5%などとなっている。

『子どもがまだ小さいため』と回答した人が定期的な教育・保育事業の利用を開始しようと思っているお子さんの年齢は、「3歳」が 57.7%と最も多く、次いで「4歳」が 19.3%、「1歳」が 12.9%などとなっている。

**問 18 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。**

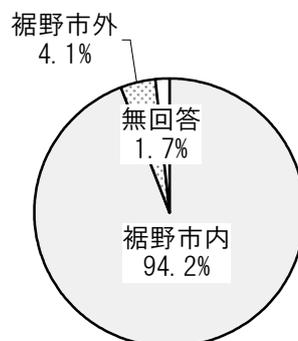
(○はあてはまるものすべて)



平日の教育・保育事業として定期的に利用したいと考える事業は、「公立幼稚園」が 46.2%と最も多く、次いで「公立認可保育園」が 41.6%、「私立幼稚園」が 26.8%などとなっている。

N=1215

**問 19 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(○は1つ)**

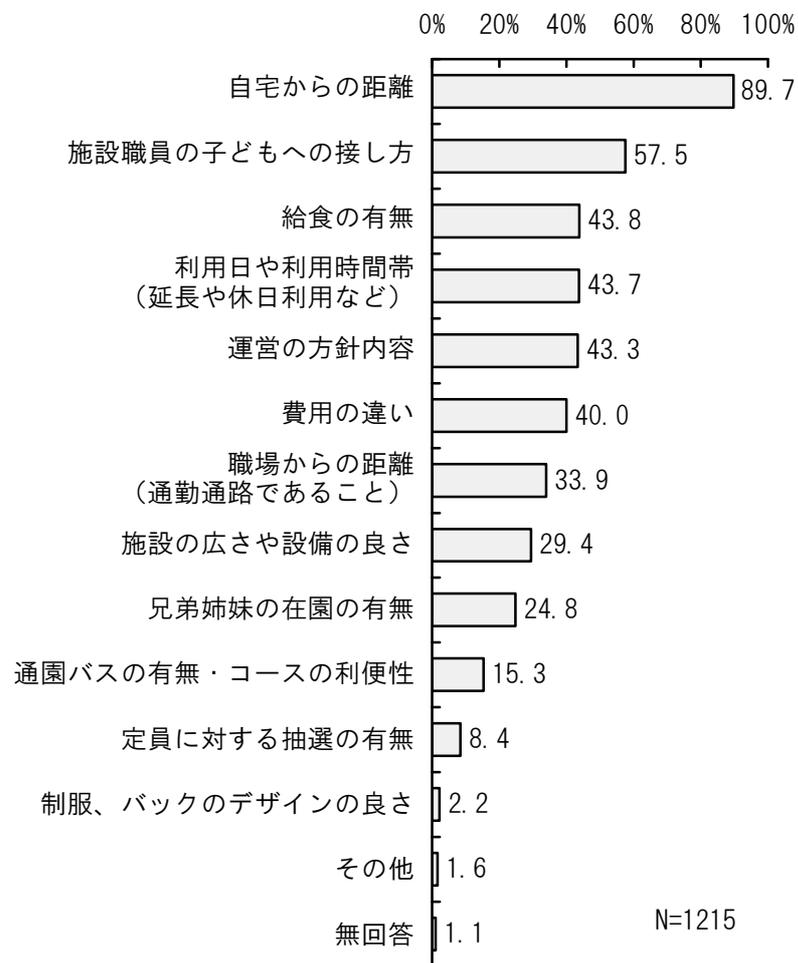


N=1215

教育・保育事業を利用したい場所は、「裾野市内」が 94.2%、「裾野市外」が 4.1%となっている。

## 問 20 教育・保育事業の施設を選ぶ際のポイントは何ですか。

(〇はあてはまるものすべて)

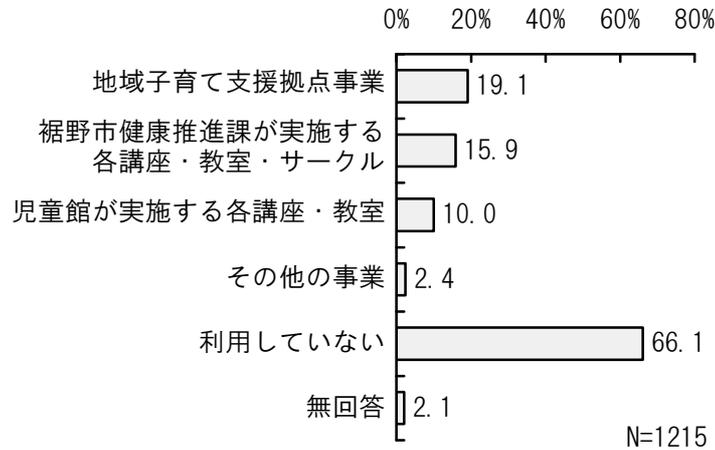


教育・保育施設を選ぶポイントは、「自宅からの距離」が89.7%と最も多く、次いで「施設職員の子どもへの接し方」が57.5%、「給食の有無」が43.8%などとなっている。

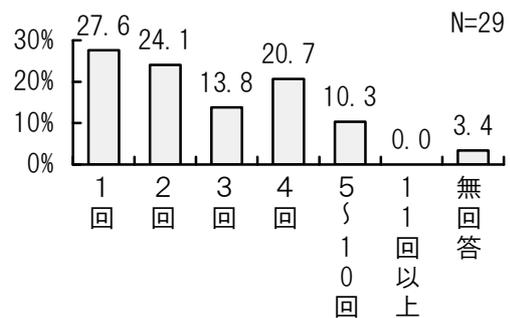
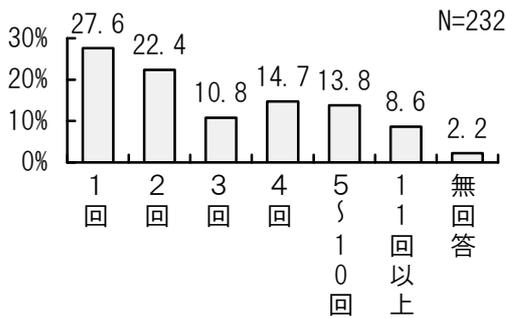
## 5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 21 あて名のおさんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。また、利用している方はおよそその利用回数（頻度）をご記入ください。

（〇はあてはまるものすべて・数字で記入）

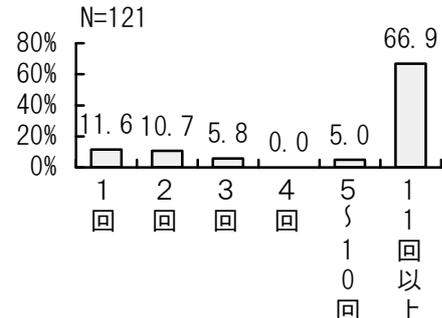
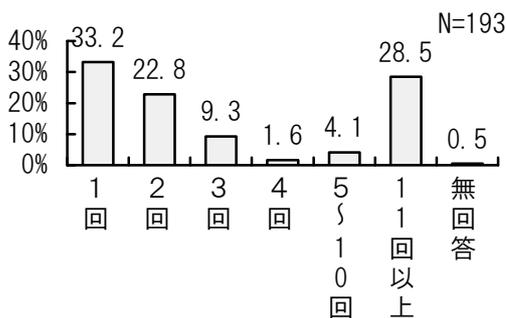


● 地域子育て支援拠点事業の利用回数・その他の事業の利用回数（月あたり）



● 裾野市健康推進課が実施する各講座・教室・サークルの利用回数・

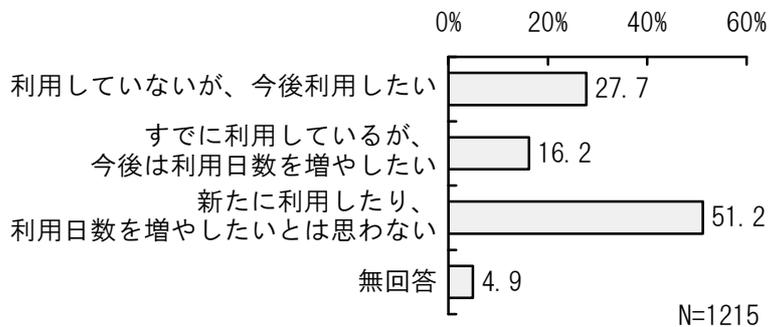
児童館が実施する各講座・教室の利用回数（年あたり）



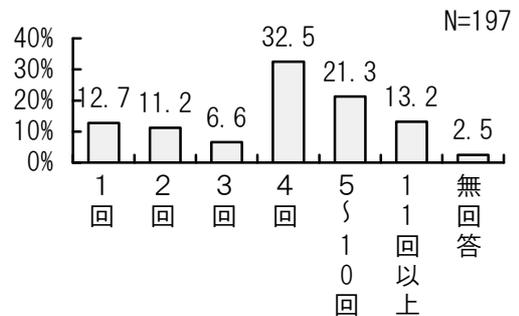
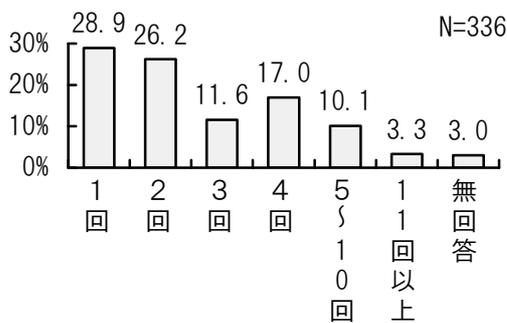
地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が66.1%と最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業」が19.1%、「裾野市健康推進課が実施する各講座・教室・サークル」が15.9%となっている。

利用回数は、【地域子育て支援事業】において月あたり「1回」、【その他の事業】において月あたり「1回」、【裾野市健康推進課が実施する事業】において年あたり「1回」、【児童館が実施する事業】において年あたり「11回以上」が最も多くなっている。

**問 22 問 21 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（○は1つ・数字で記入）**



●新規利用の場合の希望利用回数・追加利用の場合の希望利用回数（月あたり）



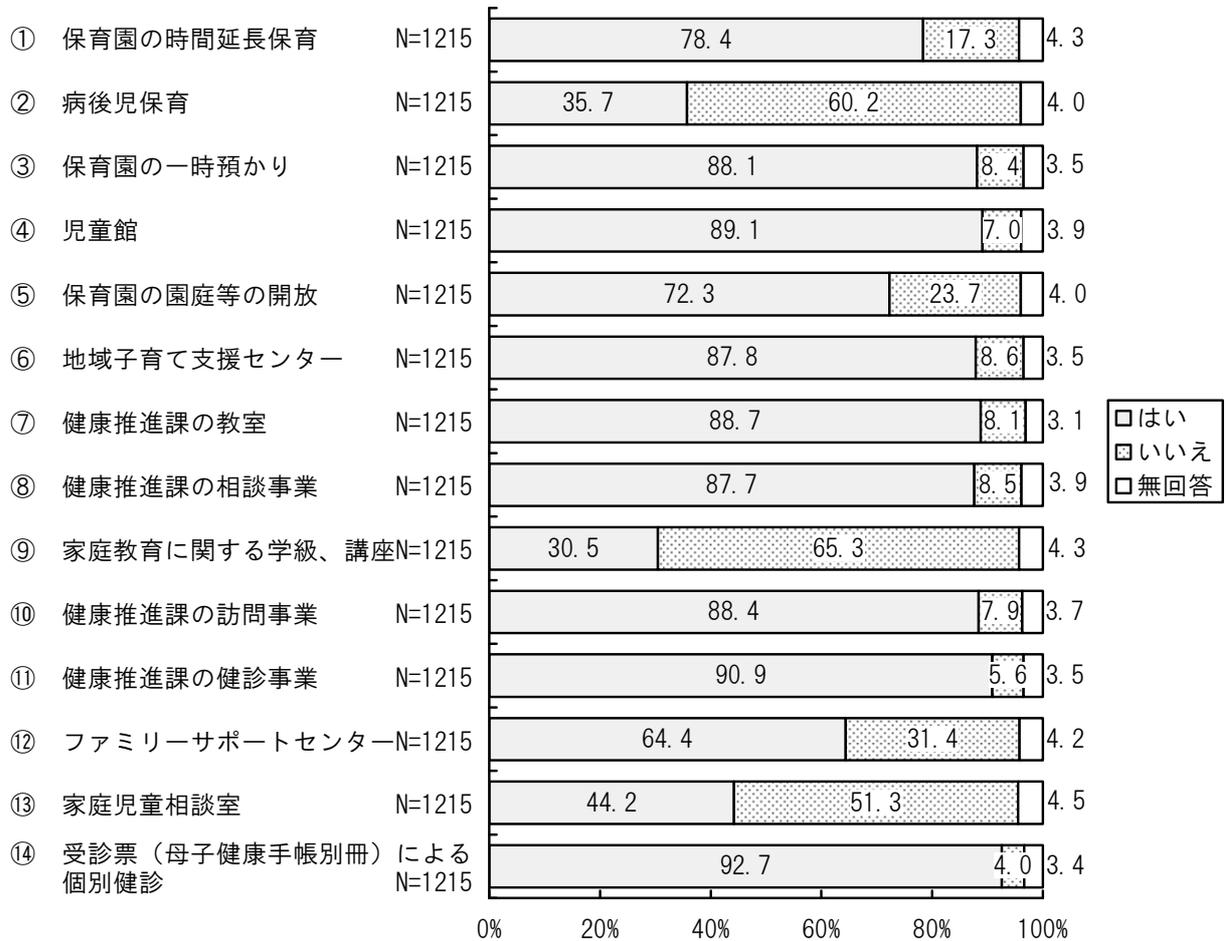
地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 51.2%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 27.7%、「すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい」が 16.2%などとなっている。

新規利用の場合の希望利用回数は月あたり「1回」が 28.9%と最も多く、追加利用の場合の希望利用回数は月あたり「4回」が 32.5%と最も多くなっている。

**問 23 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについてお答えください。また、利用したことがあるものについては満足度を5点満点でご記入ください。**

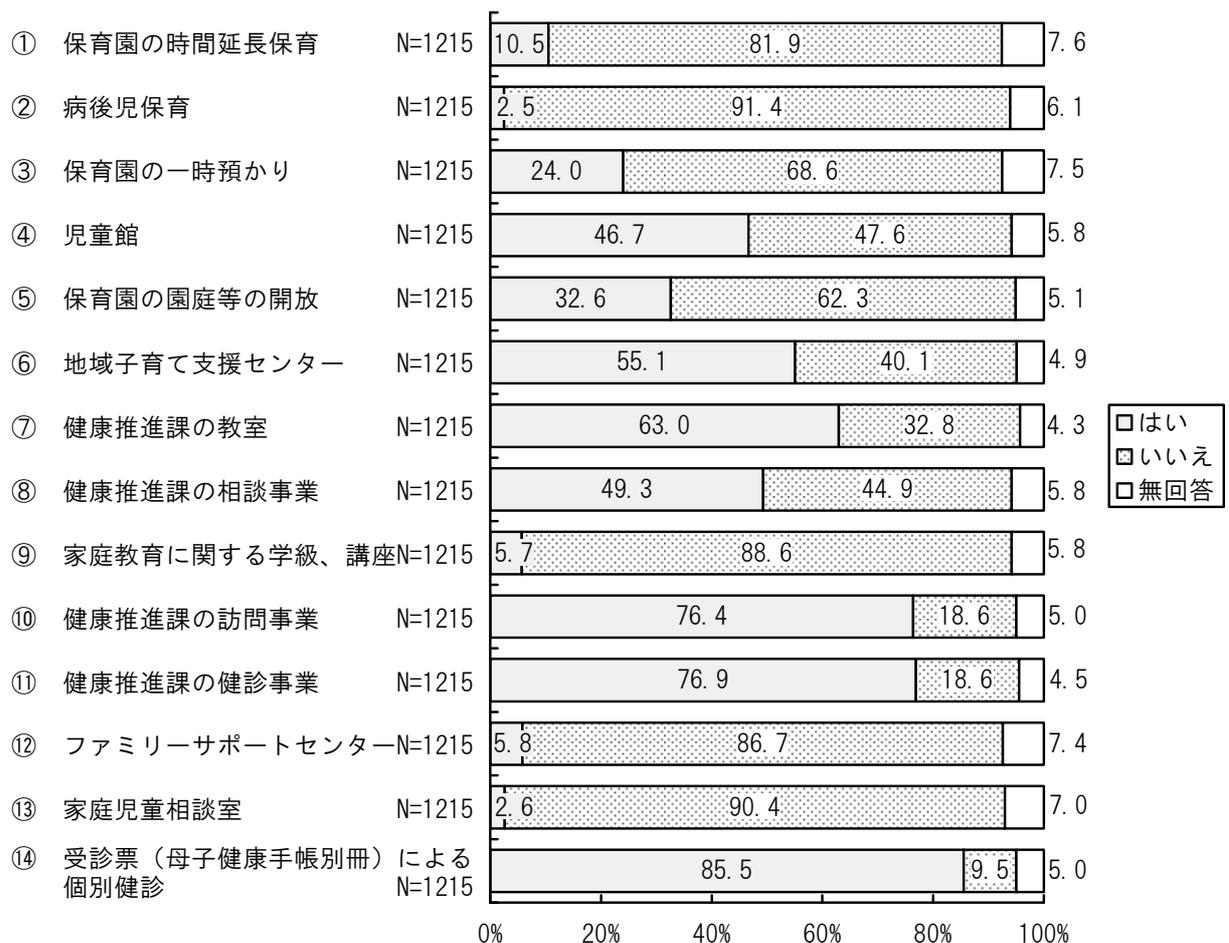
(○はそれぞれ1つ・数字で記入)

●認知状況



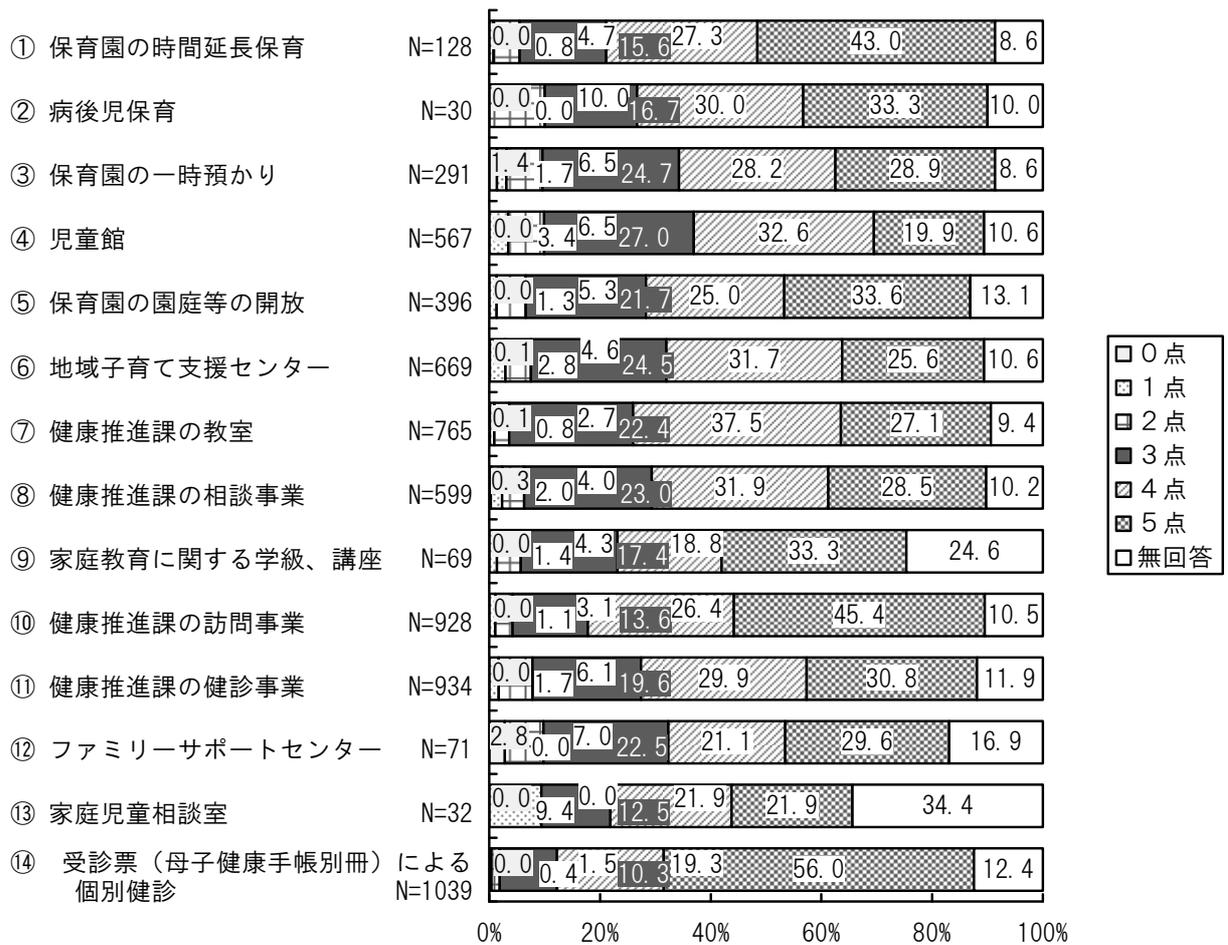
認知状況は、【⑪ 健康推進課の健診事業】、【⑭ 受診票（母子健康手帳別冊による個別健診）】において「はい（知っている）」が9割を超えて多くなっている。一方、【② 病後児保育】、【⑨ 家庭教育に関する学級、講座】、【⑬ 家庭児童相談室】において「はい（知っている）」が半数を下回って少なくなっている。

## ●利用状況



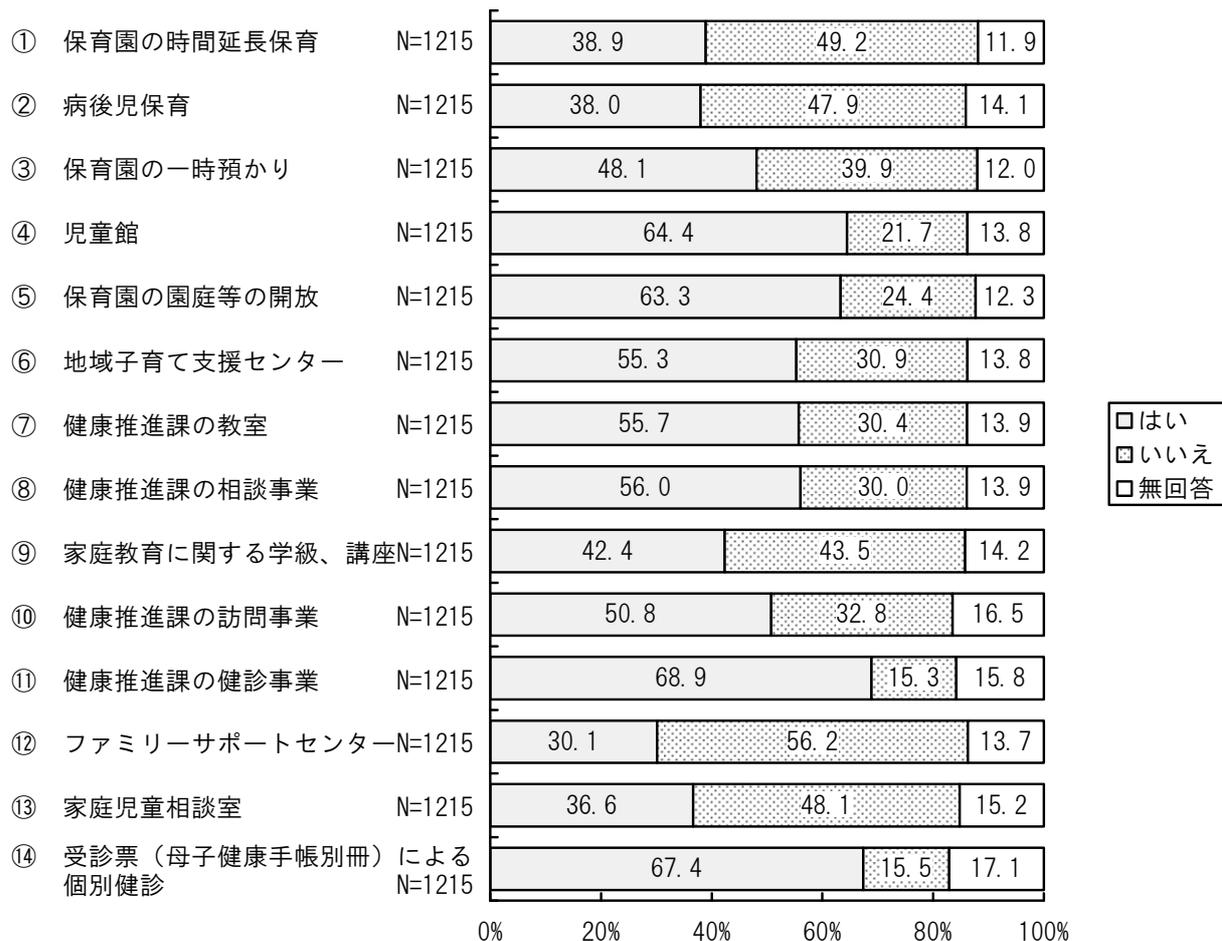
利用状況は【⑩ 健康推進課の訪問事業】、【⑪ 健康推進課の健診事業】、【⑭ 受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】において「はい（利用したことがある）」が7割を超えて多くなっている。一方、【② 病後児保育】、【⑨ 家庭教育に関する学級、講座】、【⑫ ファミリーサポートセンター】、【⑬ 家庭児童相談室】において「はい（利用したことがある）」が1割を下回って少なくなっている。

●点数（利用したことがある人のみ）



点数は、【⑭ 受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】において「5点（5点満点中）」が56.0%と多くなっている。また、『4点以上』は全ての事業において4割を超えて多くなっている。

## ●利用意向

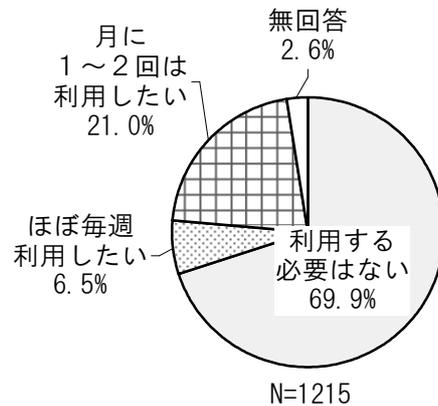


利用意向は、【④ 児童館】、【⑤ 保育園の園庭等の開放】、【⑪ 健康推進課の健診事業】、【⑭ 受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】において「はい（利用したい）」が6割を超えて多くなっている。一方、【⑫ ファミリーサポートセンター】において「はい（利用したい）」が30.1%と約3割にとどまっている。

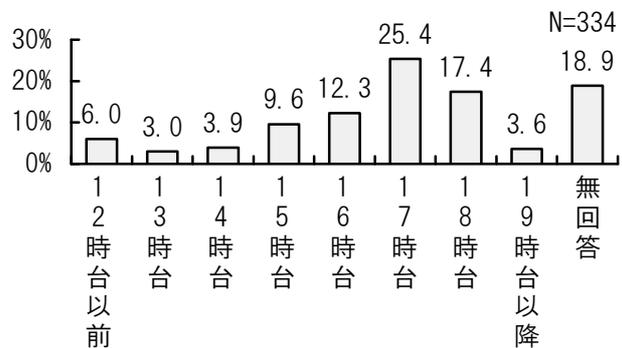
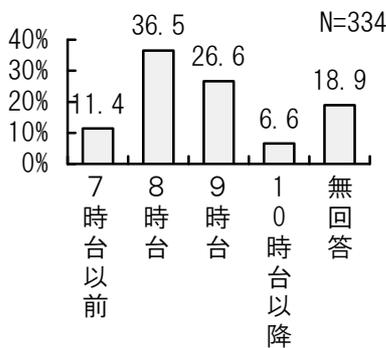
## 6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 24 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（〇は1つ・数字で記入）

### （1）土曜日



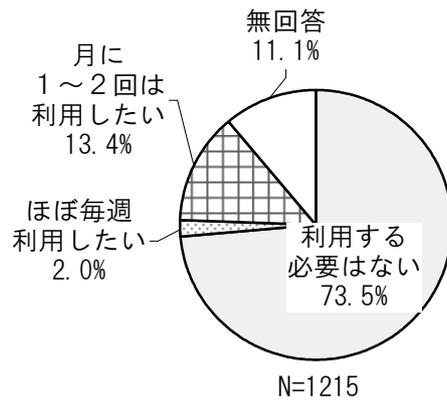
### ●希望利用開始時刻・希望利用終了時刻



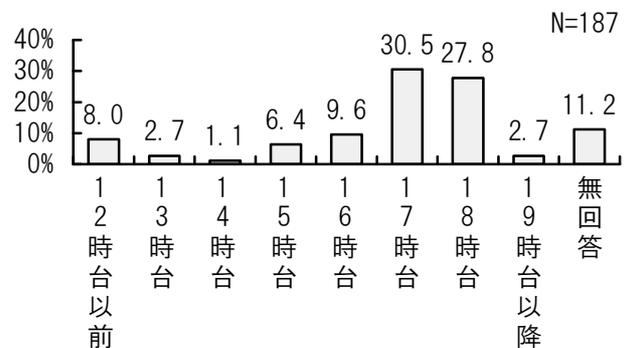
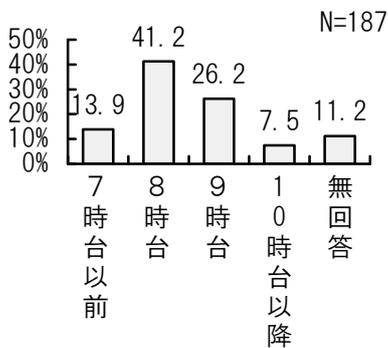
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が69.9%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が21.0%、「ほぼ毎週利用したい」が6.5%となっている。

希望利用開始時刻は「8時台」が36.5%と最も多く、希望利用終了時刻は「17時台」が25.4%と最も多くなっている。

(2) 日曜・祝日



● 希望利用開始時刻・希望利用終了時刻

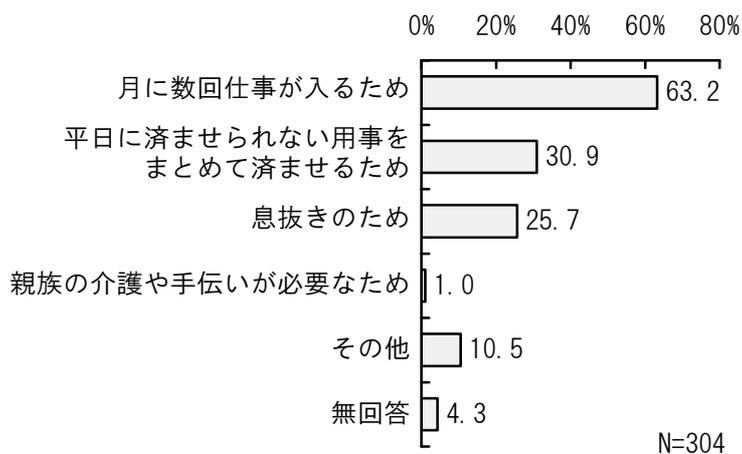


日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が73.5%と最も多く、次いで「月に1~2回は利用したい」が13.4%、「ほぼ毎週利用したい」が2.0%となっている。

希望利用開始時刻は「8時台」が41.2%と最も多く、希望利用終了時刻は「17時台」が30.5%と最も多くなっている。

問 24 (1) または (2) で「3 月に1～2回は利用したい」を選ばれた方にうかがいます。

**問 24-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)**

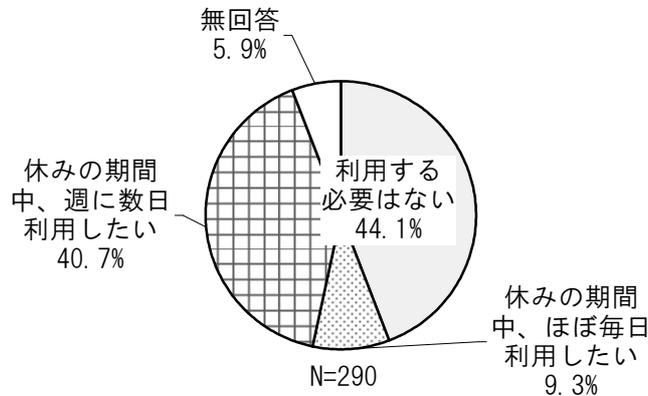


たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が 63.2%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 30.9%、「息抜きのため」が 25.7%などとなっている。

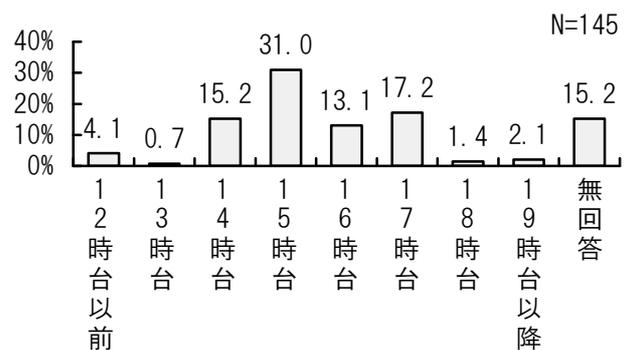
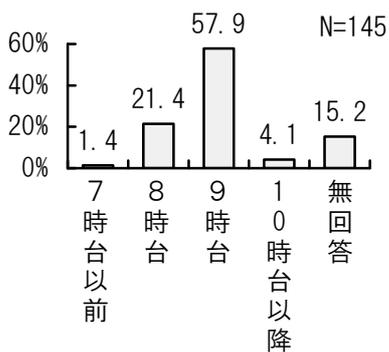
「(公立・私立) 幼稚園」を利用している方にうかがいます。

**問 25 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。**

(○は1つ・数字で記入)



●希望利用開始時刻・希望利用終了時刻

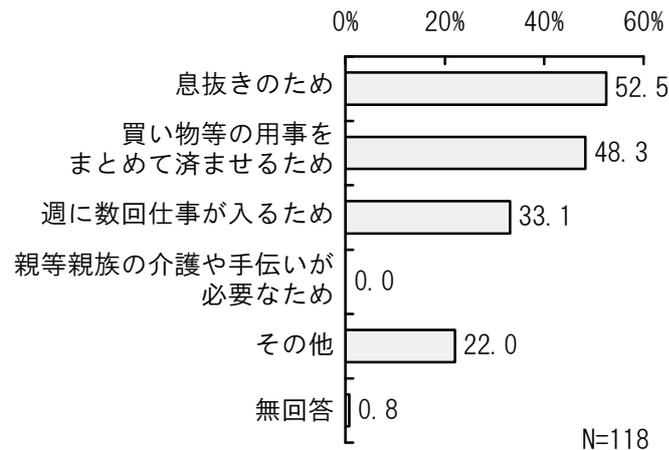


長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が44.1%と最も多く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が40.7%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が9.3%となっている。

希望利用開始時刻は「9時台」が57.9%と最も多く、希望利用終了時刻は「15時台」が31.0%と最も多くなっている。

問 25 で「3 休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方にうかがいます。

**問 25-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)**

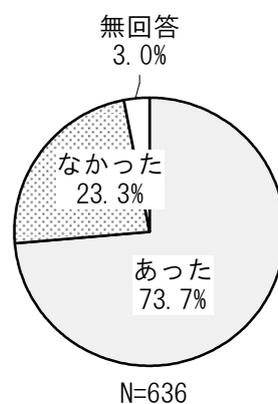


たまに利用したい理由は、「息抜きのため」が 52.5% と最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 48.3%、「週に数回仕事が入るため」が 33.1% などとなっている。

**7. 病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）について**

平日の定期的な教育・保育事業を利用している保護者の方（問 17 で「1 利用している」を選ばれた方）にうかがいます。

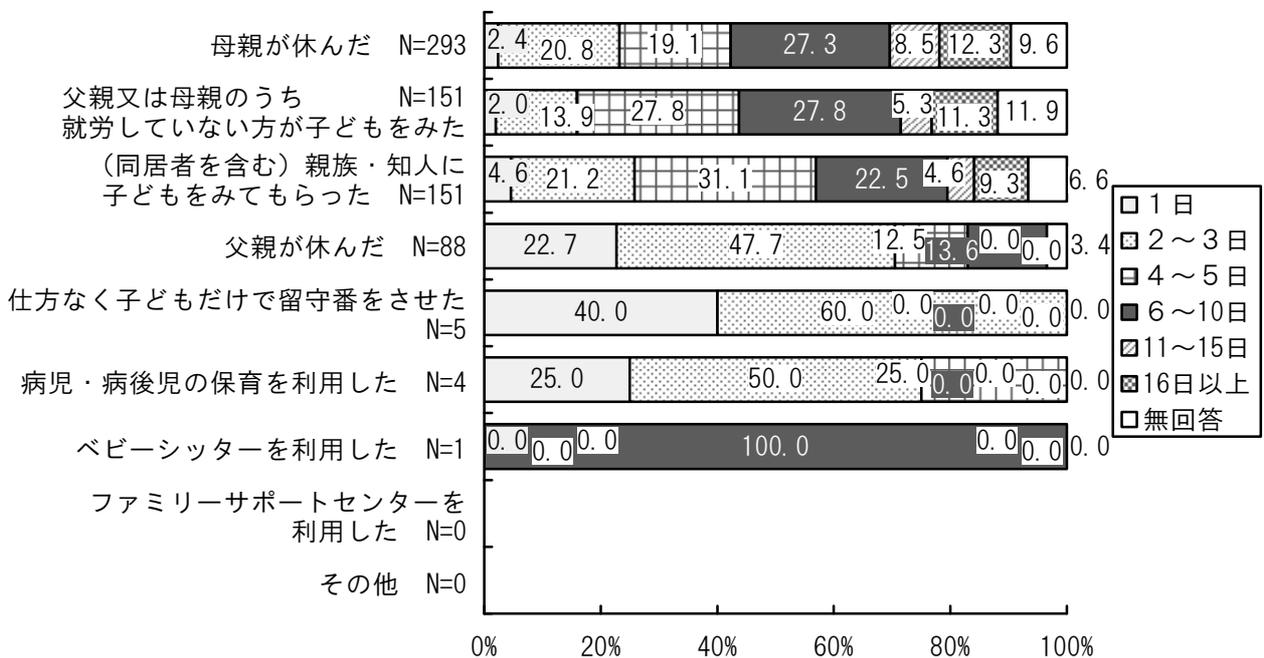
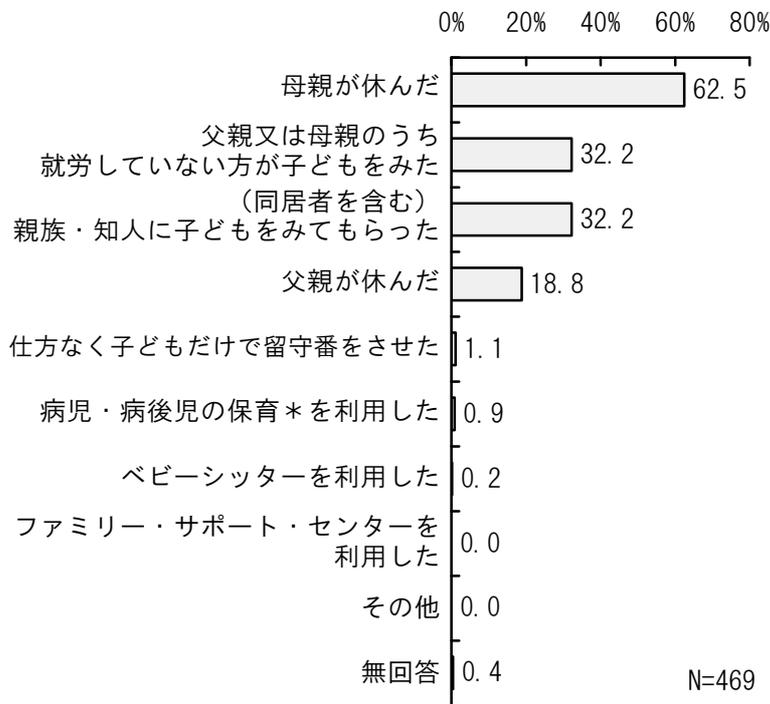
**問 26 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。(〇は 1 つ)**



この 1 年間にお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことは、「あった」が 73.7%、「なかった」が 23.3% となっている。

問 26 で「1 あった」を選ばれた方にうかがいます。

**問 26-1 この1年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業ができなかった場合の対処方法は何ですか。また、その日数は概ね何日ですか。(半日程度の場合も1日とカウントしてください) (〇はあてはまるものすべて・数字で記入)**

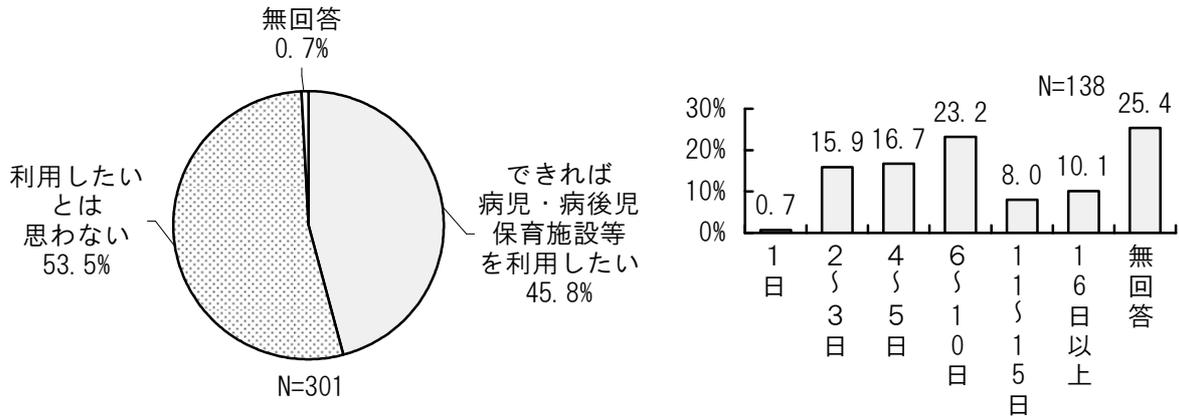


対処方法は、「母親が休んだ」が62.5%と最も多く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」、「(同居者含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」がそれぞれ32.2%、「父親が休んだ」が18.8%などとなっている。

日数は、【母親が休んだ】、【父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた】において「16日以上」が1割を超えて多くなっている。

問 26-1 で「1~2 父親/母親が休んだ」を選ばれた方にうかがいます。

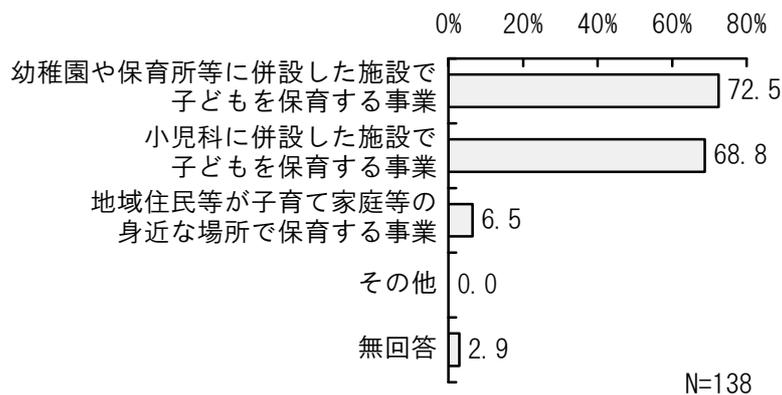
**問 26-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。また、その場合の日数はどれくらいありますか。(〇は1つ・数字で記入)**



「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思ったかについて、「利用したいとは思わない」が 53.5%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 45.8%となっている。  
 日数は、「6~10日」が 23.2%と最も多くなっている。

問 26-2 で「1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選ばれた方にうかがいます。

**問 26-3 病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)**

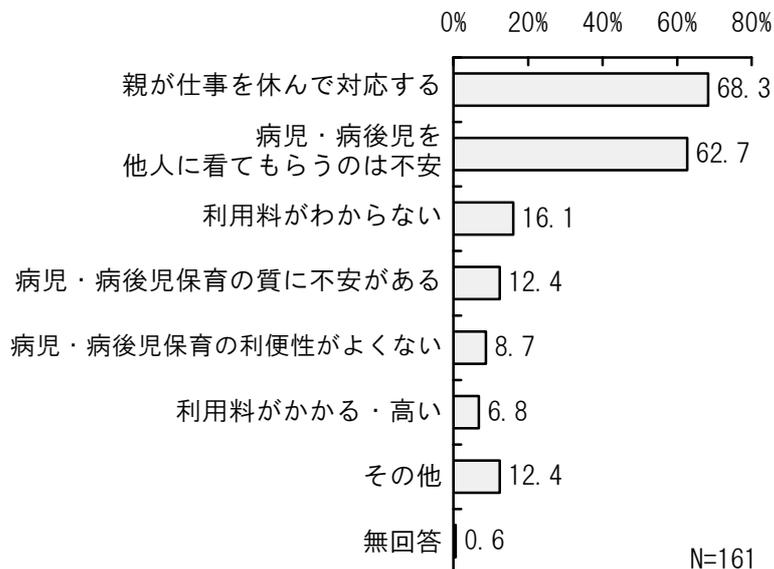


望ましい事業形態は、「幼稚園や保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 72.5%と最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 68.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 6.5%となっている。

問 26-2で「2 利用したいとは思わない」を選ばれた方にうかがいます。

**問 26-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。**

(〇はあてはまるものすべて)

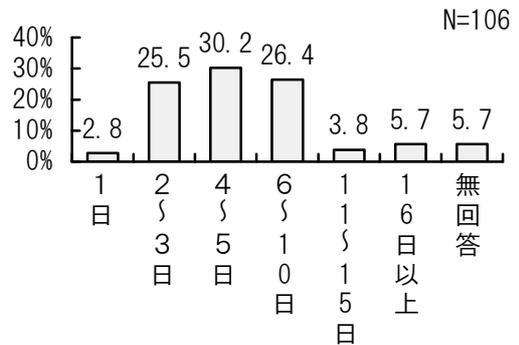
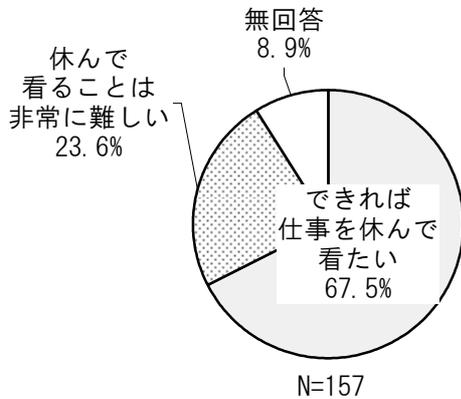


病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由は、「親が休んで対応する」が68.3%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が62.7%、「利用料がわからない」が16.1%などとなっている。

問 26-1 で「4～9 親族等が子どもをみた等」を選ばれた方にうかがいます。

**問 26-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。  
また、その場合の仕事を休んで看たかった日数はどれくらいありますか。**

(○は1つ・数字で記入)

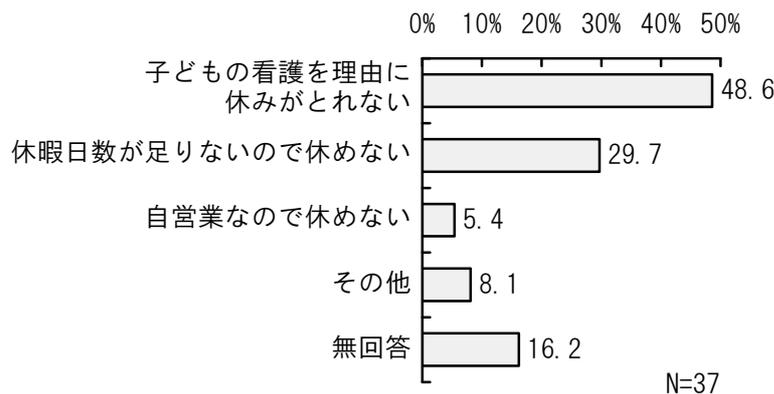


「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が67.5%、「休んで看るとは非常に難しい」が23.6%となっている。

日数は、「4～5日」が30.2%と最も多くなっている。

問 26-5 で「2 休んで看るとは非常に難しい」を選ばれた方にうかがいます。

**問 25-6 その理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)**

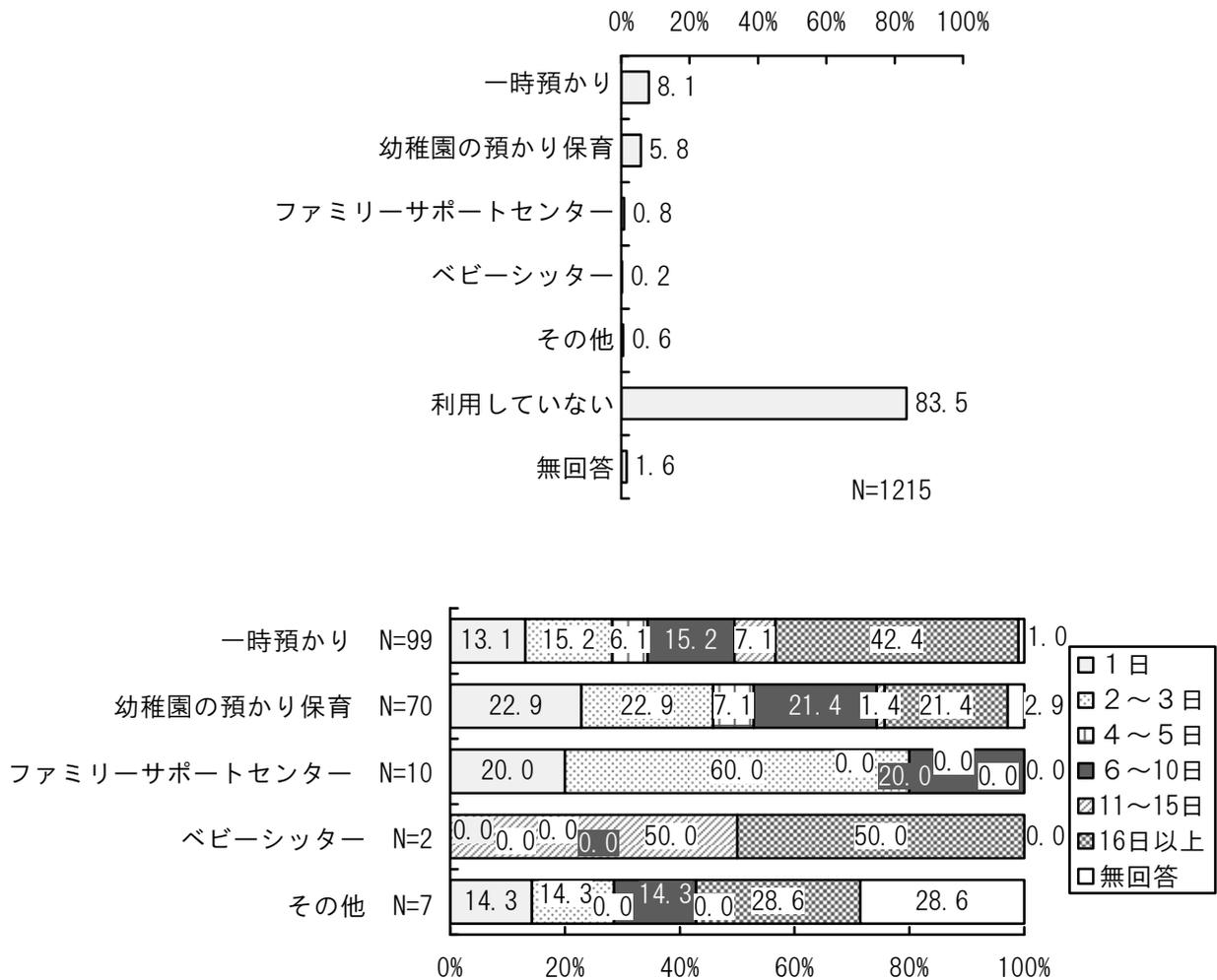


「休んで看るとは非常に難しい」理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が48.6%と最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が29.7%、「その他」が8.1%などとなっている。

## 8. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 27 この1年間に、あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的（日中の定期的な保育や病気のため以外）で不定期に利用している事業はありますか。また、その日数は概ね何日ですか。（半日程度の場合も1日とカウントしてください）

（○はあてはまるものすべて・数字で記入）

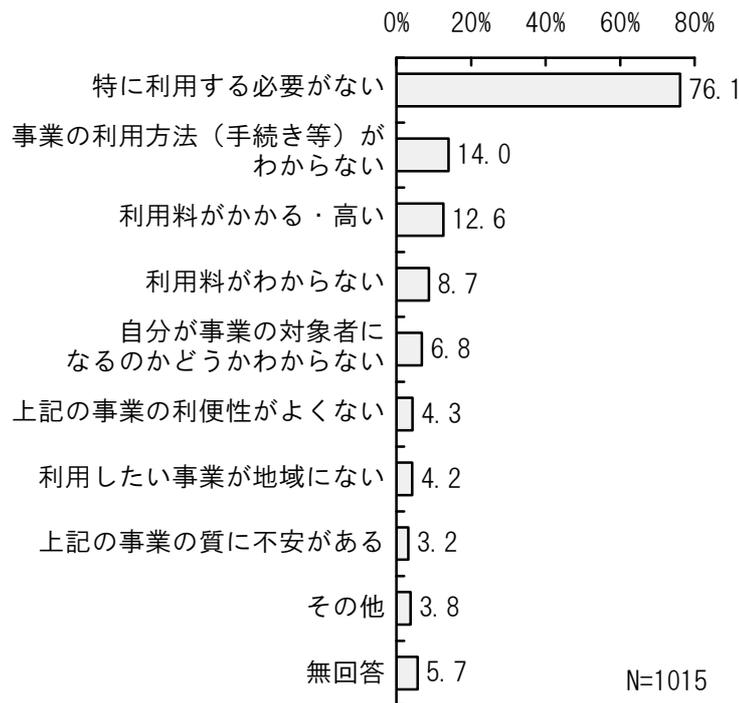


この1年間に私用等の目的で不定期に利用している事業は、「利用していない」が83.5%と最も多く、次いで「一時預かり」が8.1%、「幼稚園の預かり保育」が5.8%などとなっている。

日数は、【一時預かり】において「16日以上」が42.4%と多くなっている。

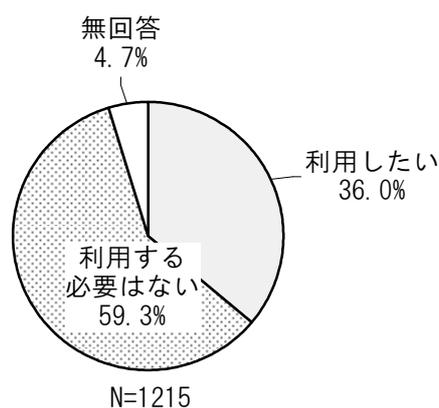
問27で「7 利用していない」を選ばれた方にうかがいます。

**問27-1 利用していない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)**



利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が76.1%と最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が14.0%、「利用料がかかる・高い」が12.6%などとなっている。

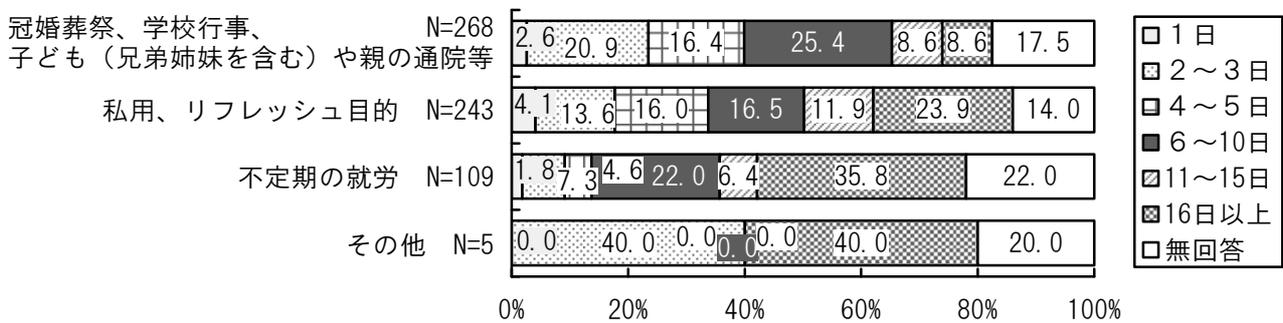
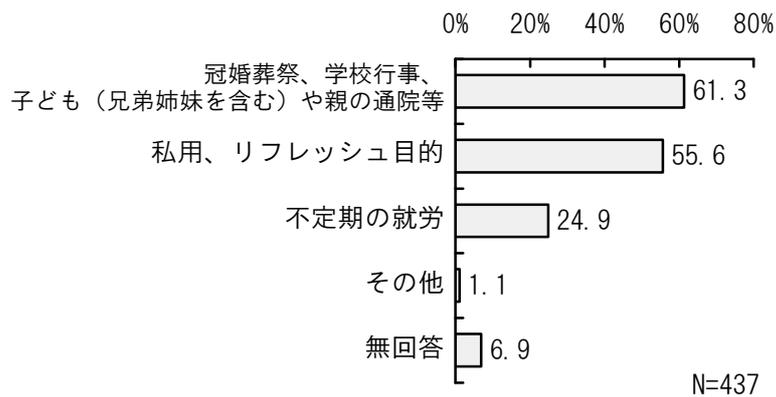
**問28 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要があると思いますか。(〇は1つ・数字で記入)**



私用等の目的で事業を利用する必要については、「利用する必要はない」が59.3%、「利用したい」が36.0%となっている。

問 28 で「1 利用したい」を選ばれた方にかがいます。

**問 28-1 その目的と必要な日数をご記入ください。(○はあてはまるものすべて・数字で記入)**

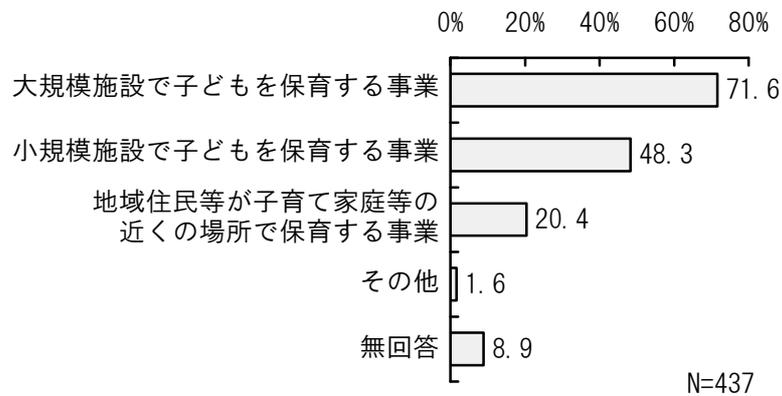


利用したい目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 61.3%と最も多く、次いで「私有、リフレッシュ目的」が 55.6%、「不特定の就労」が 24.9%などとなっている。

日数は、【不特定の就労】、【その他】において「16 日以上」が 3 割を超えて多くなっている。

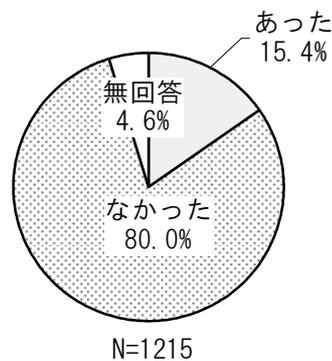
問 28 で「1 利用したい」を選ばれた方にうかがいます。

**問 28-2 問 27-1 の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。**  
(○はあてはまるものすべて)



望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 71.6%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 48.3%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 20.4%などとなっている。

**問 29 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。**  
(預け先が見つからなかった場合も含みます) (○は 1 つ)

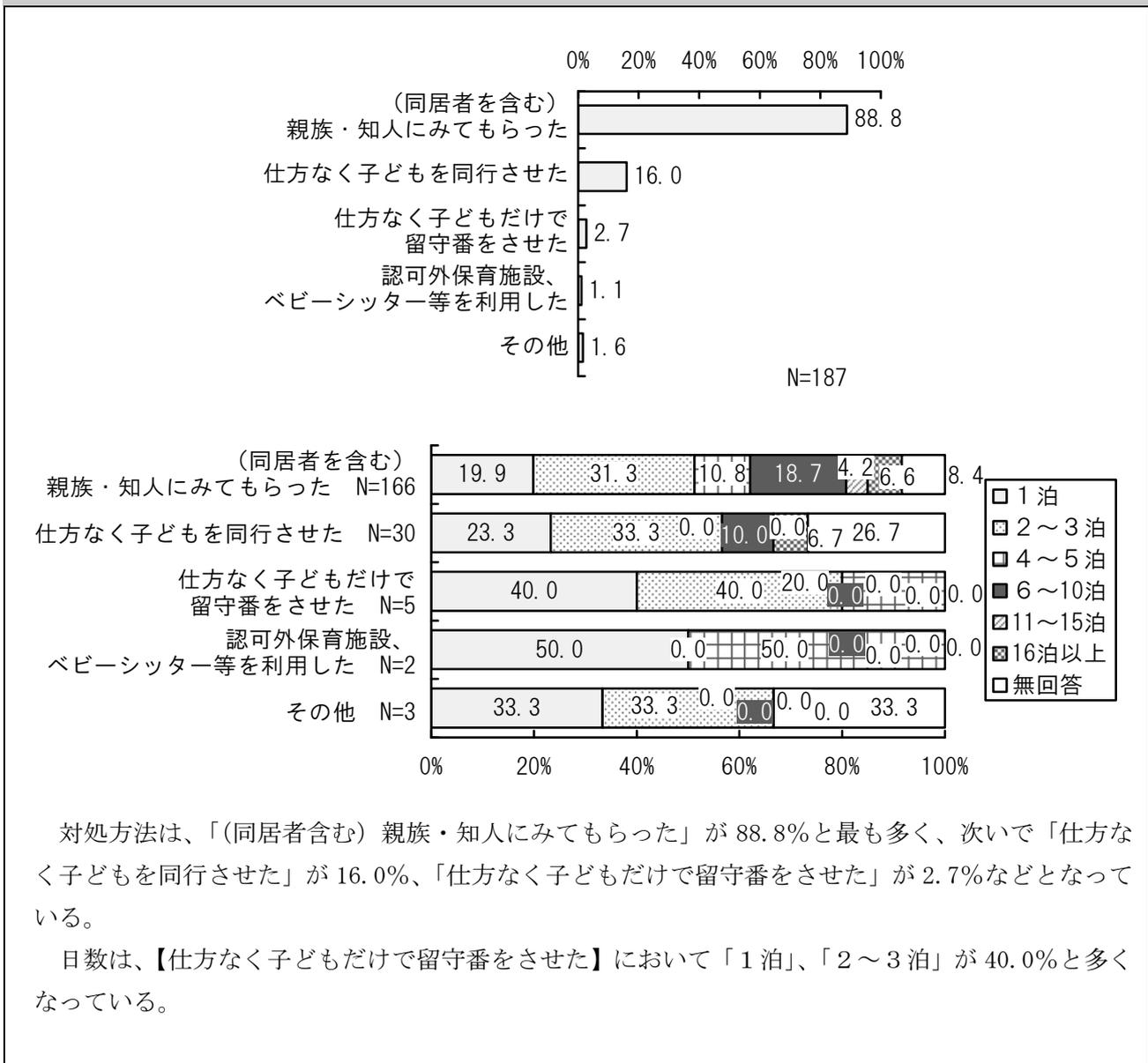


この 1 年間の保護者の用事によりお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことは、「なかった」が 80.0%、「あった」が 15.4%となっている。

問 29 で「1 あった」を選ばれた方にうかがいます。

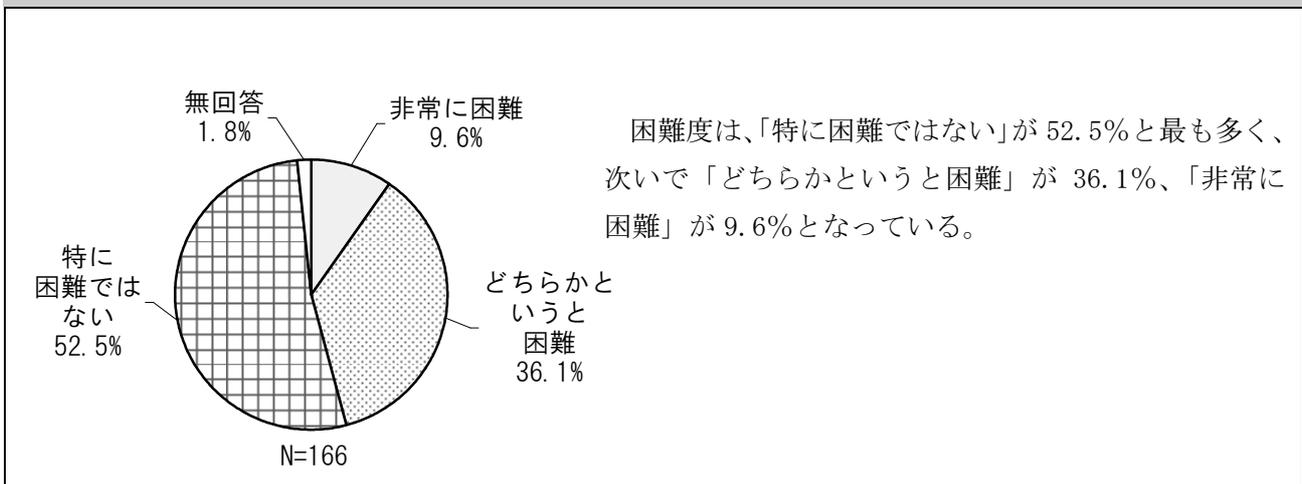
**問 29-1 その対処方法と年間の日数をご記入ください。**

(○はあてはまるものすべて・数字で記入)



問 29-1 で「1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」を選ばれた方にうかがいます。

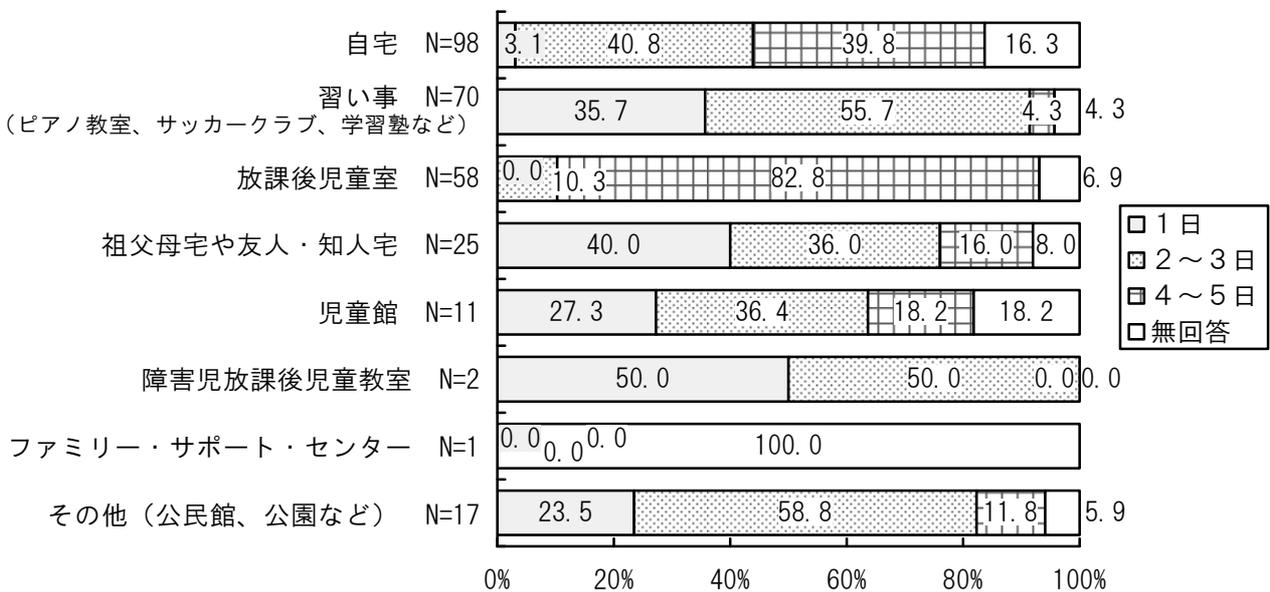
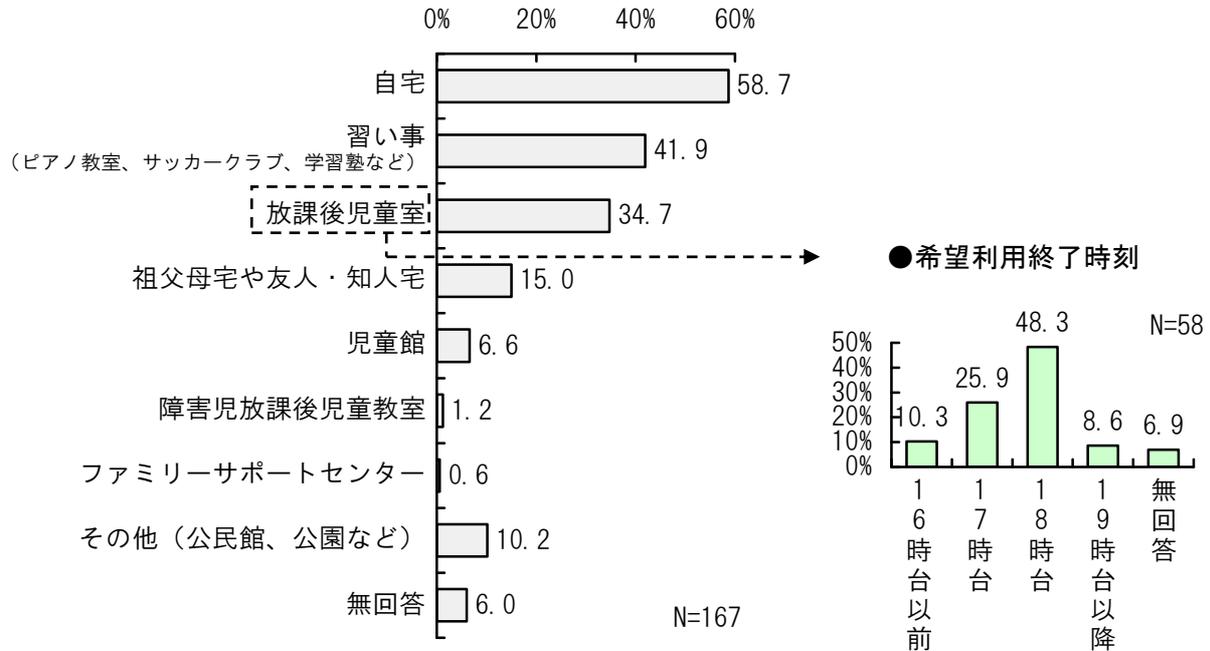
**問 29-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。(○は1つ)**



## 9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

あて名のお子さんが平成21年4月1日以前に生まれた方 にかがいます。

**問30** あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたり日数は何日ですか。「放課後児童室」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。（〇はあてはまるものすべて・数字で記入）

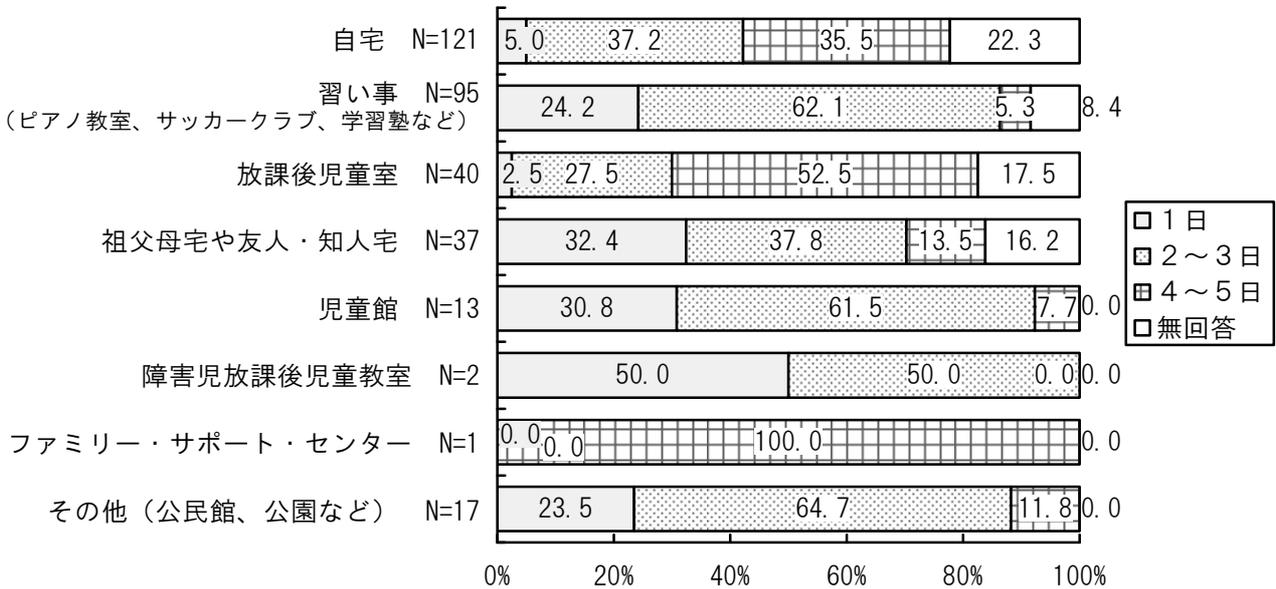
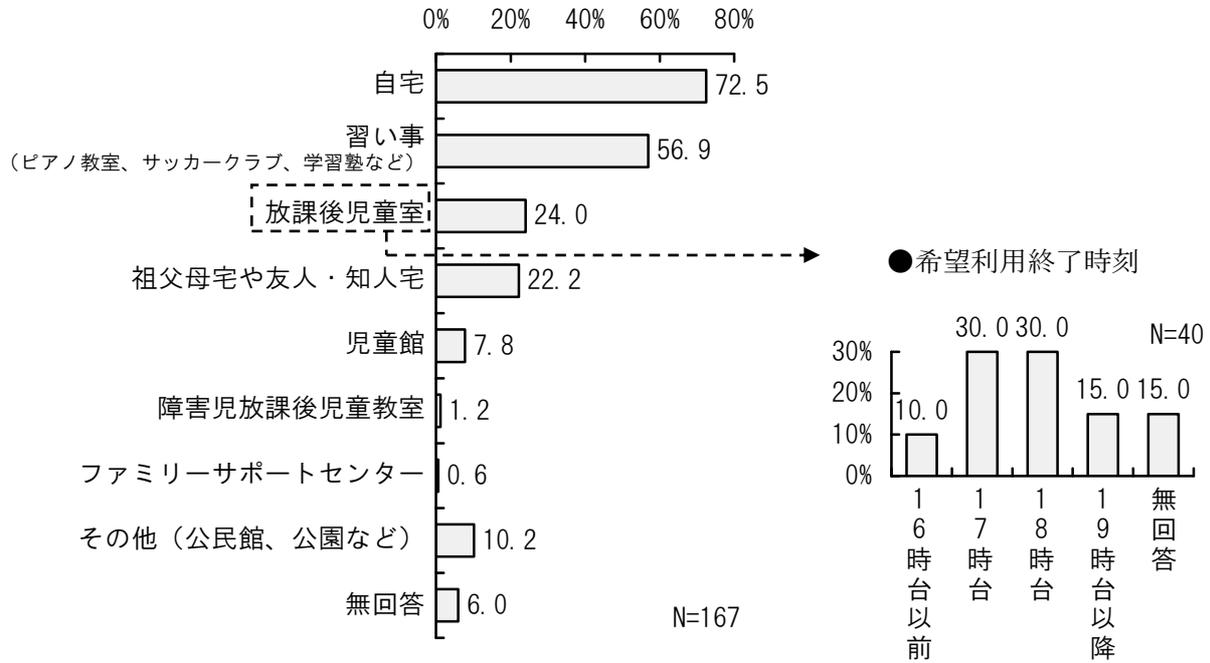


小学校低学年（1～3年生）のうちの希望する放課後の過ごし方は、「自宅」が58.7%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が41.9%、「放課後児童室」が34.7%などとなっている。

日数は、【自宅】、【放課後児童室】において「4～5日」が3割を超えて多くなっている。また、放課後児童室の希望利用終了時刻は「18時台」が48.3%と最も多くなっている。

あて名のお子さんが平成21年4月1日以前に生まれた方 にかがいます。

**問 31 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたり日数は何日ですか。「放課後児童室」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。（○はあてはまるものすべて・数字で記入）**



小学校高学年（4～6年生）のうちの希望する放課後の過ごし方は、「自宅」が72.5%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が56.9%、「放課後児童室」が24.0%などとなっている。

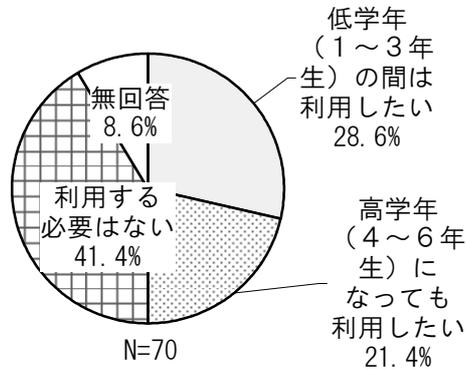
日数は、【自宅】、【放課後児童室】において「4～5日」が3割を超えて多くなっている。また、放課後児童室の希望利用終了時刻は「17時台」、「18時台」がそれぞれ30.0%と最も多くなっている。

問 30 または問 31 で「4 放課後児童室」を選ばれた方にうかがいます。

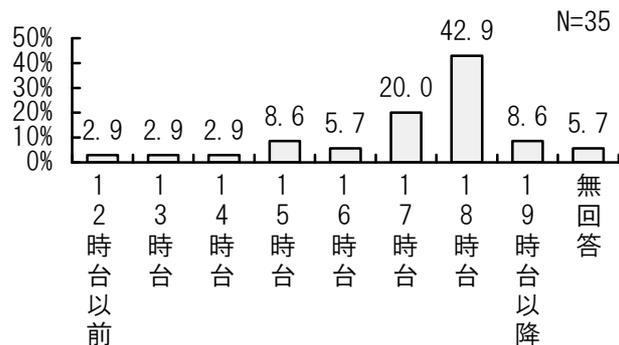
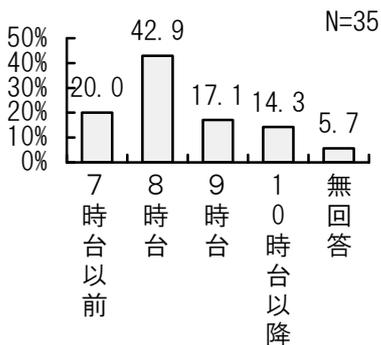
**問 32 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童室の利用希望はありますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。**

(○は1つ・数字で記入)

(1) 土曜日



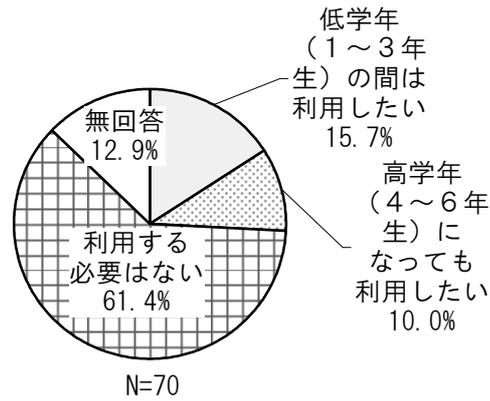
● 希望利用開始時刻・希望利用終了時刻



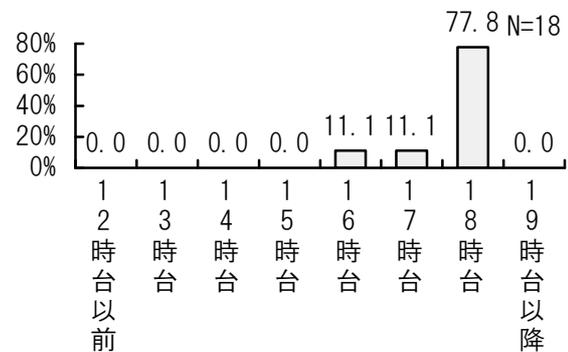
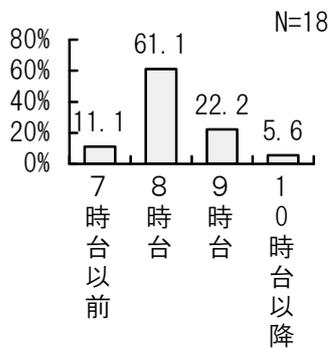
土曜日の放課後児童室の利用希望は、「利用する必要はない」が41.4%と最も多く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が28.6%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が21.4%などとなっている。

希望利用開始時刻は「8時台」が42.9%と最も多く、希望利用終了時刻は「18時台」が42.9%と最も多くなっている。

(2) 日曜・祝日



● 希望利用開始時刻・希望利用終了時刻

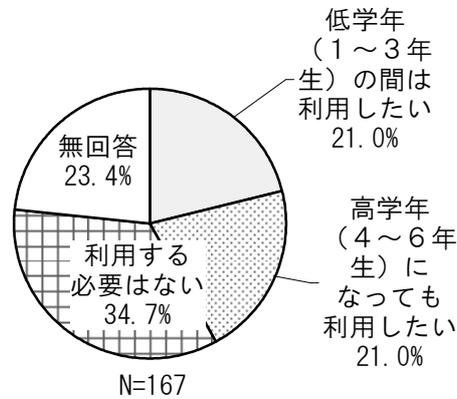


日曜日の放課後児童室の利用希望は、「利用する必要はない」が61.4%と最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が15.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が10.0%などとなっている。

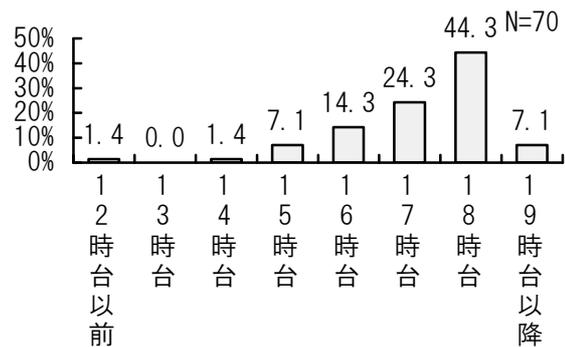
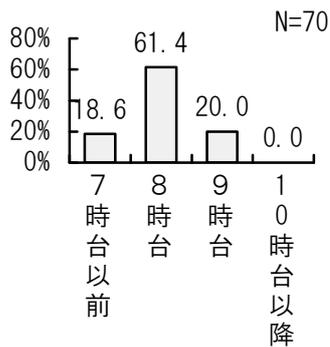
希望利用開始時刻は「8時台」が61.1%と最も多く、希望利用終了時刻は「18時台」が77.8%と最も多くなっている。

あて名のお子さんが平成21年4月1日以前に生まれた方 にかがいます。

**問 33 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童室の利用希望はありますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。**  
**(○は1つ・数字で記入)**



● 希望利用開始時刻・希望利用終了時刻

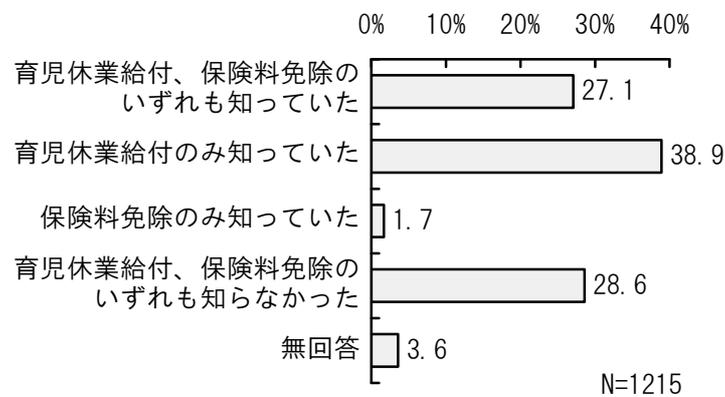


長期休暇中の放課後児童室の利用希望は、「利用する必要がある」が34.7%と最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」がそれぞれ21.0%などとなっている。

希望利用開始時刻は「8時台」が61.4%と最も多く、希望利用終了時刻は「18時台」が44.3%と最も多くなっている。

## 10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

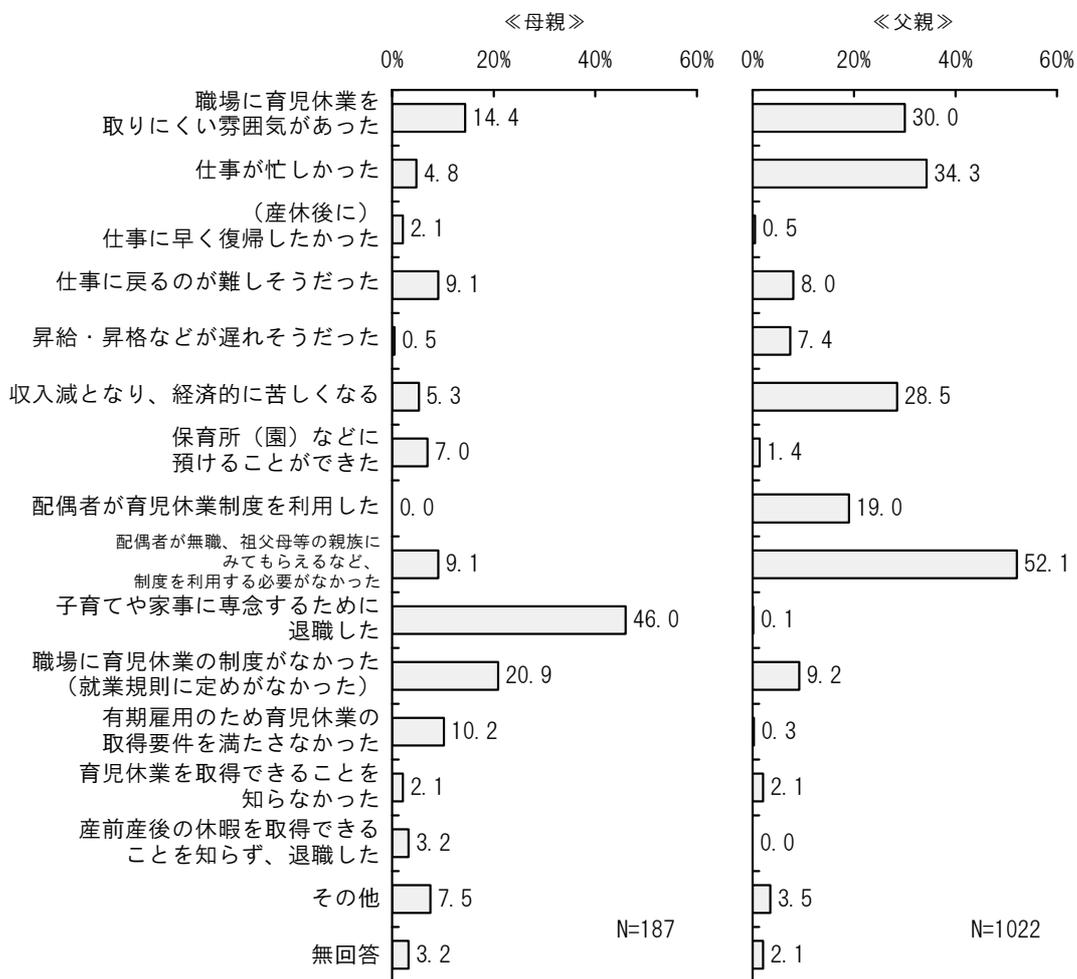
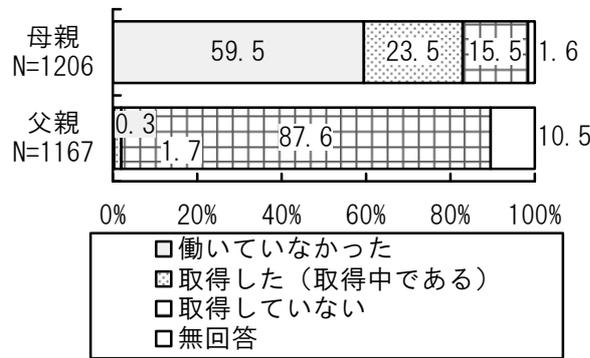
問 34 育児休業に関連して次の2つの制度がありますが、そのことをご存じですか。(〇は1つ)



育児休業に関連する2つの制度の認知状況は、「育児休業給付のみ知っていた」が38.9%と最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が28.6%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が27.1%などとなっている。

**問 35 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。**

(○はそれぞれ1つ・【理由】○はいくつでも)

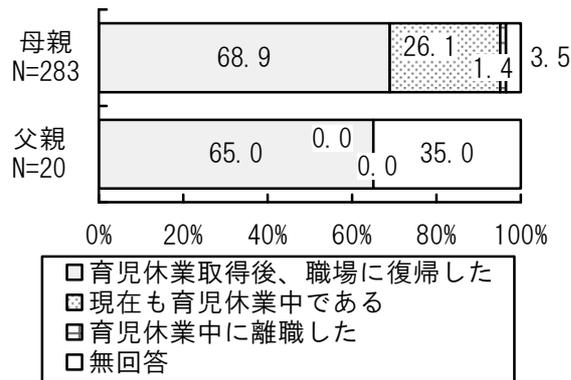


お子さんが生まれた時の育児休業の取得状況は、【母親】において「働いていなかった」が59.5%と最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が23.5%、「取得していない」が15.5%となっている。【父親】においては「取得していない」が87.6%と突出している。

取得していない理由は、【母親】において「子育てや家事に専念するために退職した」が46.0%と最も多く、【父親】において「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が52.1%と最も多くなっている。

問 35 で「2 取得した（取得中である）」を選ばれた方にうかがいます。

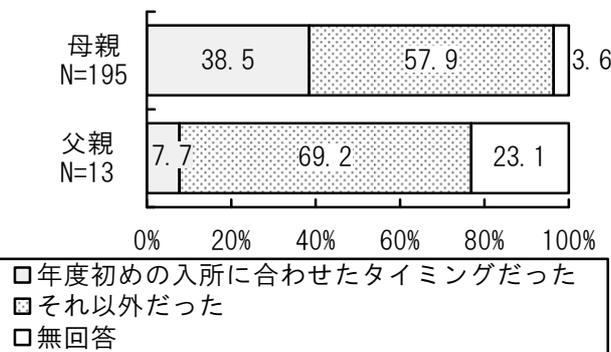
**問 35-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○はそれぞれ1つ）**



育児休業取得後の職場復帰の状況は、【母親】において「育児休業取得後、職場に復帰した」が 68.9% と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 26.1%、「育児休業中に離職した」が 1.4% となっている。【父親】においては「育児休業取得後、職場に復帰した」が 65.0% となっている。

問 35 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方にうかがいます。

**問 35-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（○はそれぞれ1つ）**



育児休業からの復帰のタイミングは、【母親】において「それ以外だった」が 57.9%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 38.5% となっている。【父親】においては「それ以外だった」が 69.2%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 7.7% となっている。

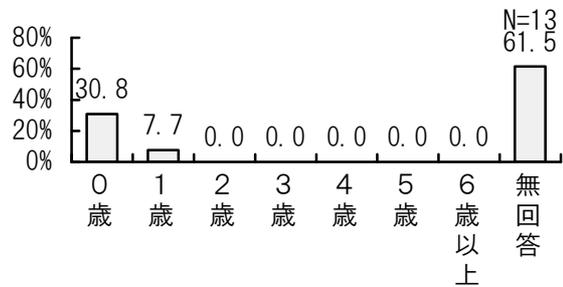
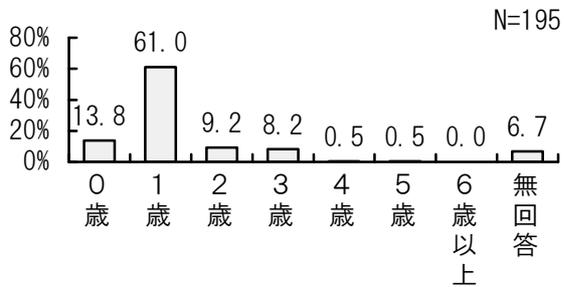
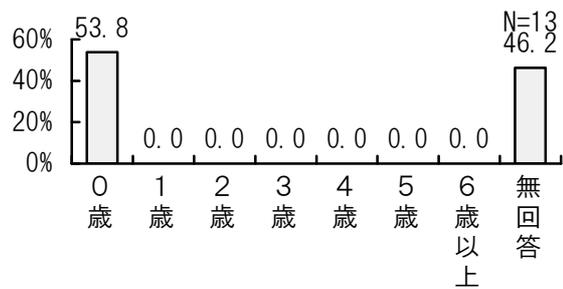
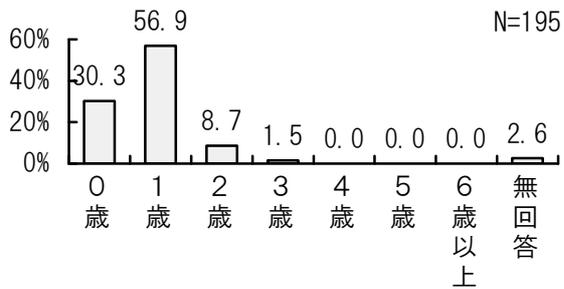
問 35 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方にうかがいます。

**問 35-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(数字を記入)**

《母親》

《父親》

(上段：実際の復帰 下段：希望の復帰)

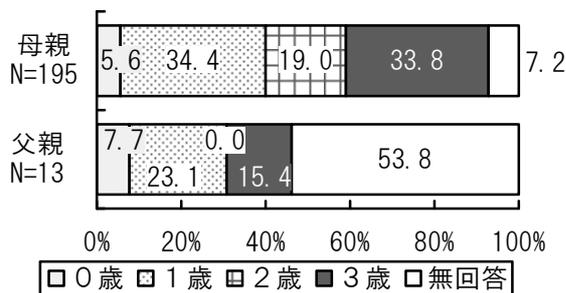


実際の復帰時期（お子さんの年齢）は、【母親】において「1歳」が56.9%と最も多く、次いで「0歳」が30.3%、「2歳」が8.7%などとなっている。【父親】においては「0歳」が53.8%となっている。

希望の復帰時期（お子さんの年齢）は、【母親】において「1歳」が61.0%と最も多く、次いで「0歳」が13.8%、「2歳」が9.2%などとなっている。【父親】においては「0歳」が30.8%と最も多く、次いで「1歳」が7.7%となっている。

問 35 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方にうかがいます。

**問 35-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(数字を記入)**

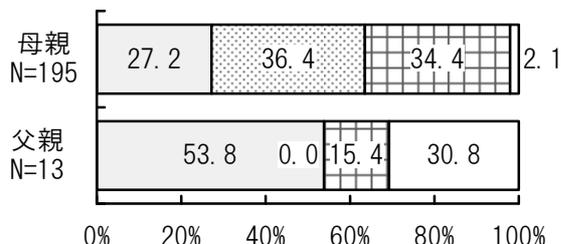


3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望する復帰時期（お子さんの年齢）は、【母親】において「1歳」が34.4%と最も多く、次いで「3歳」が33.8%、「2歳」が19.0%などとなっている。【父親】においては「1歳」が23.1%と最も多く、次いで「3歳」が15.4%、「0歳」が7.7%となっている。

問 35 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方にうかがいます。

**問 35-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。**

(○はそれぞれ1つ)



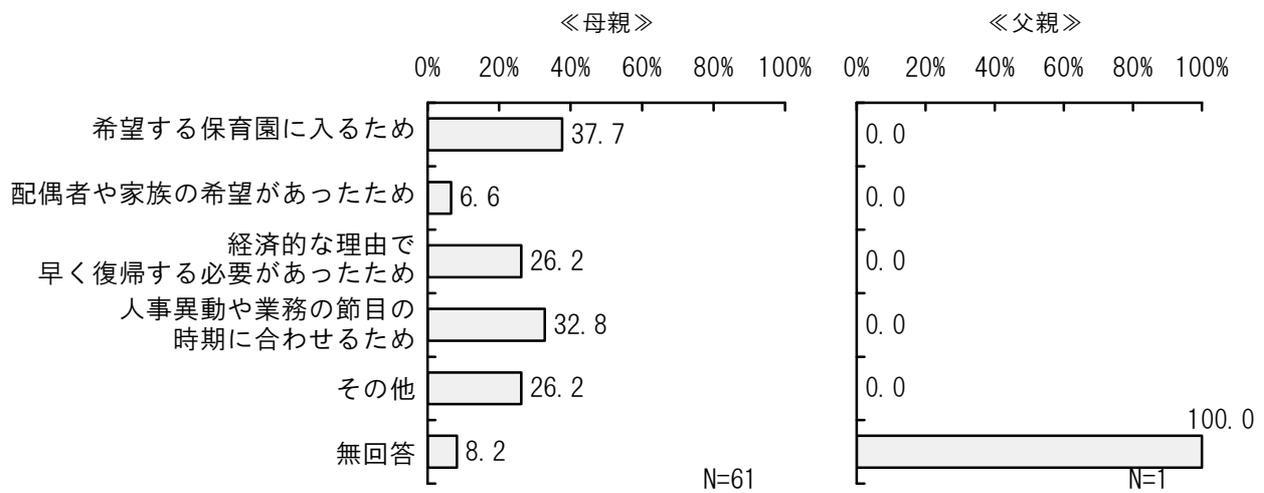
- 利用する必要がなかった
- 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった (できなかつた)
- 無回答

短時間勤務制度の利用状況は、【母親】において「利用した」が36.4%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった (できなかつた)」が34.4%、「利用する必要がなかった」が27.2%となっている。【父親】においては「利用する必要がなかった」が53.8%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった (できなかつた)」が15.4%となっている。

問 35-3で 実際の復帰と希望が異なる方 にかがいます。

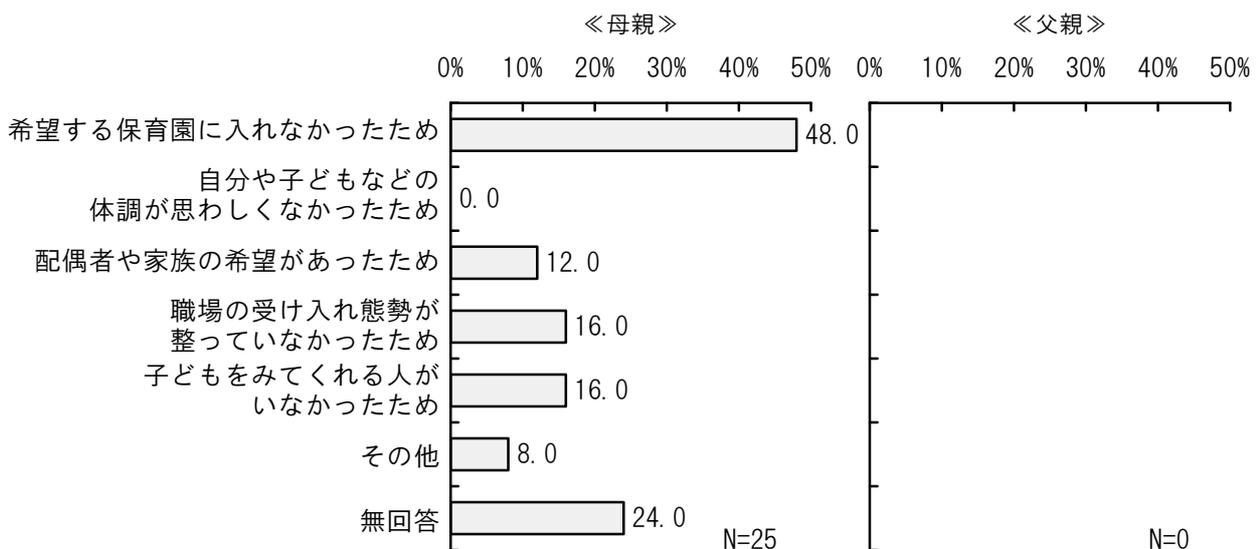
**問 35-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。**

(1) 「希望」より 早く 復帰した方 (〇はあてはまるものすべて)



希望より早く復帰した理由は、「希望する保育園に入るため」が37.7%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が32.8%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」、「その他」がそれぞれ26.2%などとなっている。男性においてはサンプル数が少ないため、コメントは割愛する。

(2) 「希望」より 遅く 復帰した方 (〇はあてはまるものすべて)

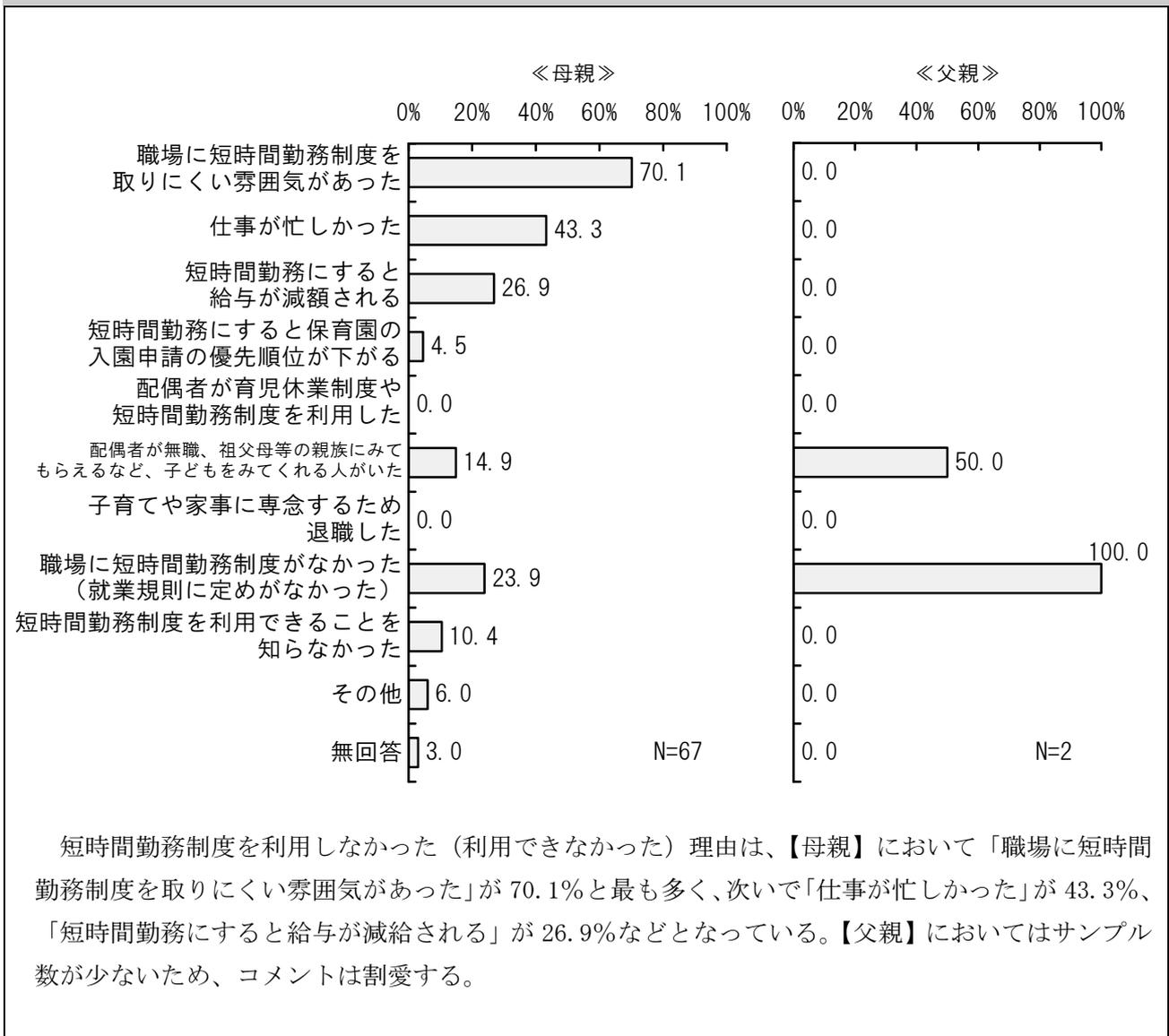


希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育園に入れなかったため」が48.0%と最も多く、次いで「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」、「子どもをみてくれる人がいなかったため」がそれぞれ16.0%、「配偶者や家族の希望があったため」が12.0%などとなっている。

問 35-5で「3 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選ばれた方にうかがいます。

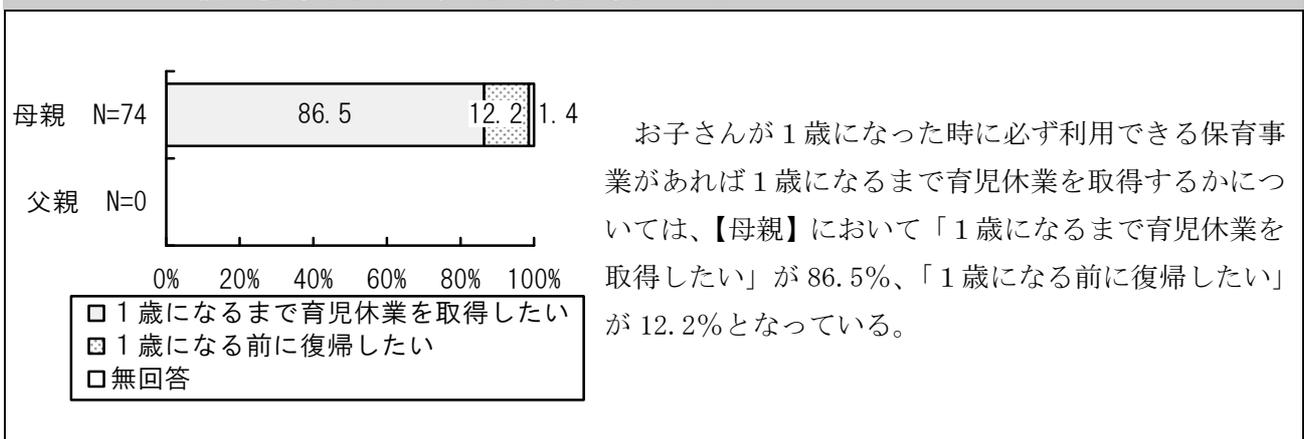
**問 35-7 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。**

（○はあてはまるものすべて）



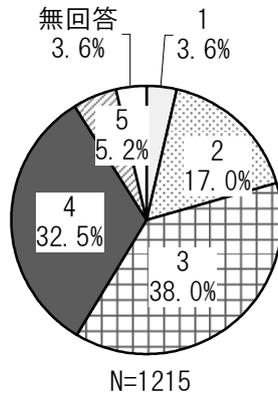
問 35で「2. 現在も育児休業中である」を選ばれた方にうかがいます。

**問 35-8 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（○はそれぞれ1つ）**



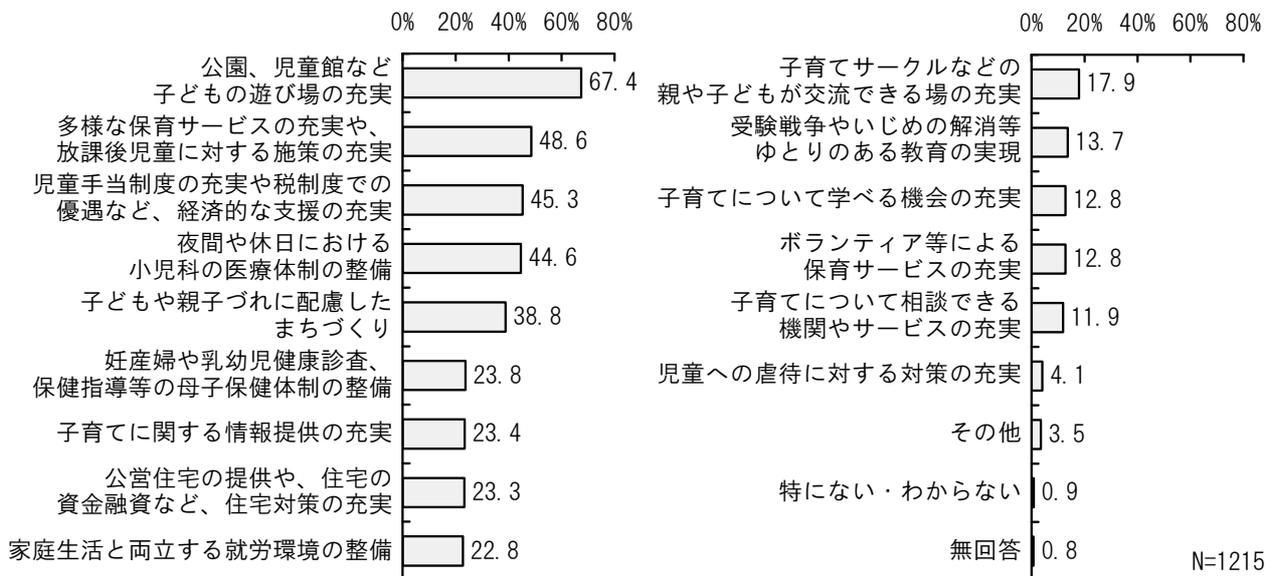
# 11. 子育てに関する一般的な事項について

**問 36 裾野市の子育て環境や支援の満足度について、1～5の5段階評価でお答えください。**  
**(1～5のうち、あてはまる番号に1つに○)**



裾野市の子育て環境や支援の満足度の5段階評価は、「3（どちらともいえない）」が38.0%と最も多く、次いで「4（やや満足）」が32.5%、「2（やや不満）」が17.0%などとなっている。『満足（4＋5）』は37.7%、『不満（1＋2）』は20.6%となっている。

**問 37 今後、裾野市の子育て環境をさらによくしていくために、次のことについてあなたはどのようなお考えですか。重要と思われるもの5つまでに○をつけてください。**  
**(○は5つまで)**

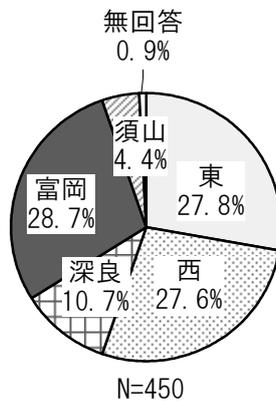


今後、裾野市の子育て環境をさらによくしていくために重要と思われるものは、「公園、児童館など子どもの遊び場の充実」が67.4%と最も多く、次いで「多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実」が48.6%、「児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援の充実」が45.3%などとなっている。

## 3. 調査結果【小学生児童】

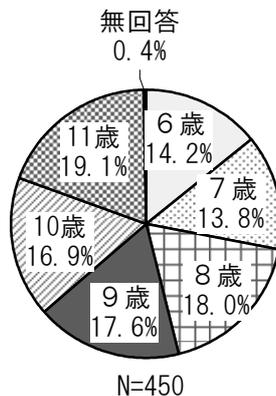
### 1. お子さんご家族の状況について

問1 あなたのお住まいの地区を教えてください。(〇は1つ)



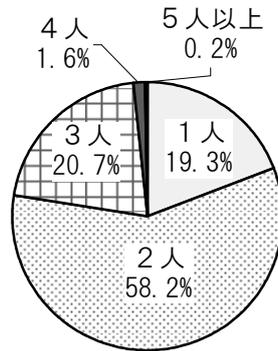
お住まいの地区は、「富岡」が28.7%と最も多く、次いで「東」が27.8%、「西」が27.6%などとなっている。

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。(数字で記入)

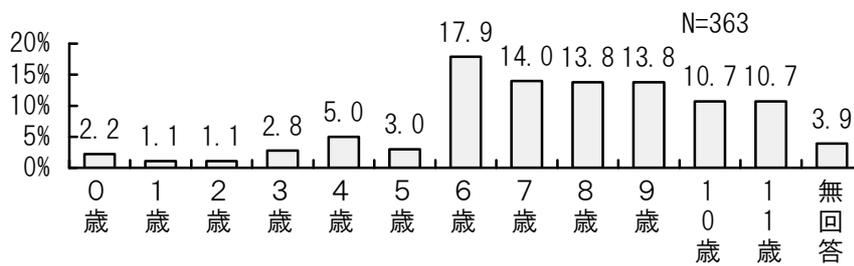


お子さんの年齢は、「11歳」が19.1%と最も多く、次いで「8歳」が18.0%、「9歳」が17.6%などとなっている。

**問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。  
また、2人以上いる場合、末子の生年月をご記入ください。(数字で記入)**



N=450

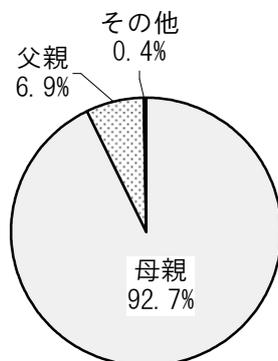


N=363

お子さんの人数は、「2人」が58.2%と最も多く、次いで「3人」が20.7%、「1人」が19.3%などとなっている。

お子さんが2人以上いる場合の末子の年齢は、「6歳」が17.9%と最も多く、次いで「7歳」が14.0%、「8歳」、「9歳」がそれぞれ13.8%などとなっている。

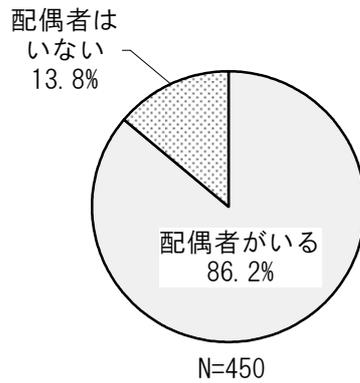
**問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)**



N=450

回答者は、「母親」が92.7%と最も多く、次いで「父親」が6.9%、「その他」が0.4%となっている。

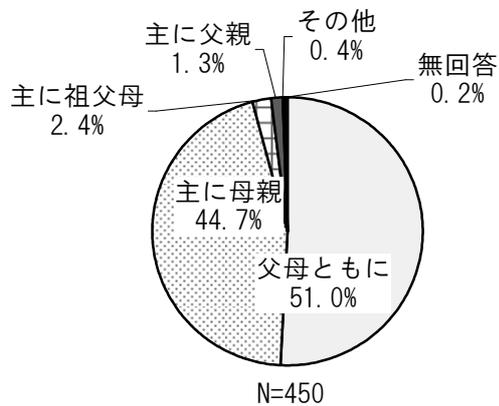
**問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)**



配偶関係は、「配偶者がいる」が86.2%、「配偶者がいない」が13.8%となっている。

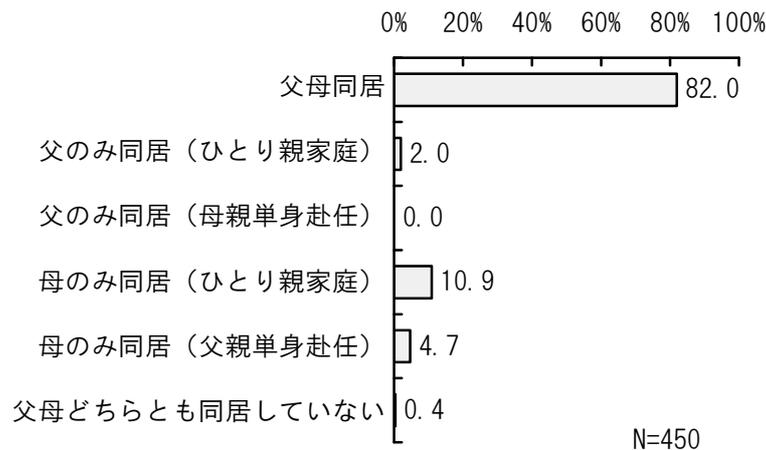
**問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。**

(〇は1つ)



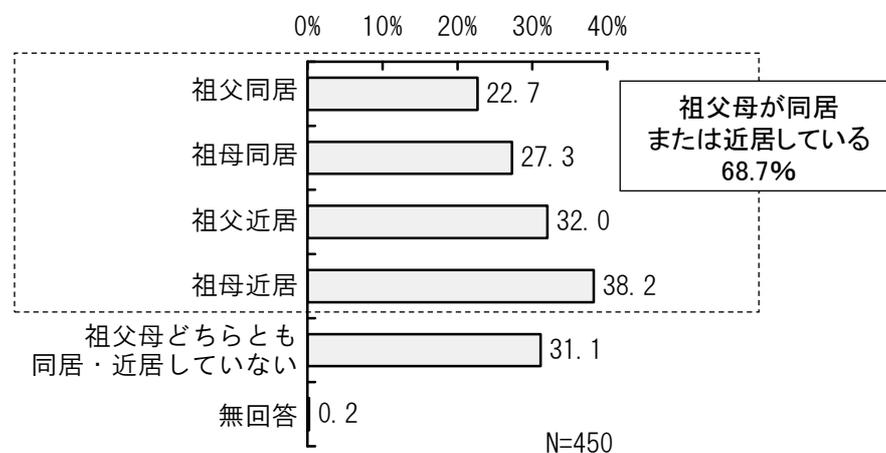
お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方は、「父母ともに」が51.0%と最も多く、次いで「主に母親」が44.7%、「主に祖父母」が2.4%などとなっている。

### 問7 あて名のお子さんの、父母との同居状況についてお答えください。(○は1つ)



お子さんの父母との同居状況は、「父母同居」が82.0%と最も多く、次いで「母のみ同居（ひとり親家庭）」が10.9%、「母のみ同居（父親単身赴任）」が4.7%などとなっている。

### 問8 あて名のお子さんの、祖父母との同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお答えください。(○はあてはまるものすべて)

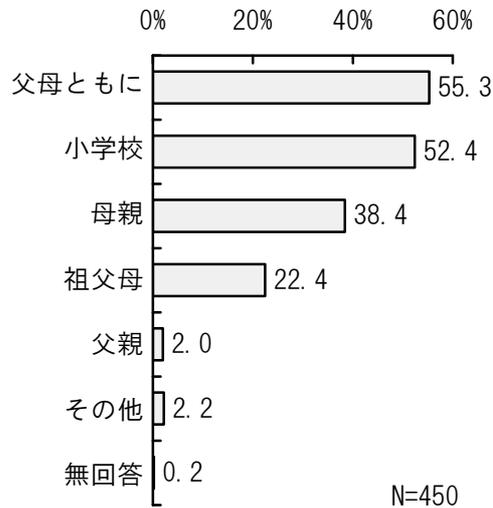


お子さんと祖父母との同居・近居の状況は、「祖母近居」が38.2%と最も多く、次いで「祖父近居」が32.0%、「祖父母どちらとも同居・近居していない」が31.1%などとなっている。全体から「祖父母どちらとも同居・近居していない」と「無回答」を差し引いた『祖父母が同居または近居している』は68.7%となっている。

## 2. 子どもの育ちをめぐる環境について

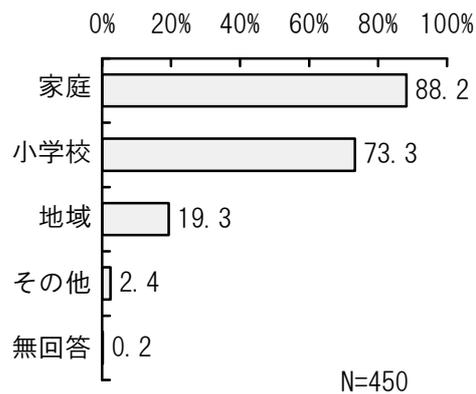
**問9** あて名のお子さんの子育て（教育・保育などを含む）に日常的に関わっている方はどなた（どの施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。

（○はあてはまるものすべて）



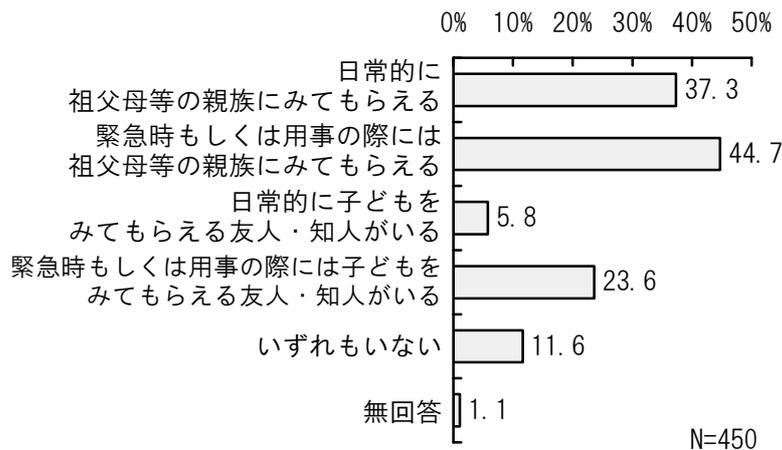
お子さんの子育て（教育・保育などを含む）に日常的に関わっている方は、「父母ともに」が55.3%と最も多く、次いで「小学校」が52.4%、「母親」が38.4%などとなっている。

**問10** あて名のお子さんの子育て（教育・保育などを含む）に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。（○はあてはまるものすべて）



お子さんの子育て（教育・保育などを含む）に、もっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が88.2%と最も多く、次いで「小学校」が73.3%、「地域」が19.3%などとなっている。

**問 11 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(〇はあてはまるものすべて)**

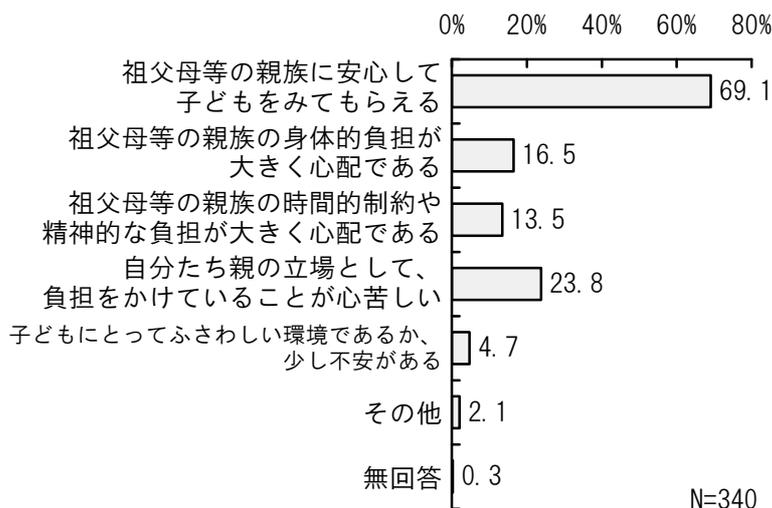


日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 44.7%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 37.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が 23.6%などとなっている。

問 11 で「1～2 祖父母等の親族に子どもを見てもらえる」を選ばれた方にうかがいます。

**問 11-1 祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。**

(〇はあてはまるものすべて)

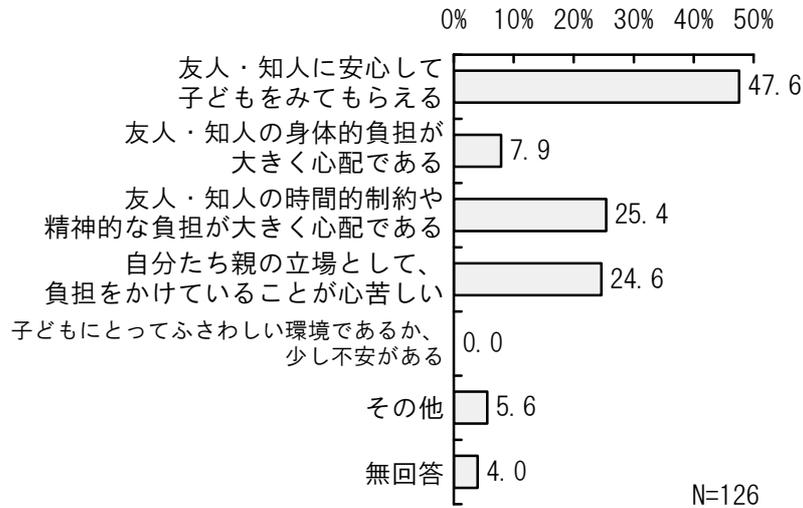


祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況については、「祖父母等の親族に安心して子どもを見てもらえる」が 69.1%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 23.8%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 16.5%などとなっている。

問 11 で「3～4 友人・知人に子どもをみてもらえる」を選ばれた方にうかがいます。

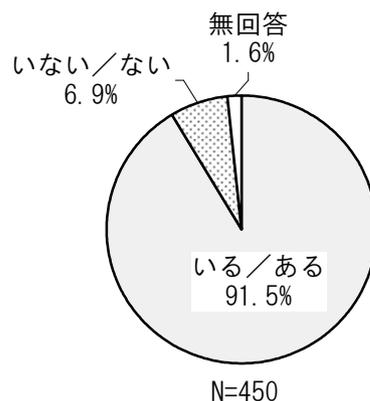
**問 11-2 友人や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。**

(○はあてはまるものすべて)



友人や知人にお子さんをみてもらっている状況については、「友人・知人に安心して子どもをみてもらえる」が 47.6%と最も多く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 25.4%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 24.6%などとなっている。

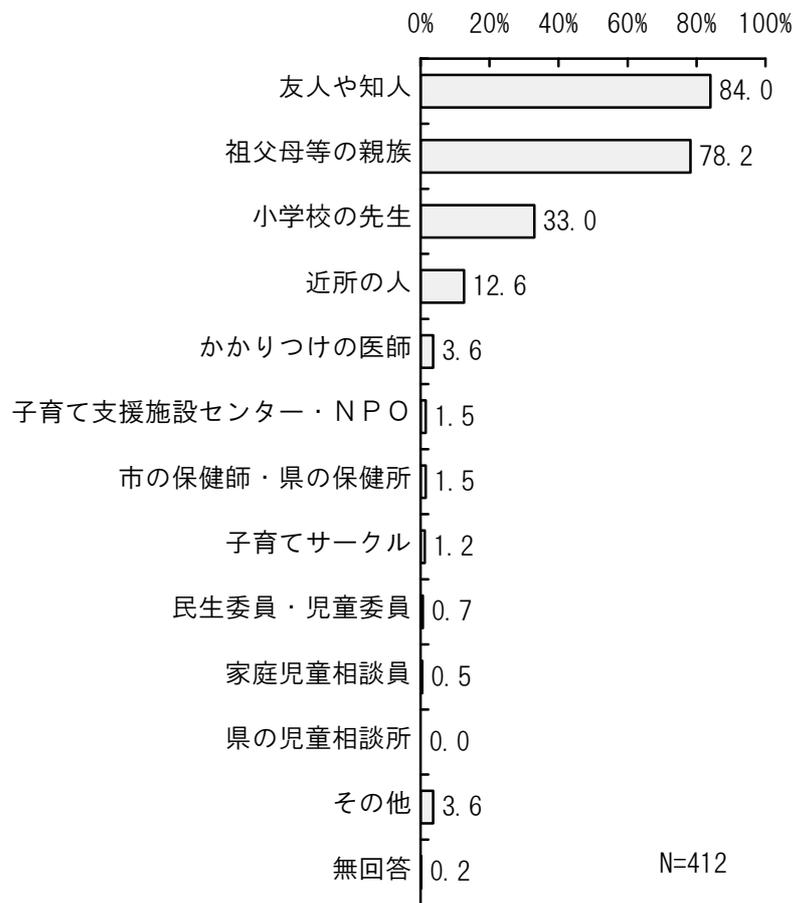
**問 12 あて名のお子さんの子育て(教育・保育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)**



お子さんの子育て(教育・保育を含む)をする上で、気軽に相談できる人・場所は、「いる/ある」が 91.5%、「いない/ない」が 6.9%となっている。

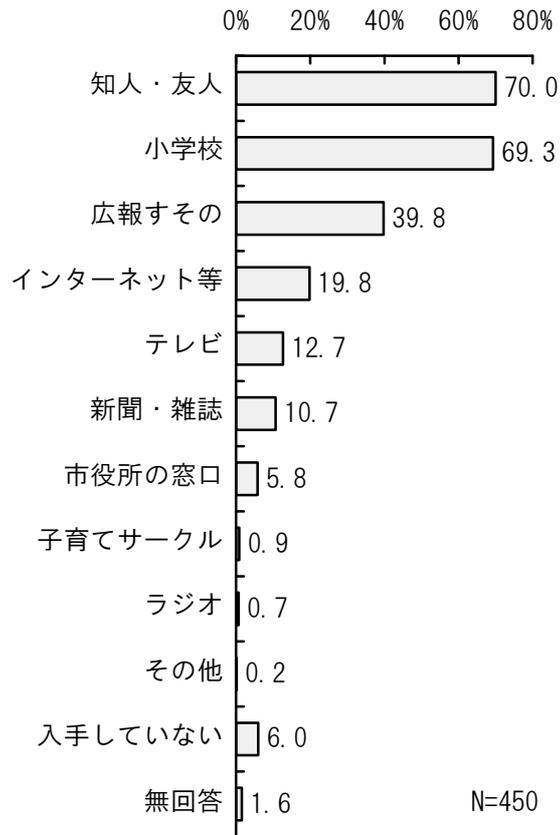
問 12で「1 いる／ある」を選ばれた方にうかがいます。

**問 12—1 お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（〇はあてはまるものすべて）**



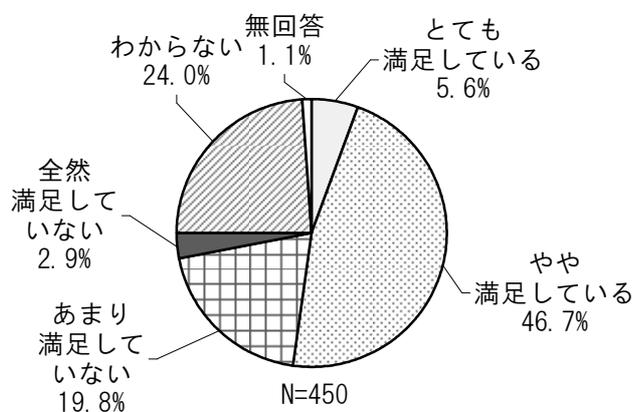
お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、「友人や知人」が84.0%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が78.2%、「小学校の先生」が33.0%などとなっている。

**問 13 お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報の入手先はどこですか。また方法は何かですか。（〇はあてはまるものすべて）**



お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報の入手先は、「知人・友人」が70.0%と最も多く、次いで「小学校」が69.3%、「広報すその」が39.8%などとなっている。

**問 14 お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報について、現在、満足されていますか。（〇は1つ）**



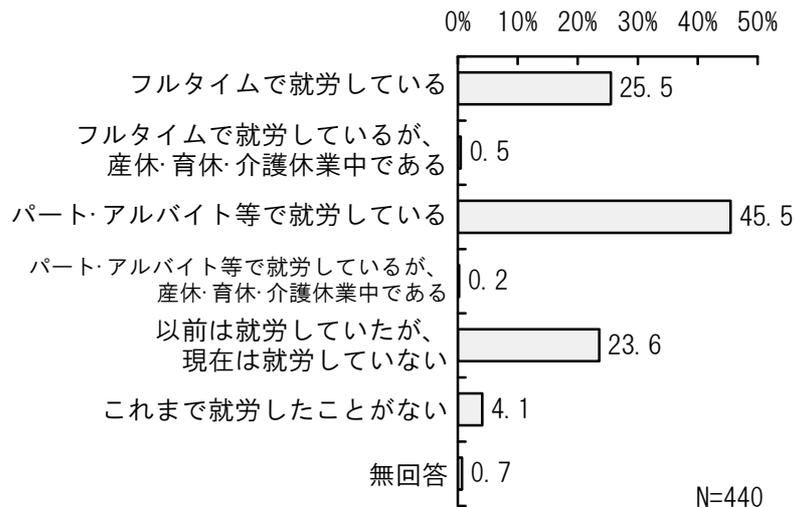
お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報についての満足状況は、「やや満足している」が46.7%と最も多く、次いで「わからない」が24.0%、「あまり満足していない」が19.8%などとなっている。『満足している』は52.3%、『満足していない』は22.7%となっている。

### 3. 保護者の就労状況について

問 16 保護者の方の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

## 母 親

問 16（1）現在の就労状況（○は1つ）

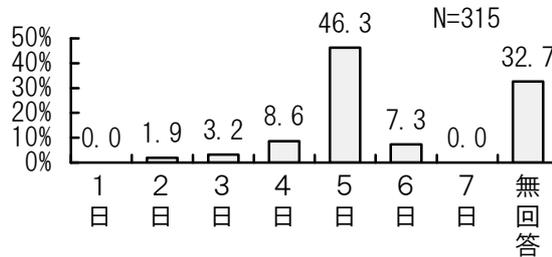


母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労している」が 45.5%と最も多く、次いで「フルタイムで就労している」が 25.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 23.6%などとなっている。

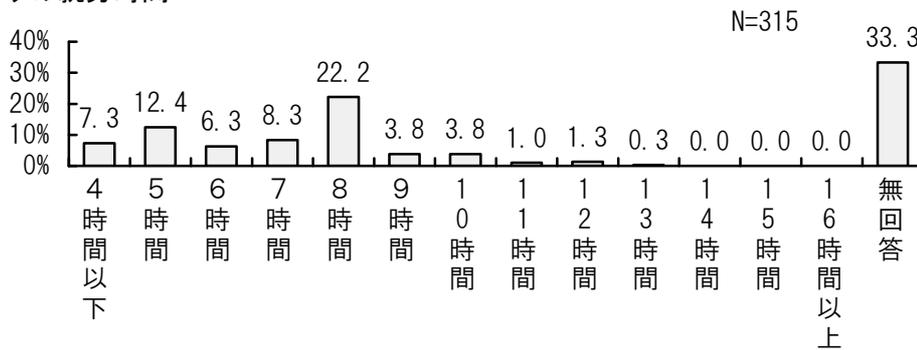
問 16 (1) で「1~4 就労している」を選ばれた方にうかがいます。

**問 16 (1) — 1 1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字で記入)**

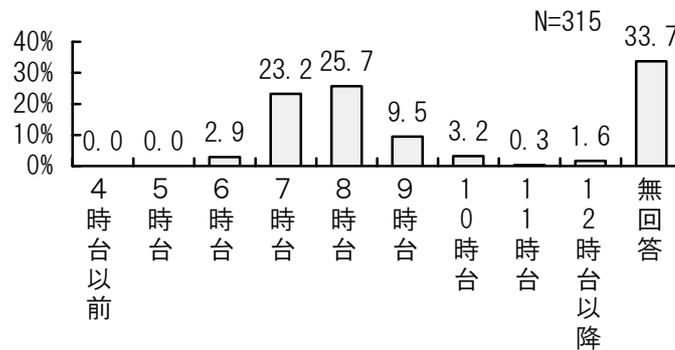
●週あたりの就労日数



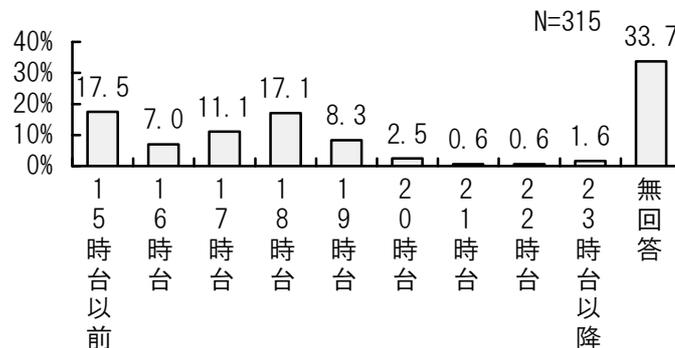
●日あたりの就労時間



●家を出る時刻



●帰宅時刻

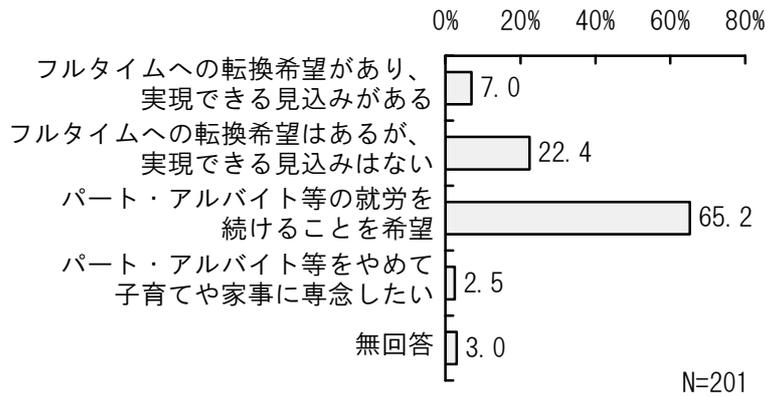


週あたり「5日」、日あたり「8時間」就労している母親が多い。

家を出る時刻は、「8時台」が25.7%と最も多く、帰宅時刻は「15時台以前」が17.5%と最も少なくなっている。

問 16 (1) で「3～4 パート・アルバイト等で就労している」を選ばれた方にかがいます。

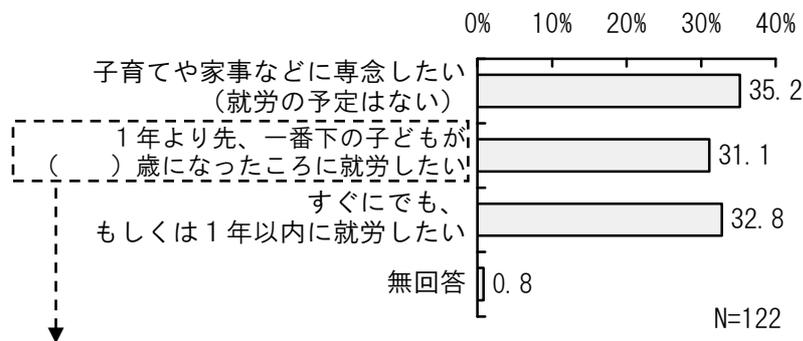
**問 16 (1) — 2 フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)**



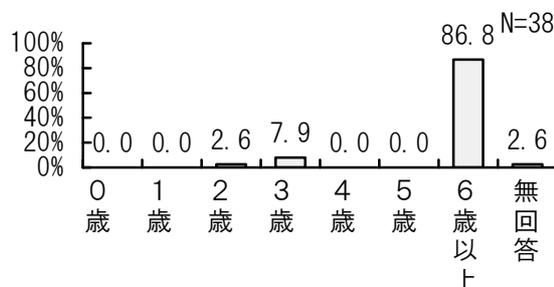
フルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 65.2%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 22.4%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 7.0%などとなっている。

問 16 (1) で「5～6 就労していない」を選ばれた方にかがいます。

**問 16 (1) — 3 就労したいという希望はありますか。(○は1つ)**



●就労したいと思う時期 (末子の年齢)

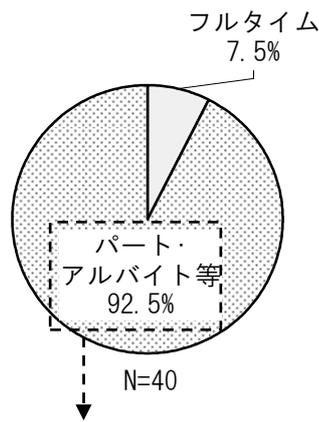


就労したいという希望は、「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」が 35.2%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 32.8%、「1年より先、一番下の子どもが ( ) 歳になったころに就労したい」が 31.1%となっている。

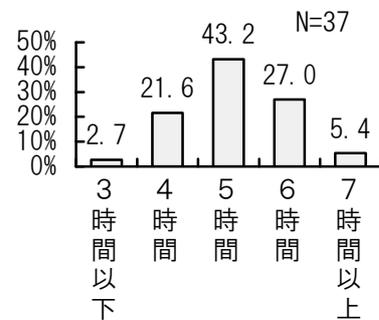
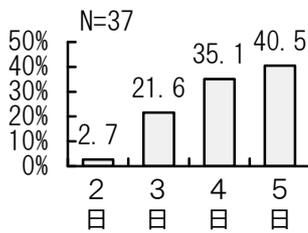
就労したいと思う時期 (末子の年齢) は、「6歳以上」が 86.8%と突出している。

問 16(1)－3で「3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選ばれた方にうかがいます。

**問 16(1)－4 希望する就労形態はなんですか。(○は1つ)**



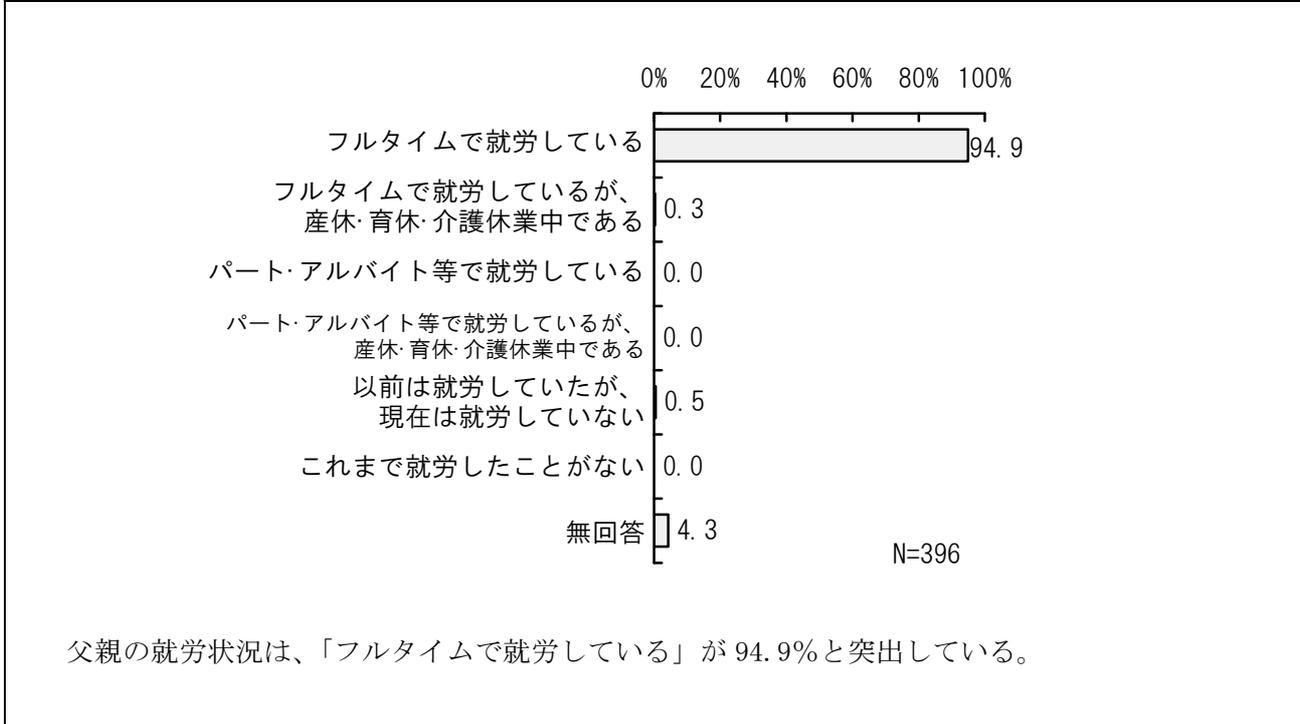
●週あたりの希望就労日数・日あたりの希望就労時間



希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が92.5%、「フルタイム」が7.5%となっている。  
週あたりの希望就労日数は「5日」が40.5%と最も多く、日あたりの希望就労時間は「5時間」が43.2%と最も多くなっている。

# 父 親

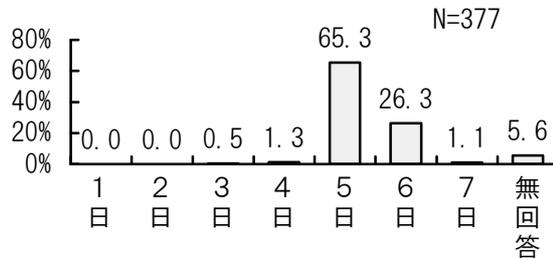
## 問 16（2）現在の就労状況（○は1つ）



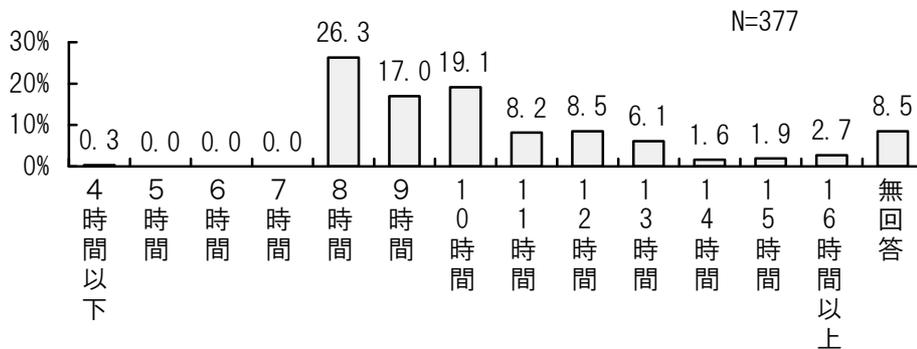
問 16 (2) で「1~4 就労している」を選ばれた方にうかがいます。

**問 16 (2) — 1 1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字で記入)**

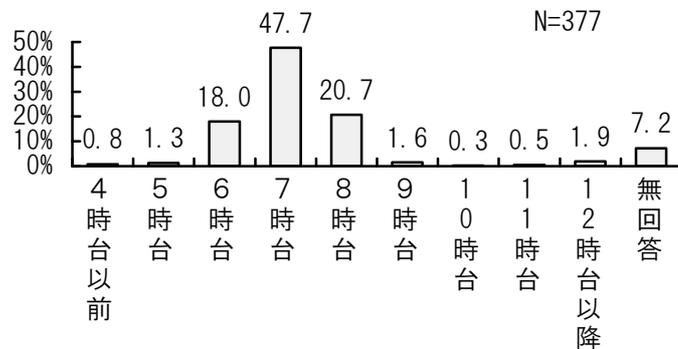
●週あたりの就労日数



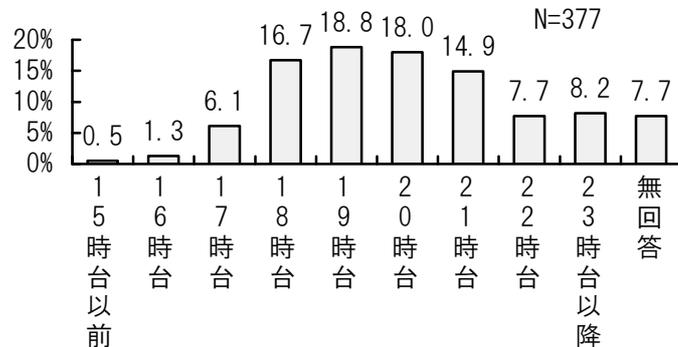
●日あたりの就労時間



●家を出る時刻



●帰宅時刻



週あたり「5日」、日あたり「8時間」就労している父親が多い。

家を出る時刻は、「7時台」が47.7%と最も多く、帰宅時刻は「19時台」が18.8%と最も多くなっている。

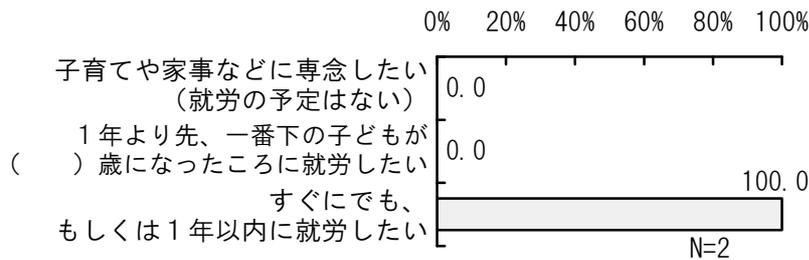
問 16 (2) で「3～4 パート・アルバイト等で就労している」を選ばれた方にうかがいます。

**問 16 (2) — 2 フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)**

◆ 該当サンプルなし

問 16 (2) で「5～6 就労していない」を選ばれた方にうかがいます。

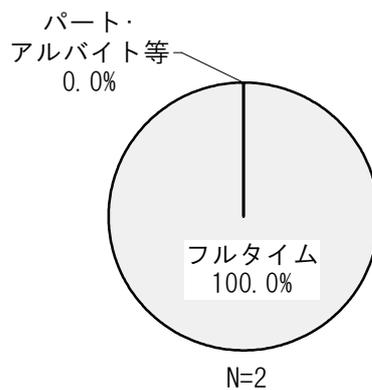
**問 16 (2) — 3 就労したいという希望はありますか。(○は1つ)**



サンプル数が少ないため、コメントは割愛する。

問 16 (2) — 3 で「3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選ばれた方にうかがいます。

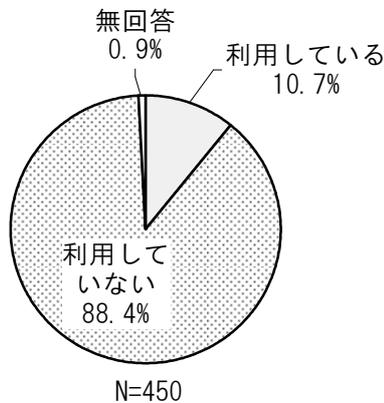
**問 16 (2) — 4 希望する就労形態はなんですか。(○は1つ)**



サンプル数が少ないため、コメントは割愛する。

## 4. 放課後児童室の利用状況・利用意向について

問 17 現在、あて名のお子さんは放課後児童室を利用していますか。(○は1つ)

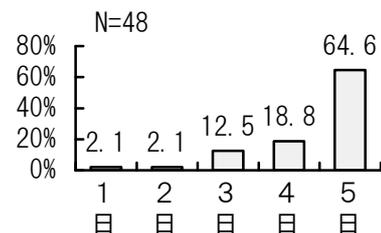
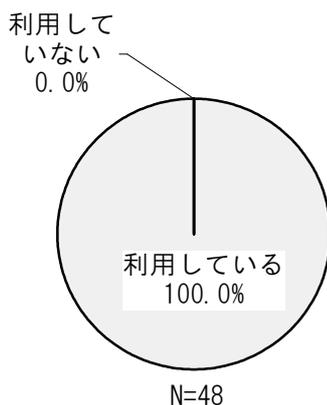


お子さんの放課後児童室の利用状況は、「利用していない」が88.4%、「利用している」が10.7%となっている。

問 17で「1 利用している」を選ばれた方にうかがいます。

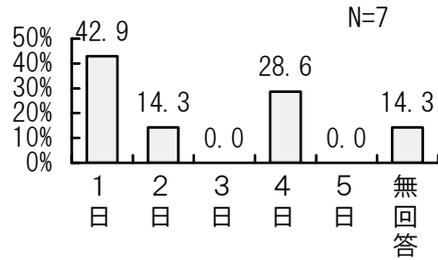
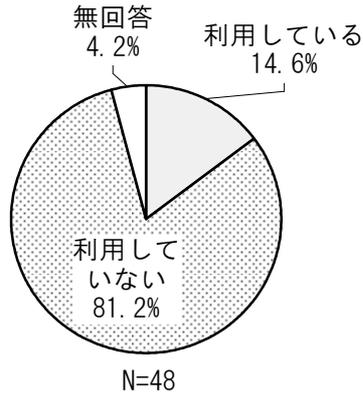
問 17-1 放課後児童室を利用している日(平日・土曜・長期休暇)はいつですか。  
また、平日の利用頻度はどのくらいですか。(○は1つ・数字で記入)

(1) 平日



放課後児童室の平日の利用状況は、「利用している」が100.0%となっている。  
利用頻度は、週あたり「5日」が64.6%と最も多くなっている。

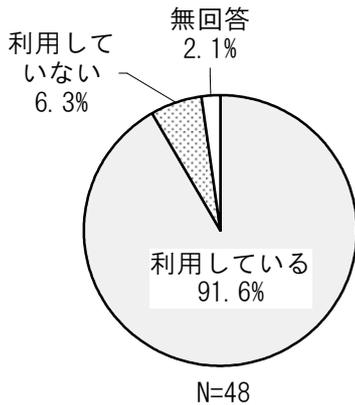
(2) 土曜日



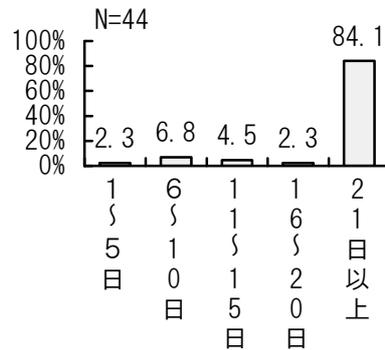
放課後児童室の土曜日の利用状況は、「利用していない」が81.2%、「利用している」が14.6%となっている。

利用頻度は、月あたり「1日」が42.9%と最も多くなっている。

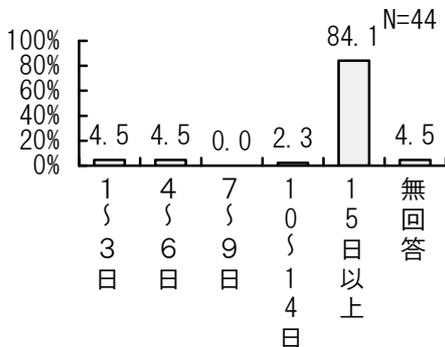
(3) 夏休み・冬休みなどの長期休暇中



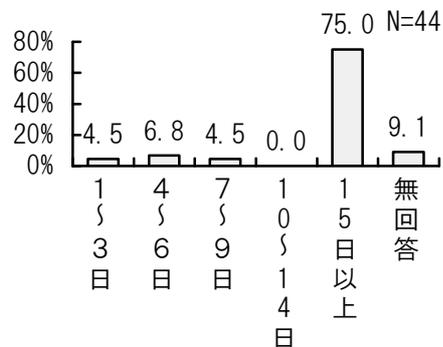
●夏休みの利用日数



●冬休みの利用日数



●春休みの利用日数

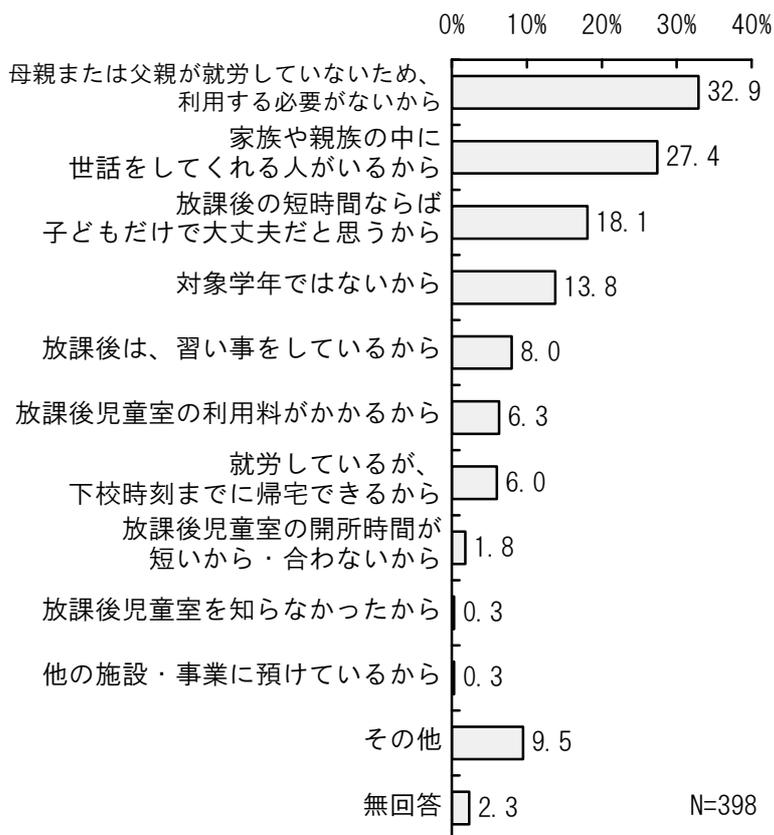


放課後児童室の長期休暇中の利用状況は、「利用している」が91.6%、「利用していない」が6.3%となっている。

利用頻度は、夏休みにおいて「21日以上」、冬休みにおいて「15日以上」、春休みにおいて「15日以上」が最も多くなっている。

問 17で「2 利用していない」を選ばれた方にうかがいます。

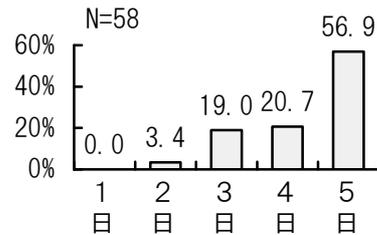
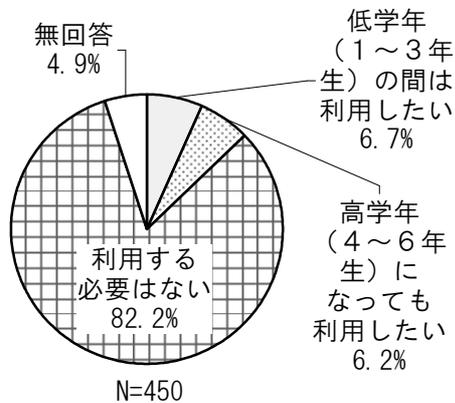
**問 17-2 放課後児童室を利用していない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)**



放課後児童室を利用していない理由は、「母親または父親が就労していないため、利用する必要がないから」が 32.9%と最も多く、次いで「家族や親族の中に世話をしてくれる人がいるから」が 27.4%、「放課後の短時間ならば子どもだけで大丈夫だと思うから」が 18.1%などとなっている。

**問 18 来年度以降、あて名のお子さんについて、放課後児童室の利用希望はありますか。平日、土曜日、日曜・祝日、長期休暇別にそれぞれご記入ください。また、平日以外の希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。(〇は1つ・数字で記入)**

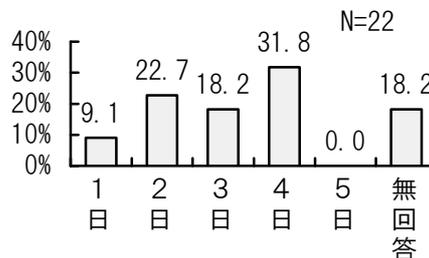
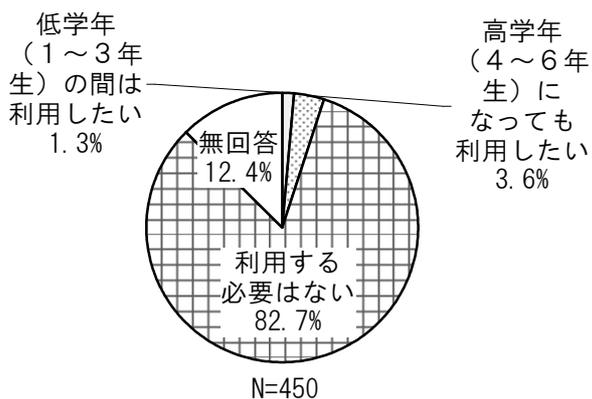
(1) 平日



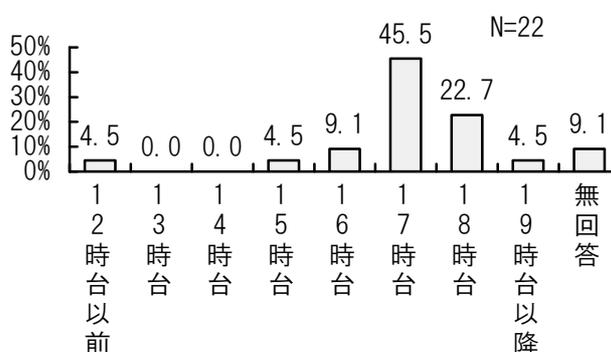
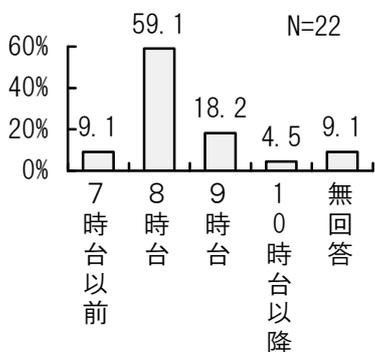
来年度以降の平日の放課後児童室の利用希望は、「利用する必要はない」が82.2%と最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が6.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が6.2%となっている。

日数は、週あたり「5日」が56.9%と最も多くなっている。

(2) 土曜日



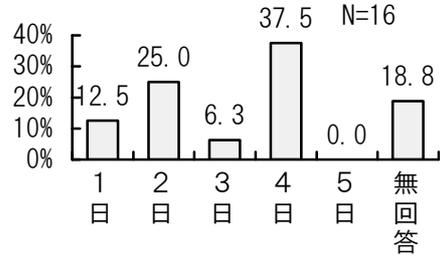
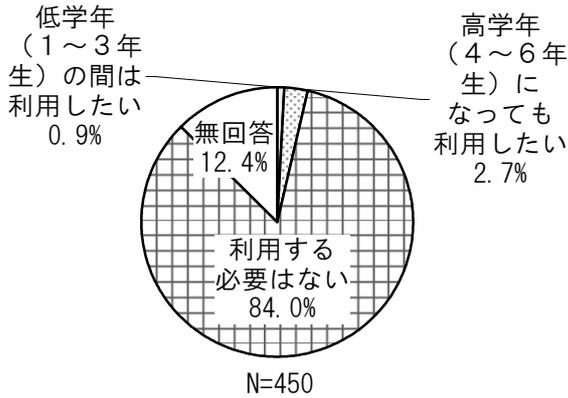
●希望利用開始時刻・希望利用終了時刻



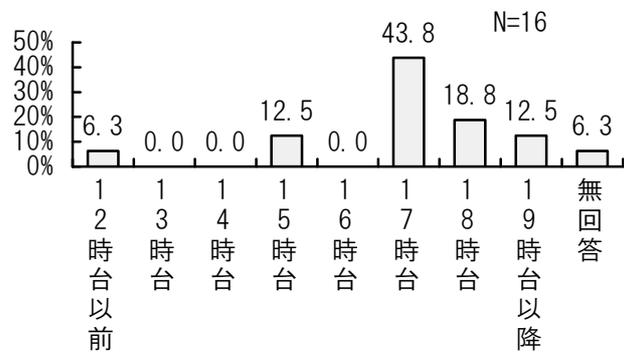
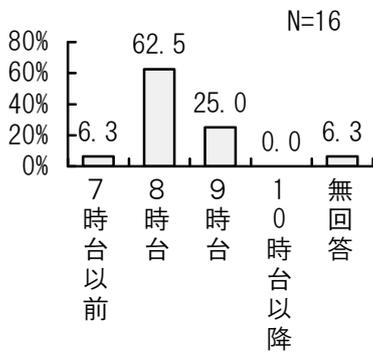
来年度以降の土曜日の放課後児童室の利用希望は、「利用する必要はない」が82.7%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が3.6%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が1.3%となっている。

日数は、月あたり「4日」が31.8%と最も多くなっている。希望利用開始時刻は「8時台」が59.1%と最も多く、希望利用終了時刻は「17時台」が45.5%と最も多くなっている。

(3) 日曜・祝日



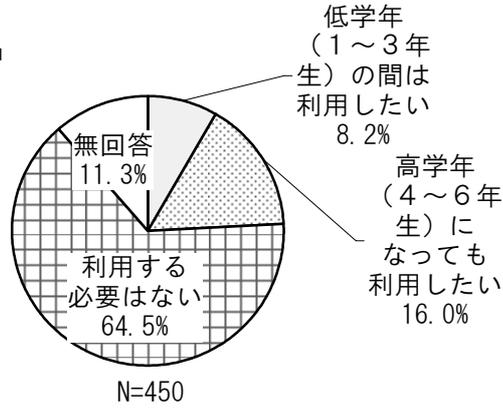
●希望利用開始時刻・希望利用終了時刻



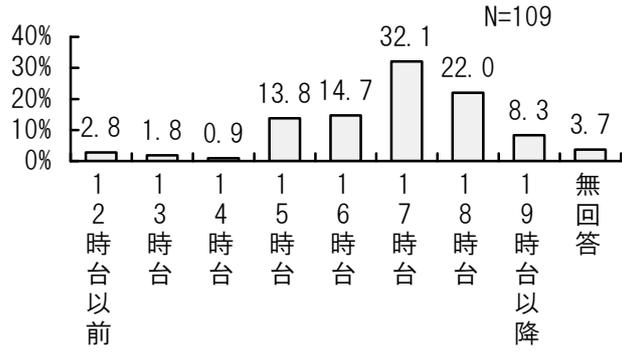
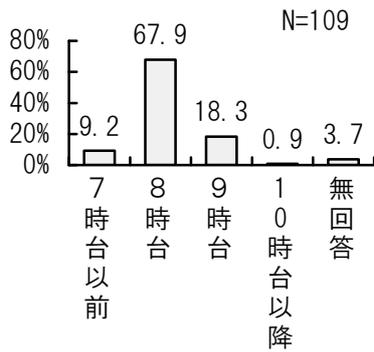
来年度以降の日曜・祝日の放課後児童室の利用希望は、「利用する必要がある」が84.0%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が2.7%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が0.9%となっている。

日数は、月あたり「4日」が37.5%と最も多くなっている。希望利用開始時刻は「8時台」が62.5%と最も多く、希望利用終了時刻は「17時台」が43.8%と最も多くなっている。

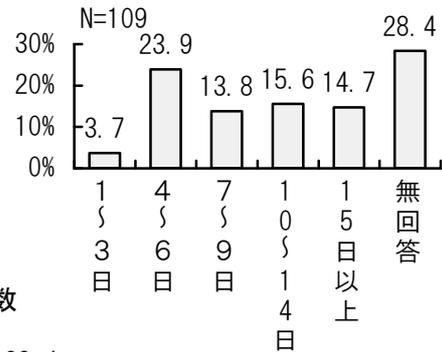
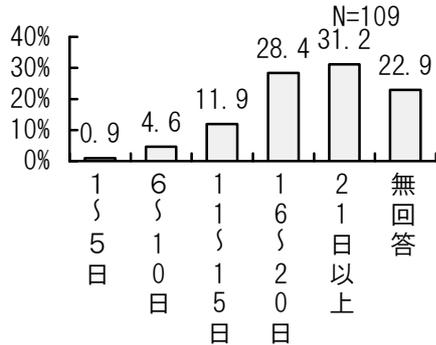
(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇中



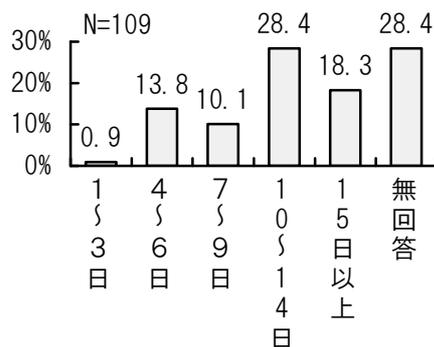
●希望利用開始時刻・希望利用終了時刻



●夏休みの希望利用日数・冬休みの希望利用日数



●春休みの希望利用日数

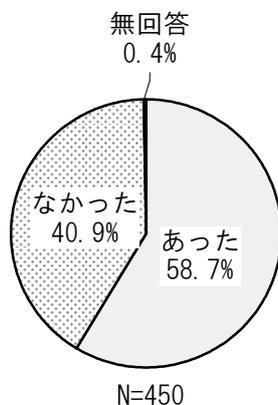


来年度以降の長期休暇中の放課後児童室の利用希望は、「利用する必要はない」が64.5%と最も多く、次いで「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が16.0%、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が8.2%となっている。

日数は、【夏休み】において「21日以上」、【冬休み】において「4~6日」、【春休み】において「10~14日」が最も多くなっている。希望利用開始時刻は「8時台」が67.9%と最も多く、希望利用終了時刻は「17時台」が32.1%と最も多くなっている。

## 5. 病気の際の対応について

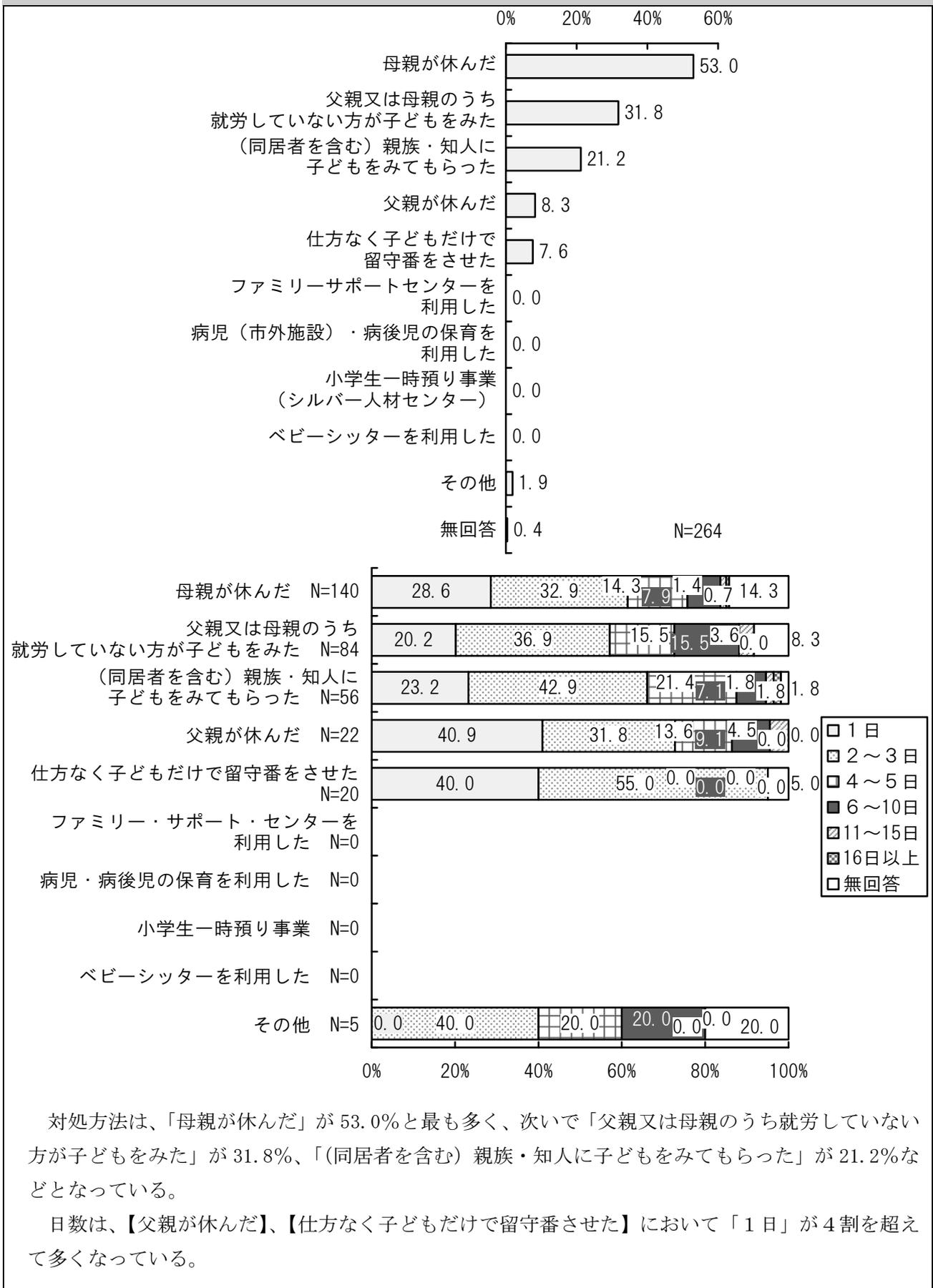
問 19 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(〇は1つ)



この1年間のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことは、「あった」が58.7%、「なかった」が40.9%となっている。

問 19で「1 あった」を選ばれた方にうかがいます。

**問 19-1 この1年間に、病気やケガで学校を休まなければならなかった場合の対処方法は何ですか。また、その日数は概ね何日ですか。(半日程度の場合も1日とカウントしてください) (〇はあてはまるものすべて・数字で記入)**

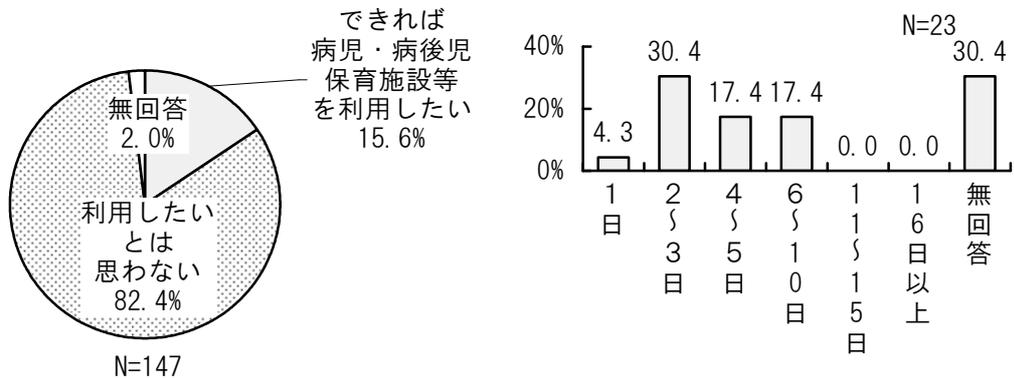


対処方法は、「母親が休んだ」が53.0%と最も多く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が31.8%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が21.2%などとなっている。

日数は、【父親が休んだ】、【仕方なく子どもだけで留守番させた】において「1日」が4割を超えて多くなっている。

問 19-1 で「1~2 父親/母親が休んだ」を選ばれた方にうかがいます。

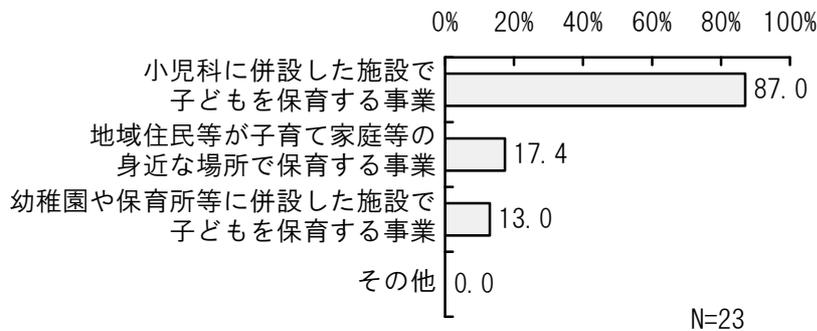
**問 19-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。また、その場合の日数はどれくらいありますか。(○は1つ・数字で記入)**



「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思ったかについては、「利用したいとは思わない」が 82.4%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 15.6%となっている。  
日数は、「2~3日」が 30.4%と最も多くなっている。

問 19-2 で「1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選ばれた方にうかがいます。

**問 19-3 病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(○はあてはまるものすべて)**

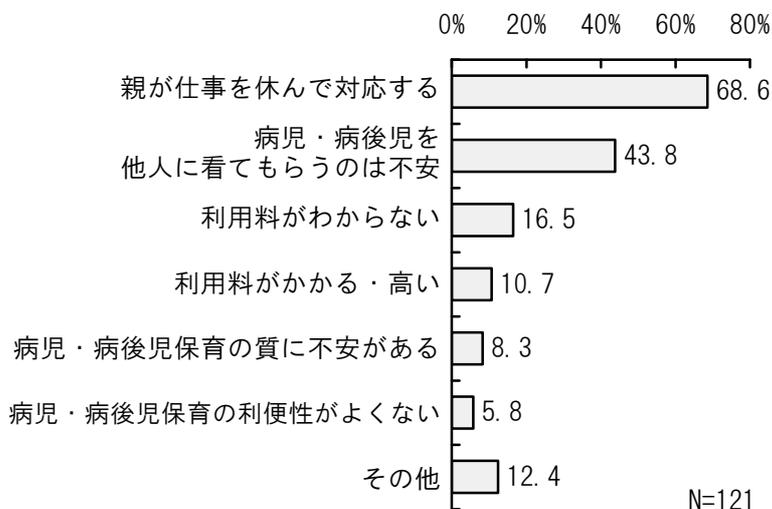


望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 87.0%と最も多く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 17.4%、「幼稚園や保育所に併設した施設で子どもを保育する事業」が 13.0%となっている。

問 19-2で「2 利用したいとは思わない」を選ばれた方にうかがいます。

**問 19-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。**

(〇はあてはまるものすべて)

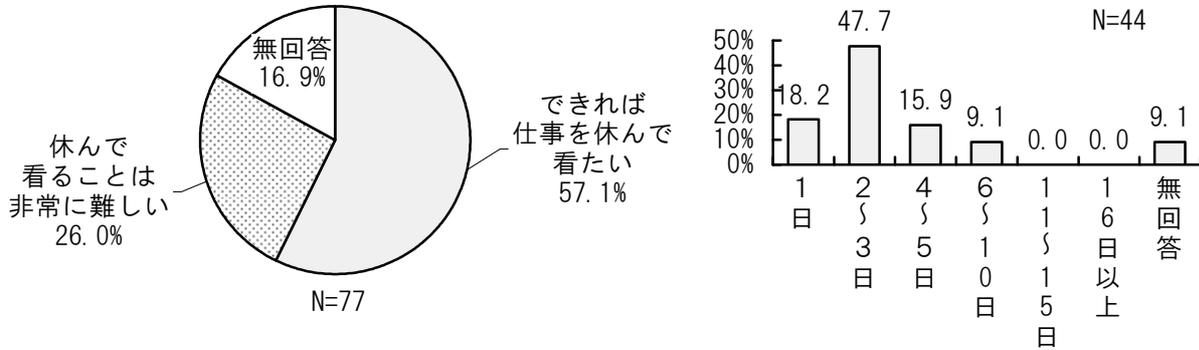


病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が 68.6%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 43.8%、「利用料がわからない」が 16.5%などとなっている。

問 19-1 で「4～9 親族等が子どもをみた等」を選ばれた方にうかがいます。

**問 19-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。また、その場合の仕事を手休んで看た日数はどれくらいありますか。**

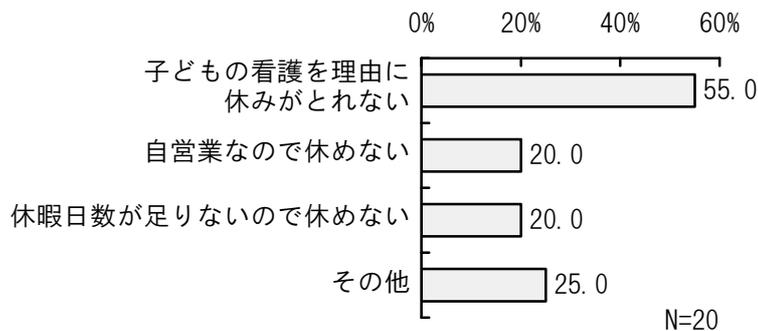
(○は1つ・数字で記入)



「できれば仕事を休んで看たい」と思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が 57.1%、「休んで看することは非常に難しい」が 26.0%となっている。  
 日数は、「2～3日」が 47.7%と最も多くなっている。

問 19-5 で「2 休んで看することは非常に難しい」を選ばれた方にうかがいます。

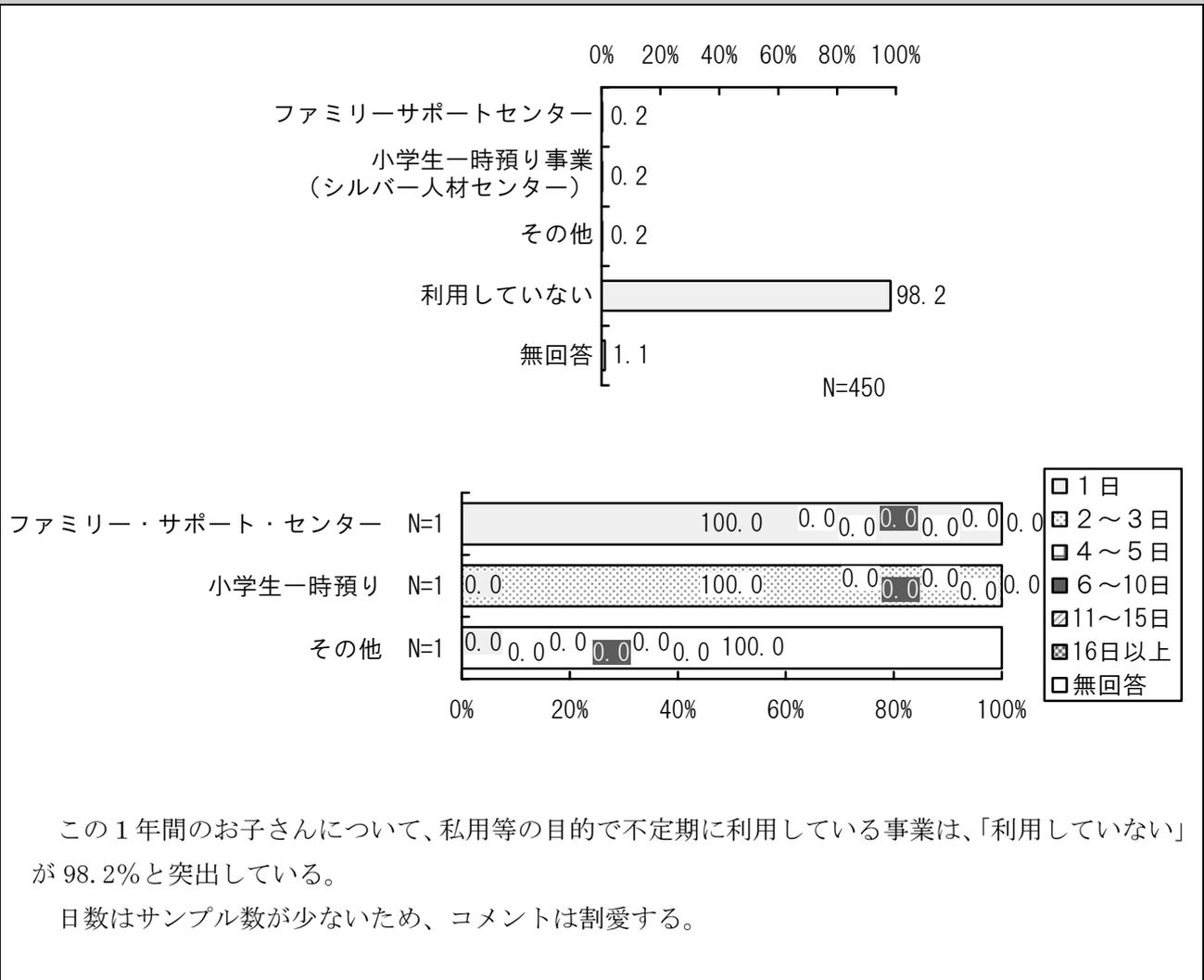
**問 19-6 その理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)**



「休んで看することは非常に難しい」理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 55.0%と最も多く、次いで「その他」が 25.0%、「自営業なので休めない」、「休暇日数が足りないので休めない」がそれぞれ 20.0%となっている。

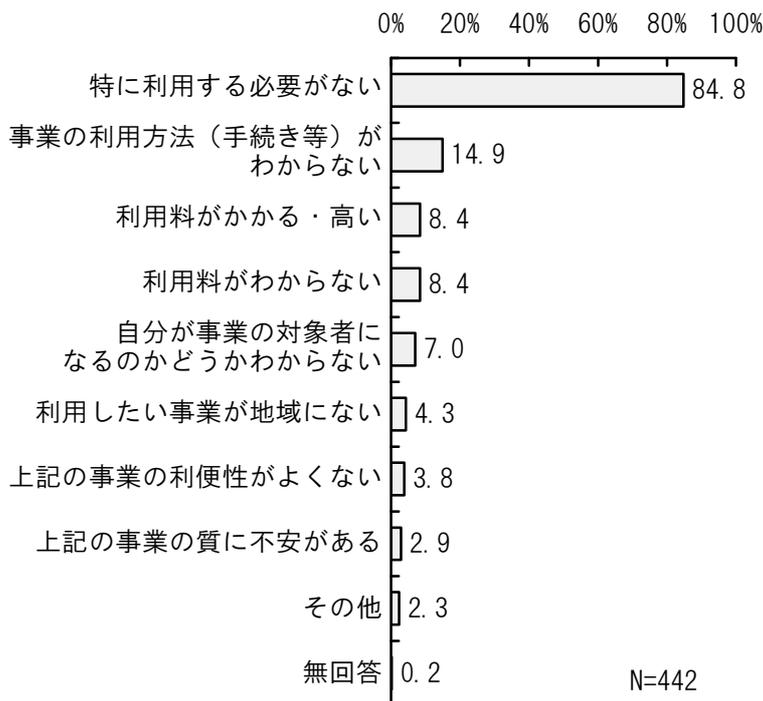
## 6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 20 この1年間に、あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。また、その日数は概ね何日ですか。(半日程度の場合も1日とカウントしてください)(〇はあてはまるものすべて・数字で記入)



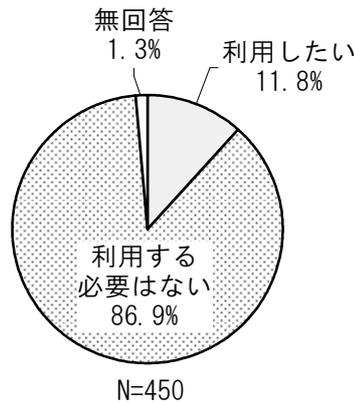
問 20 で「4 利用していない」を選ばれた方にうかがいます。

**問 20-1 利用していない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)**



利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 84.8% と最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 14.9%、「利用料がかかる・高い」、「利用料がわからない」がそれぞれ 8.4% などとなっている。

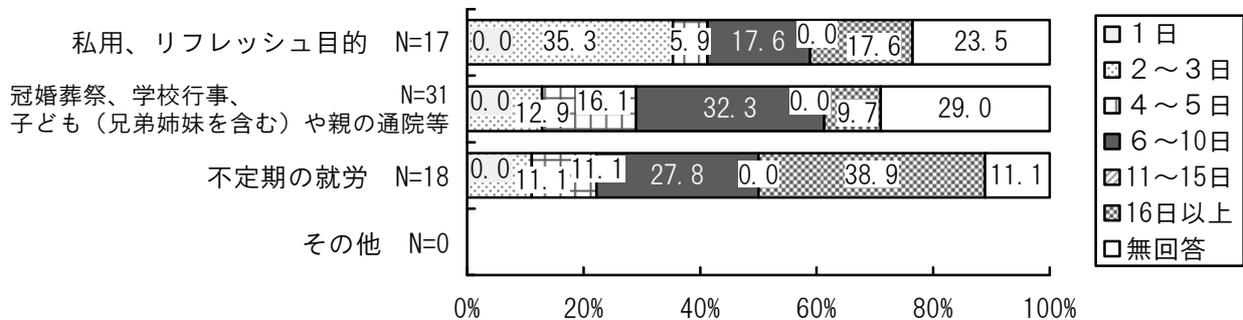
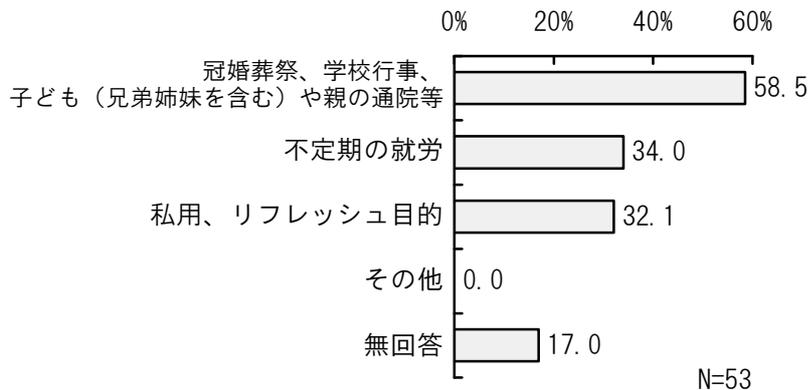
**問 21 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要があると思いますか。(〇は1つ・数字で記入)**



私用等の目的で事業を利用する必要については、「利用する必要はない」が86.9%、「利用したい」が11.8%となっている。

問 21 で「1 利用したい」を選ばれた方にかがいます。

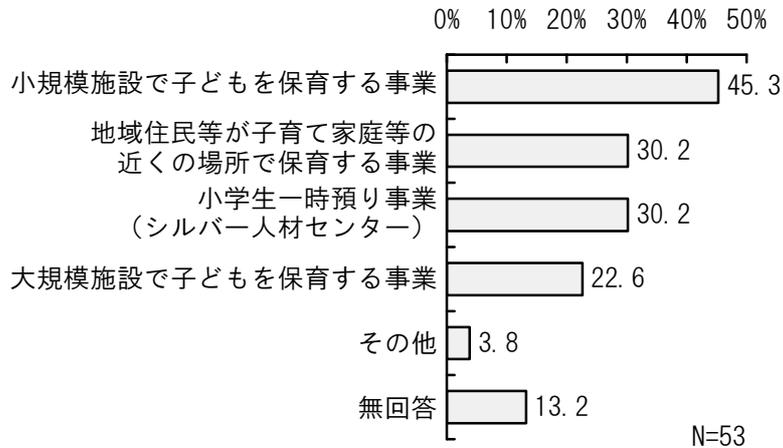
**問 21-1 その目的と必要な日数をご記入ください。(〇はあてはまるものすべて・数字で記入)**



利用したい目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が58.5%と最も多く、次いで「不定期の就労」が34.0%、「私用、リフレッシュ目的」が32.1%となっている。日数は、【不定期の就労】において「16日以上」が3割を超えて多くなっている。

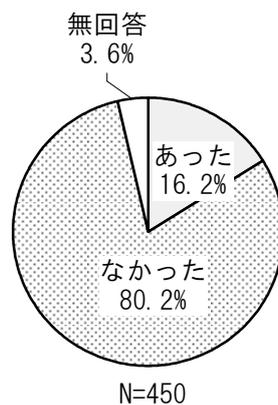
問 21 で「1 利用したい」を選ばれた方にかがいます。

**問 21-2 問 21-1 の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。**  
**(○はあてはまるものすべて)**



望ましい事業形態は、「小規模施設で子どもを保育する事業」が 45.3%と最も多く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」、「小学生一時預り事業 (シルバー人材センター)」がそれぞれ 30.2%、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 22.6%などとなっている。

**問 22 この 1 年間に、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気など) により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。**  
**(預け先が見つからなかった場合も含みます) (○は 1 つ)**

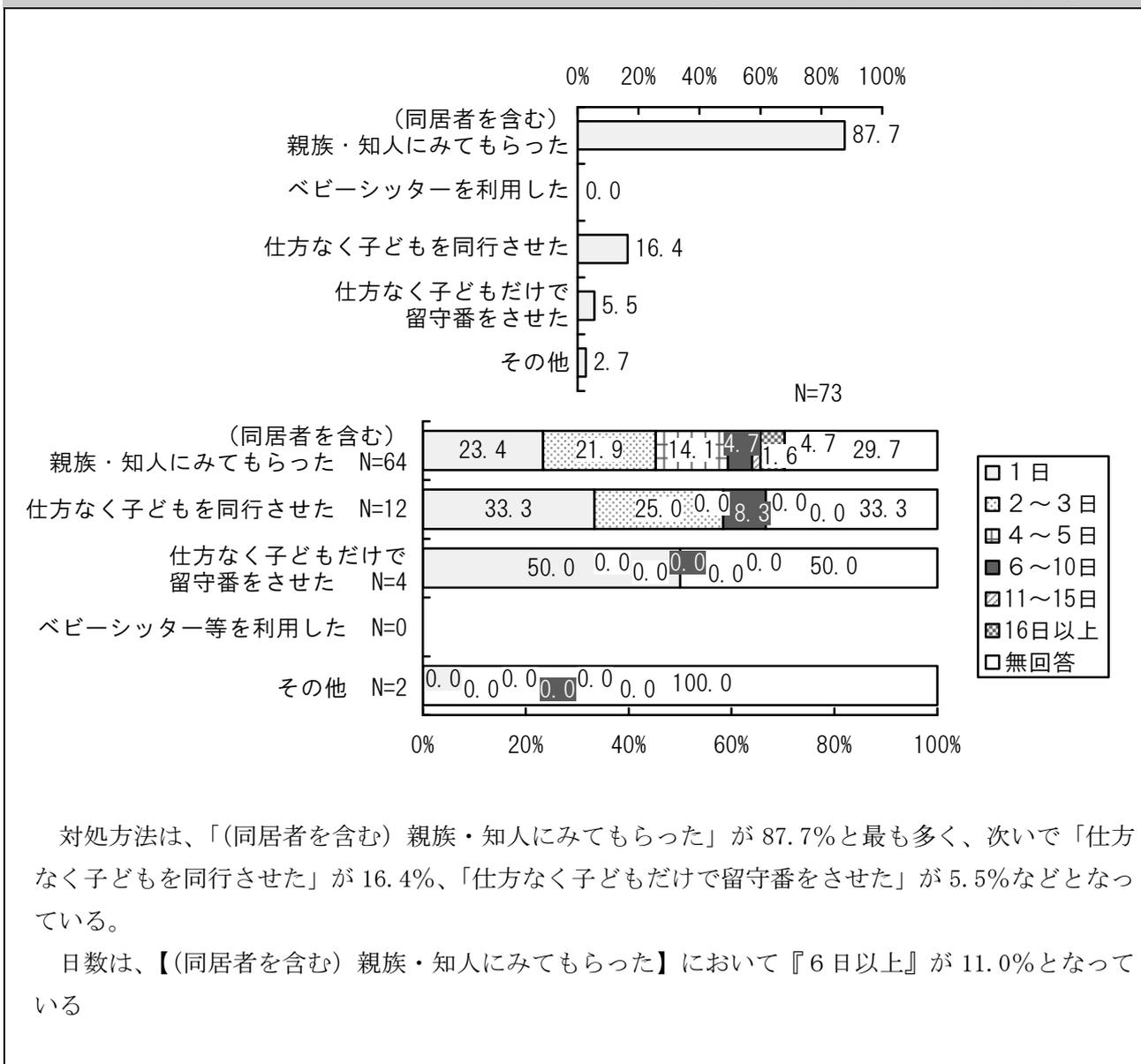


この 1 年間の保護者の用事により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことは、「なかった」が 80.2%、「あった」が 16.2%となっている。

問 22 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

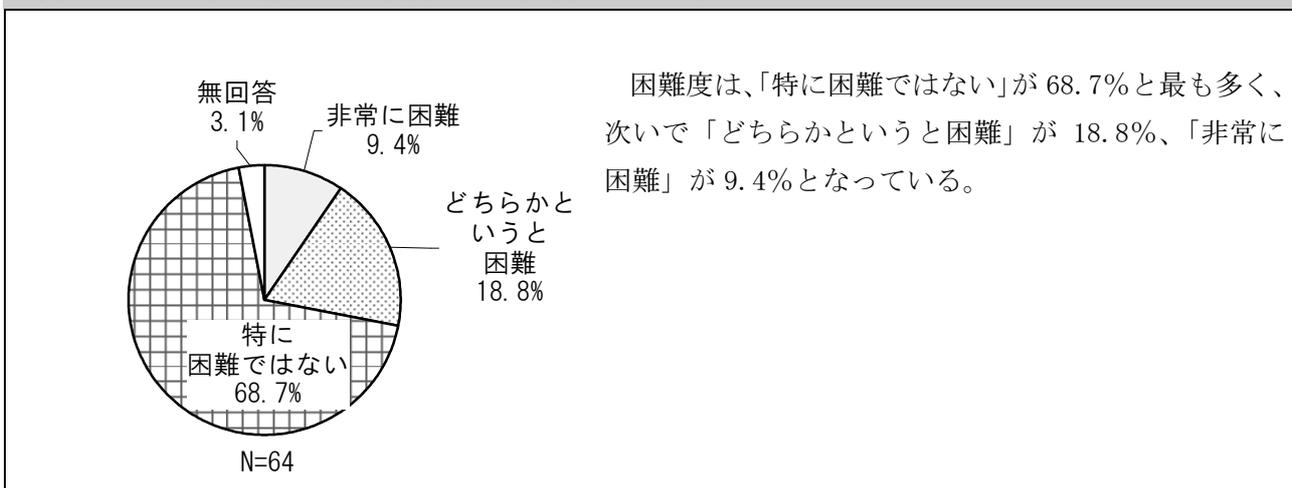
**問 22-1 その対処方法と年間の日数をご記入ください。**

(○はあてはまるものすべて・数字で記入)



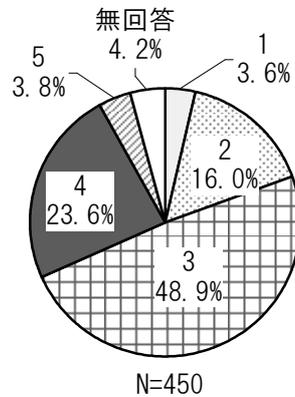
問 22-1 で「1 (同居者含む) 親族・知人にみてもらった」を選ばれた方にうかがいます。

**問 22-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。(○は1つ)**



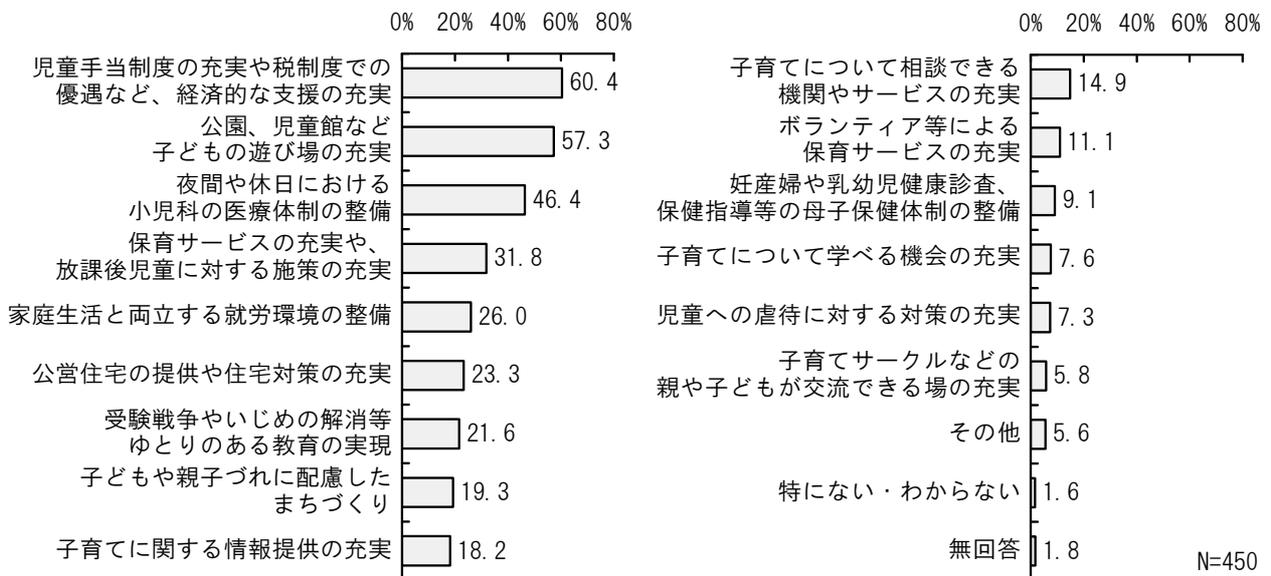
## 7. 子育てに関する一般的な事項について

**問 23 裾野市の子育て環境や支援の満足度について、1～5の5段階評価でお答えください。**  
**(1～5のうち、あてはまる番号に1つに○)**



裾野市の子育て環境や支援の満足度の5段階評価は、「3（どちらともいえない）」が48.9%と最も多く、次いで「4（やや満足）」が23.6%、「2（やや不満）」が16.0%などとなっている。『満足（4＋5）』は27.4%、『不満（1＋2）』は19.6%となっている。

**問 24 今後、裾野市の子育て環境をさらによくしていくために、次のことについてあなたはどのようなお考えですか。重要と思われるもの5つまでに○をつけてください。**  
**(○は5つまで)**



今後、裾野市の子育て環境をさらによくしていくために重要と思われるものは、「児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援の充実」が60.4%と最も多く、次いで「公園、児童館など子どもの遊び場の充実」が57.3%、「夜間や休日における小児科の医療体制の整備」が46.4%などとなっている。

裾野市  
子ども・子育て支援ニーズ調査  
報告書

平成 26 年 3 月

発行 裾野市  
企画・編集 裾野市役所 子ども教育課  
〒410-1192 静岡県裾野市佐野 1059  
電話 055-995-1822